.....「意」の慣用表現.....

【意に介さない】^{い かい} 気にしないで、^{へいき} 平気である。Ⓜ不介意。不在乎。「世間の批

^{はん} 判など意に介さないで、^{しん} 信じることをやりとおす」

【意に沿う】^{い そ} 相手の^{あいて} 希望^{きぼう}どおりにする。Ⓜ符合（对方）要求或心意。「着る人

の意にそのようなデザインを工夫する」

【意に反する】^{い はん} 希望^{きぼう}しない。Ⓜ不希望。违背心意。「意に反する配置転換を断

った」 似た表現意に背く

【意のまま】^{い おも} 思ったとおり。Ⓜ任意而为。「洋子は、^{ようこ} 中国語^{ちゅうごくご}を意のままに操

る」 似た表現思いのまま

.....

い 1-10

いあつ① 【威圧】《名・他動～する》^{けんりょく わんりょく あいて} 権力や腕力で相手をおさえつけるこ

と。Ⓜ威圧。威懾。「軍隊が、デモの民衆を威圧する」 類弾圧

い 1-11

いあわ・せる④ 【居合わせる】《自動一》ちょうどその場所にいる。居合わ

す。Ⓜ正好在场。「事故の現場に居合わせたので、すぐ110番した」

い 1-12

いあん ㊦ 【慰安】《名・他動～する》^{まいにち} ^{せいかつ} ^{しごと} ^{くろう} 毎日の生活や仕事の苦勞をなくさめて、

^{たの} 楽しませたり、^{きも} ^{らく} 気持ちを楽にさせたりすること。㊦慰勞。安慰。「慰安旅行//

^{じゅうぐんいあんふ} 従軍慰安婦」 類 ^{いろ} 慰勞

比較 ^{いあん} 慰安・^{いろ} 慰勞

2語とも今までの苦勞をねぎらうこと。慰安がそのために心身を
楽しませることをいうのに対し、慰勞はねぎらって感謝すること。

- ◆従業員を慰安するために、カラオケ大会を行う
- ◆試合後、選手を慰勞する/退職慰勞金/慰勞会を開く

い 1-13

い・い ㊦ 《形》 ㊦ ^{じょうたい} ^{のうりょく} ^{せいしつ} 状態・能力・性質などがすぐれている。㊦好。良好。优

秀。「^{あたま} 頭 ^{ひとがら} がいい// ^{ねんび} 人柄 ^{くるま} がいい// ^{ただ} 燃費 ^{てきとう} のいい車」 ㊦正しい。適當である。㊦好。

对。正确。「^{ひこく} 被告 ^{むじつ} の無実 ^は を晴らす、^{はんけつ} いい判決 ^{この} だった」 ㊦好ましい ^{じょうたい} 状態だ。㊦好。

恰当。「^{きぶん} いい気分 ^{てんき} だ// ^{なか} 天気 ^{わる} がいい// ^{ちい} 仲 ^{みぶん} がいい」 対 悪い ㊦地位・身分・待遇

などが高い。㊦地位、身份、待遇等高。「^{きゅうりょう} 給料 ^{じゅうぶん} がいい」 ㊦十分だ。それ以上

いらない。㊦足够。充分。「^{すいみんじかん} 睡眠時間 ^{じかん} は 5時間 ^{さけ} でいい// 酒はもういい」 ㊦かま

わない。㊦没问题。可以。「^{しばふ} 芝生 ^{なか} の中 ^{はい} に入ってもいい」 ㊦素直で、^{すなお} 疑 ^{うたが} う ^{きも} 気持ち

を持たない性質だ。㊤好。善良。「人がいいから、すぐだまされる//気がいい」

㊤反対の意味を、皮肉をこめていう言い方。㊤含有挖苦・讽刺的语气、表示反

对。「いい値段ですね」㊤(動詞の連用形について、形容詞をつくる)～やす

い。㊤易于…。好…。「はきいい靴/好穿的鞋//住みいい町/适于居住的都市」

対～にくい △名よさ 参改まった形は「よい」。

い 1-14

いいあ・う ㊤ 【言い合う】《他動五》(いいあって) ㊤2人以上の人が、たが

いに言う。㊤互相说。异口同声地说。「出口で2人の客が、『どうぞお先に』

『いえ、そちらこそお先に』と言い合っている」㊤たがいに相手を悪く言う。

㊤互相指责。争吵。「衝突した車の運転手たちは、相手が悪いと言い合ってい

る」 △名言い合い

い 1-15

いいあらし・う ㊤ 【言い争う】《他動五》(いいあらしって) ことばで争う。

口げんかをする。㊤口角。争吵。「家族の言い争う声が聞こえる」 名言い争

い

い 1-16

いいあらわ・す⑤ 【言い表す】《他動五》(いいあらわして) かんがえやかんじょうをことばでひょうげんする。㊤表現。説明。「この詩は、作者の心の葛藤をうまく言い表している」

い 1-17

いいえ③ 《感》あいて相手の言うことをひてい否定したり、はんたい反対したりするときのいうことば。いえ。㊤不。不是。不对。没有。「『川田さんですか』『いいえ、わたしは山川です』//『これ食べないんですか』『いいえ、食べますよ』」 ㊤はい ㊤類いや ㊤参「いや」も似ているが、「いいえ」のほうがていねい丁寧な言い方。

い 1-18

いいかえ・す③ 【言い返す】《自他動五》(いいかえして) あいて相手のことばにはんろん反論する。くちごた口答えをする。㊤还口。顶嘴。「けんかして、『バカ』と言うので、『バカはお前だ』といいかえ返した」

い 1-19

いいか・える④③ 【言い換える】《他動一》おなじ意味の事をべつ別のことばで

言う。㊦**換句話說**。「『おかんむりだ』は、言いかえれば『怒っている』という
ことだ」名言いかえ

い 1-20

いい-かお① **【いい顔】**《連語》①顔かたちがととのっていること。また、と
とのった顔。㊦**美貌**。美丽的面孔。「いい顔の歌舞伎俳優だ」②無理も通るほ
ど、広く顔を知られていること。㊦**吃得开**。有面子。「伯父はこの町ではいい
顔で、町長にも校長にも無理がきく」③人によく思われようとして見せる
顔つき。㊦**好脸色**。和颜悦色。「父は外ではいい顔をしているが、家では気む
ずかしい」④機嫌のいい顔つき。㊦**笑脸**。「はい、坊や、いい顔してカメラを
見て」

い 1-21

いいがかり① **【言いがかり】**《名》理由にならないことを無理にこじつけて、
相手を困らせること。また、その口実。㊦**找茬儿**。寻衅。「わざとぶつかって
きて、けがをしたと言いがかりをつけられた」類いちゃもん

い 1-22

いいかげん 【いい加減】 I 《連語》^{ていど}程度がちょうどいいこと。㊤**适当。适**

中。正好。「いいかげんのお風呂だ」 II ㊶ 《形動》^{ていど}①程度がちょうどいいよう

す。ほどほど。㊤**恰当。适度。**「冗談^{じょうだん}はいいかげんにしなさい」^{しんよう}②信用できな

い無責任^{むせきにん}なようす。㊤**不負責任。敷衍。**「村^{むら}の畑^{はたけ}から温泉^{おんせん}が出たなどと、いい

かげんな話^{はなし}を信^{しん}じてしまった」 類 あいまい. あやふや. 安易^{あんい} III ㊶ 《副》 うん

ざりした気持^{きもち}ちを^{あらわ}を表す。だいぶ。かなり。㊤**十分。相当。**「先生^{せんせい}の話^{はなし}はいつ

も同じ^{おな}じで、いいかげん飽^あきてきた」

い 1-23

いいかた ㊶ 【言い方】《名》^{はな}①話^{こえ}すときの声^{こえ}やことばづかいや態度^{たいど}。㊤**说话**

的方式。说法。「丁寧^{ていねい}な言い方^{い かた}//ぞんざいな言い方^{い かた}」^{ひょうげん}②表現^{ひょうげん}の方法^{ほうほう}。㊤**表达法。**

「あいまいな言い方^{い かた}」

い 1-24

いいか・ねる ㊷ 【言い兼ねる】《他動一》^{じじょう}事情^{じじょう}があつて、^い言う^いことができな

い。㊤**不好说。难以开口。**「お世辞^{せじ}にも、上手^{じょうず}だとは言いかねる」

い 1-25

いいき① 【いい気】《形動》①自分ひとりで得意になっているようす。㊥得意

意洋洋。自以为是。「自分だけ正しいと思ひこんで、いい気なもんだ」 ㊤ひとり

りよがり ②何も気にしないで、のんきなようす。㊥无忧无虑。逍遥自在。

「会議が終わったころに来るとは、いい気なやつだ」

い 1-26

いいきか・せる⑤ 【言い聞かせる】《他動一》よくわかるように教え、話す。

言い聞かす。㊥说给…听。劝说。教诲。「電車の中では騒がないように、子ども

にも言い聞かせる」 ㊤言い含める

い 1-27

いいき・る③ 【言い切る】《他動五》(いいきって) ①自信や決意を持って、

きっぱりと言う。㊥断言。断定。肯定。「来年度の売り上げは倍にする、と社

長は言いきった」 ②文の最後に用言・助動詞・助詞などがきて、文を終わら

せる。「それでも地球は回る」のような表現をいう。㊥说完。结束一句话。

㊤言い切り

い 1-28

いいさ・す③ 【言いさす】《他動五》(いいさして) 途 中 まで言いかけてや

める。Ⓜ话说到一半。话没有说完。「実はきのう・・・と言いさしてやめた」 名

言いさし

い 1-29

いいしぶ・る④ 【言い渋る】《他動五》(いいしぶって) 迷 っ たり ため っ っ っ っ

りして、はきはき言わない。Ⓜ不便说。不好意思说。「きのうはどこに泊まっ

たかと聞かれて、返事を言いしぶっている」 類言いよどむ

い 1-30

いいしれぬ④ 【言い知れぬ】《連語》うまく表 現 でき ない。Ⓜ难以表达。

难以形容。「夕暮れになると、言いしれぬさびしさにおそわれる」 書

い 1-31

いいす・ぎる④ 【言い過ぎる】《他動一》言わなくてもいいことまで言う。

Ⓜ说得过分。表现过火。「本当のことを言いすぎて、後悔した」 名言い過ぎ

い 1-32

いいせん 【いい線】《連語》いいところまで達している状態。Ⓜ够水平。

比较好。「第1作の映画にしては、いい線をいっている」

い 1-33

いいそ・える ④ 【言い添える】《他動一》ひと通り話した後でつけ加えて言

う。㊥补充说。补充道。「担当者は、懇親会の場所と時間を伝えた後、学生は

無料と^{むりょう}言いそえた」 類^い言^たい足す

い 1-34

いいそこな・う ⑤ 【言い損なう】《他動五》(いいそこな^いって) ①言^{かた}い方をま

ちがえる。㊥说错。「面接試験で、父親の年齢を^{めんせつ しけん}言いそこな^{ちちおや ねんれい}って恥^いをかいた」

類^い言^{そん}い損^じじる ②言^いうべきでないことを言^いう。㊥误说。失言。「40代の社長^{だい}

に、お年の割^{とし わり}に若^{わか}く見^みえる、と^い言^いいそこな^いってし^{しつげん}かられた」 類^い失^し言^{げん}する ③

言^いうべきことを言^いわないでしま^むう。㊥忘记说。说不出。「世間話^{せけんばなし}に夢中^{むちゆう}にな

り、肝心^{かんじん}の用件^{ようけん}を言^いいそこな^いった」 類^い言^いいそ^いびれる △名^い言^いい損^いない

い 1-35

いいそび・れる ⑤ 【言いそびれる】《他動一》言^いいたいことがあるのに言^い

だせなくて、そのままにしてしま^かう。㊥想说却没能说出。欲言又止。「和子^{かずこ}を

えい が さそ 映画に誘いたかったが、みちこ 道子がいたのでい そびれた」 類 い そこ 言い損なう

い 1-36

い いたく だく ① 【唯唯諾諾・唯々諾々】《副》(「唯々諾々として」の かたち 形で)

じぶん かんが も 自分の考えは持たず、なんでも たにん い 他人の言うとおりにするようす。Ⓜ唯唯諾諾。

しゃちょう い ぶん 社長の言い分に、い いたく だく 唯々諾々としてしたがう」

い 1-37

い いたく だく す ③ 【言い出す】《他動五》(い いたく だく して) ① い はじ 言い始める。Ⓜ 開始 说。

说 起来。「じしんがくしゃ ちきゅう かつどうき はい 地震学者が、地球は活動期に入ったと い いた 言いだした」② た ひと さき 他の人より先

に い 言う。Ⓜ 比 別人 先 说。 最 先 提 出。「おいしいものを た べ 食べるに行こうと い いた 言いだす

のは、いつも ようこ 洋子だ」 △ い だ 名 言い出し

い 1-38

い いちが い ① 【言い違い】《名》 い ちが 言い違えること。また、そのことば。 い 言い

まちが い。Ⓜ 说 错。「『キョカシヨウ』は『キョウカシヨ』の い ちが 言い違いだった」

他 動 い ちが 言い違える

い 1-39

いいつ・ける④ 【言いつける】《他動一》①あることをするように命令する。

④吩咐。「学生に、研究会で発表するように言いつけた」 □自動言いつかる

②人の悪口などをそっと告げる。④告状。「お兄ちゃんが冷蔵庫のケーキを食

べたと、母に言いつけた」 △名言いつけ

い 1-40

いいつたえ① 【言い伝え】《名》^{むかし}昔から、^{ひとびと}人々の間^{あいだ}で^{かた}語り^{つた}伝えられてきた

^{はなし}話やことがら。④传说。「ツバメが^{ひく}低く^と飛ぶと^{あめ}雨になるという^い言い^{つた}伝えがある」

他動言いつたえる □類伝説

い 1-41

いいなお・す④ 【言い直す】《他動五》(いいなおして) ①誤りを訂正して、

もう一度言う。④改口。改嘴。重説。「会議は4日ではなく、8日ですと言

直した」②前に言ったことを、改めて別のことばで言う。④改称。换个说法。

「精神薄弱と言いかけて、精神障害と言いつた直した」 △名言いつた直し □類言いつた改

める

い 1-42

いいなづけ① 《名》^{けっこん やくそく}結婚の約束をした相手。^{あいて}④未婚夫/妻。「^{くに}国にいいなづけ

を残して^{のこ}留学^{りゅうがく}する」^{こんやくしゃ}類婚約者. フィアンセ

い 1-43

いいなり① 【言いなり】《名》^{たにん}他人の言うとおりの^い言うがまま。④^い惟命是从。

百依百順。「^{かちょう}課長はなんでも^{ぶちょう}部長の^い言いなりで、ロボットみたいだ」

い 1-44

いいね① 【言い値】《名》^う売り手のつけたとおりの^{ねだん}値段。④^か开价。要价。「^か買

い物^{ものじょうず}上手な人^{ひと}は^い言い値^ねでは^か買わない」^つ対^ね付け値

い 1-45

いいのがれ① 【言い逃れ】《名・自動～する》うまく^い言って、^{つみ}罪や^{せきにん}責任をの

がれること。④^こ托辞。支吾。「^{がっこう}子どもの^{もんだい}学校の^{おや}問題とか、^{かいご}親の^い介護とか^い言いの

がれを^{なら}並べて、^{てんきん}転勤を^{ことわ}断った」^い自^の他^が動^い言い逃れる

い 1-46

いいは・る③ 【言い張る】《他動五》(いいはって) ^{じぶん}自分の^{かんが}考えを^{とお}通そうと

して^{つよ}強く^い言う。④^{じゅんきやうじゆ}坚决^{きやうじゆ}主张。坚持。固执己见。「^{じゆんきやうじゆ}准教授は、^{きやうじゆ}教授の^{りろん}理論は^{ふる}古

すぎると言い張った」^{い は} 類^{しゅちょう}主張する

い 1-47

いいふく・める^⑤ 【言い含める】《他動一》よくわかるように^{い き}言い聞かせる。

また、あらかじめ、よくわからせる。^④叮嘱。再三嘱咐。「この^{て がみ かなら せんせい}手紙は必ず先生

に^{わた}渡しなさいと、^こ子どもに^い言いふくめる」^{い き}類^い言い聞かせる

い 1-48

いいふら・す^④ 【言い触らす】《他動五》(いいふらして) ^{た にん}他人の^{む せき}ことを無責

任に^{にん い}言って^し知らせたり、^{じぶん かんけい}自分に^{じまん}関係のある^{い ひろ}ことを自慢げに^い言い広めたりする。

^④散布。扬言。「^{かいしゃ しゃちょう}パパは^{ともだち}会社の^い社長^いだよと、^い友達に^い言い^{ふら}す」^{ふいちょう}類^{ふいちょう}吹聴する

い 1-49

いいぶん^① 【言い分】《名》^い言^{あいて たい}いたい^{しゅちょう}こと。^{ふ へい}相手^{ふ まん}に対する^い主張^い・^{ふ へい}不平^{ふ まん}・^{ふ まん}不満

など。^④主張。不満。意見。「^{がくちょう}学^{ひ ほん}長^{がくせい}を^い批判^いする^い学生^きの^い言い^{ぶん}分^きを^い聞^く」^{しゅちょう}類^{しゅちょう}主張

い 1-50

いいまか・す^④ 【言い負かす】《他動五》(いいまかして) ^い言^{あらそ}い争^あって、^あ相

^て手^まを負^かす。^④说倒。驳倒。说服。「^{おとうと}弟^{くち}は^{たっしゃ}口^あが^い達^ま者^あで、^いい^まつも^あ兄^まを^あ言^まい^あ負^まか

す」^{ろんば} 類論破する

い 1-51

いいまわし① 【言い回し】《名》ことばの^{つか} ^{かた} ^{ひょうげん} 使い方。表現のしかた。㊦语言使

用方法。表現方式。「^{じょうず} ^い ^{まわ} ^い ^{まわ} ^{くふう} 上手な言い回し//言い回しを工夫する」

い 1-52

イメール③ 【Eメール】《名》(email・e-mail) ⇒^{でんし} 電子メール

い 1-53

イーユー③ 【EU】《名》「European Union (欧州^{おうしゅう}連合^{れんごう})」の略^{りやく}。ヨーロッ

パ^{れんごう}連合^{おうしゅう}。欧州^{とうごう}の統合^{ねん}をめざし、1993年^{せつりつ}に設立^{とういつつう}された。統一通貨^かはユーロ。㊦

欧盟。

い 1-54

いいよど・む④ 【言いよどむ】《他動五》(いいよどんで)^{まよ}迷^{たり}たりためらっ

たりして、^{くち}口ごもる。㊦吞^{しけん}吞^{けつ}吐^か吐^き。说到^{しけん}中途^{けつ}憋^か住^き。「試験^{しけん}の結果^{けつ}を聞^かかれて、

言いよどんだ」 名^い言いよどみ 類^い言い渋^{しぶ}る

い 1-55

いいわけ② 【言い訳】《名・自動～する》^{しつぱい}失敗などについて、^{じぶん}自分のせいでは

ないことをわかってもらうために、あれこれ^{せつめい}説明すること。また、そのこと

ば。㊤**辩解**。借口。「^{ちこく}遅刻は、^{でんしゃ}電車が^{おく}遅れたせいだと言^い訳^{わけ}する」類^{べんかい}弁解

い 1-56

いいわた・す④ 【言い渡す】《他動五》(いいわたして) ^{こうしき}公式に相手^{あいて}に告^つげる。

㊤**宣告**。宣判。「^{さいばんちょう}裁判長は^{ひこくにん}被告人に^{むざい}無罪を^い言^{わた}渡した」名^い言^{わた}渡し類^{もう}申^{わた}し渡す

い 1-57

いいん① 【医院】《名》^{いしゃ}医者が^{びょうき}病気の^{しんさつ}診察や^{ちりょう}治療を^{おこな}行^{ところ}う所。医者が個人

で^{けいえい}経営することが多く、^{おお}病院より^{びょういん}病院より^{きぼ}規模が^{ちい}小さい。㊤**診療所**。医疗所。「^{しかい}歯科医

^{いん}院//^{がんか}眼科^{いいん}医院

い 1-58

いいん① 【委員】《名》^{なか}おおぜいの中から^{えら}選ばれて、ある^{しごと}仕事を^{まか}任^{ひと}される人。

㊤**委员**。「^{ぶんかさい}文化祭の^{じっこう}実行委員//^{せんきょかんり}選挙管理委員^{いいん}」

い 1-59

い・う① 【言う】(いって) I 《他動五》①ことばを^{こえ}声にして^だ出す。㊤**说**。

讲。「^{おお}大きい^{こえ}声で^い言う」②^{こころ}心^{なか}の中に^{おも}思ったことをことばに^{あらわ}表す。㊤**表达**。**表**

明。「^い言いたいことをメールで^{つた}伝える」③(「～という」の^{かたち}形で) (1) ～と^よ呼

ぶ。～と^{しょう}称する。㊤**叫作**。**称作**。**所谓**。「^{やまだ}山田という^{ひと}人が^{たず}訪ねてきた」(2) ～

である。～と^{おも}思われる。～とのことだ。㊤**一般认为…**。**据说**。**传说**。「^り李さん

は^{いっさくじつ}一昨日^{こく}帰国したという」II [いう]《自動五》^{ものおと}物音がする。声を出^{こえ}す。㊤**作**

响。**发出声音**。「^{あしもと}足元で^{かれは}枯葉が^{かさ}かさいう」 ㊤「^{はくばたけ}白馬岳は^{しろうまだけ}白馬岳ともいう」

「^{やまだ}山田という^{ひと}人」など、^{しゅうしけい}終止形・^{れんたいけい}連体形は「^{ユー}」と^{はつおん}発音する。

【^い言うに^い言われぬ】^{あらわ}ことばで^{あらわ}表そうとしても、^{うまく}うまく^{あらわ}表せないほど^{びみょう}微妙な。

㊤**难以言表**。**无法形容**。「この^{うめ}梅の^{はな}花には、^い言うに^い言われぬ^{きひん}気品がある」

【^い言うまでもない】^い言わなくてもよく^{わか}わっている。あたり^{まえ}まえだ。㊤**不用说**。

当然。「^{ぶんがくぶ}文学部は、^い言うまでもなく^{ぶんがく}文学や^{げんご}言語を^{けんきゅう}研究する^{がくぶ}学部だ」

い 1-62

いう-なれ-ば 【^{いう}言うなれば】《^{かり}連語》^い仮に^い言ってみるならば。言うならば。

㊤**如果说**。**说起来**。「^い言うなれば、^{こう}幸と^{ふこう}不幸は^{かみひとえ}紙一重の^さ差だ」

い 1-63

いえ② 【家】《名》①人が住むための建物。㊥房子。住房。「郊外に家を建て
る//古い家を壊す」 ㊦数1軒. 1戸. 1棟 ②自分が寝たり起きたりする場所。
㊧家。「学校からまっすぐ家に帰る」③家庭。㊨家。家庭。「結婚して家を持つ」
④親から子、子から孫と続く血筋や家業。㊩家族。家世。「家をついで農業
をする」

い 1-64

いえ② 《感》「いいえ」のすこし改まった言い方。㊪不。没。「『山田さんで
すか?』『いえ、田中です』」 ㊫対はい ㊬類いや

い 1-65

イエス② 《感》(yes) 相手の言うことへの同意を表すことば。ええ。はい。
㊭是。对。行。㊮俗 ㊯対ノー

い 1-66

いえで② 【家出】《名・自動～する》帰らないつもりで、自分の家をこっそ
り出ること。㊰出奔。逃出家。「親とけんかして、家出した」 ㊱類出奔

い 1-67

いえもと① 【家元】《名》茶の湯・生け花・能・踊りなどの流派の**本家**。また、その**当主**。④**流派的正支**。**掌门人**。「家元をつぐ//家元制度」**類**宗家

い 1-68

い・える② 【癒える】《自動一》①病気や傷が治る。④**痊愈**。(病或傷)好**了**。「傷がいえる」②**悲しみや苦しみがなくなる**。④**愈合**。**消失**。「失恋の痛手がいえない」△書**他動癒**やす

い 1-69

イエローカード⑤ 《名》(yellow card) サッカーで、選手が**悪質なルール違反**をしたり、判定に**さからったり**したときに、**審判が警告のしるし**として示す**黄色いカード**。2度警告を受けた選手は**退場処分**になる。④**(足球)黄牌(警告)**。

い 1-70

いおんびん② 【イ音便】《名》音便の1つ。五段動詞の連用形活用語尾の「き・ぎ」の音が「い」音になるもの。「聞きて」が「聞**い**て」になるなど。④**音便**之一。

い 1-71

いか① I 【以下】《名》そこから^{あと}後。㊦以下。「^{しょうさい}詳細は^い以下に^の述べる//^い以下

^{しょうりやく}省略」^い対以上 II 【-以下】《接尾》①^{かず}数や^{りょう}量や^{ていど}程度が、それを^{ふく}含めて、

それより^{した}下であること。㊦…以下。不足…。「^{えん}500円^い以下なら^か買う//^{へいきん}平均^い以下」

^い対以上 ^み類未満 ②それを^{ふく}含めて、それより^{した}下のものすべて。㊦自…以下。

連…之下。「^{しゃちょう}社長^い以下^{にん}3人の^{やくいん}役員が、^{ちゅうごく}中国^{ほうもん}を訪問した」

比較 -^い以下・-^み未満

2語とも、ある数に達しないことを言うが、以下がその数を含むのに対して、未満は含まない。

◆5円以下は切り捨てる/大学生の学力が中学生以下とは情けない/以下省略

◆18歳未満の入場は禁止されている/5歳未満は無料

い 1-72

いがい① 【以外】《名》それを^{のぞ}除いた^た他のもの。㊦…之外。「^{にほんしょく}日本食は、^{なっ}納

^{とう}豆^い以外は^たなんでも^た食べる」

い 1-73

いがい①① 【意外】《形動》^{おも}思っていたことと^{じっさい}実際とが^{ちが}違うようす。㊦意外。

没^{にゅうがく}想到。出^い乎^い意料。「^{にゅうがく}入学試験は、^い意外に^いやさしかった//^い意外な^いできごと」 ^類

よ そうがい ぞんがい
予想外. 存外

い 1-74

いがいせい ① 【意外性】《名》意外だと感じる度合い。㊤意外性。「新製品に

いがいせい
意外性はないが、実用価値がある」

い 1-75

いかが ② 《副》「どう」の改まった言い方。㊤如何。「ご病気はいかがです

か//お代わりはいかがですか」

い 1-76

いかがわし・い ⑤ 《形》①本当かどうかははっきりしなくて、信用できない。

㊤可疑。不可靠。「有名な画家の絵だというのが、どうもいかがわしい」 ㊤疑

わしい ②道徳上よくない。㊤不正派。不正经。不三不四。「いかがわしい雑

誌やビデオの氾濫は困ったことだ」 △㊤名いかがわしさ

い 1-77

いかく ① 【威嚇】《名・他動～する》自分の側の権力や腕力などを示して、

あいて
相手をおどすこと。㊤恐吓。威吓。「ライオンは毛を逆立てて、威嚇した//威

かくしゃげき
「嚇射撃」

い 1-78

いがく ① 【医学】《名》^{びょうき}病^{ちりょう}氣^{よぼう}の^{がくもん}治療^{びょう}や^{びょう}予防^{びょう}についての^{がくもん}学問。④**医学**。「病

^き氣^{くる}で^{ひと}苦し^{すく}む^{ひと}人^{すく}を^い救^{みち}いた^{こころざ}いと、^い医学^{みち}の^{こころざ}道^いを^い志^いした^い//^い医学^い博士^い」^い類^い医^い術^い

い 1-79

いか・す ② 【生かす】《他動五》(いかして) ①^い生^{じょうたい}きて^いいる^い状^い態^いを^い続^いけ^いさせ

る。④**留活命**。④**让…存活**。「捕^{つか}ま^{さかな}え^{すいそう}た^い魚^いを^い水^い槽^いに^い入^いれて^い生^いか^いし^いて^いお^いく」②

〔**活**かす〕^いむ^いだ^いに^いせ^いず、^いう^いま^いく^い利^い用^いす^いる。④**活用**。④**有效利用**。「風^{ふうりよく}力^いを^い発^い電^い

に^い活^いか^いす」③〔**活**かす〕^い生^いき^い生^いき^いと、^いき^いわ^いだ^いた^いせ^いる。④**充分发挥**。「個^{こせい}性^いを^い活

か^{はいやく}した^{かんが}配^い役^いを^い考^いえ^いる」△^い対^い殺^いす^い 自^い動^い生^いきる

い 1-80

いがたに-はめる 【^い鑄^い型^いに^いは^いめ^いる】^い鑄^い型^い(=^い鑄^い模^い)^いか^いら^いは^い同^いじ^いの^いもの^いが^いで^いき^いる^いこ

と^いか^いら、^い型^いに^いは^いま^いつ^いて^い個^い性^いの^いな^いい^い人^い間^いを^いつ^いく^いる。④**鑲在模子里**。④**一个模子刻出**

来的。「校^{こうちよう}長^いは、モ^いデル^いを^い示^いし^いて^いそ^いの^いよ^いう^いに^いな^いれ^いと^い言^いう^いが、こ^いれ^いは^い鑄^い型^いに^いは^いめ

る^{きよういく}教^い育^いだ」

い 1-81

いかつ・い ③ 《形》かたくて、がっちりしている。㊦**粗糙。严厉。**「いか

つ^{かお}顔の^{じゅんさ}巡査に^{みち}道を^{たず}尋ねた」名いかつさ

い 1-82

いかなる ② 《連体》① (後に助詞「か」がきて) ^{ぎもん}疑問を^{あらわ}表す。どのような。

どんな。㊦**如何的。什么样的。**「その^{じこ}事故がいかなる^{りゆう}理由で^お起きたか、まった

く^{ふめい}不明だ」② (「～(て)も～ない」などの^{かたち}形で) どのような～でも。㊦**无论**

什么样的…也不…。无论怎样…也不…。「いかなる^{べんかい}弁解も^き聞き入れ^いない」△書

い 1-83

いかに ② 《副》① どのようにして。どうい^{ほうほう}う方法で。㊦**怎样。用什么方法。**

「人生^{じんせい}いかに^い生きるべきか」② どれほど。どんなに。㊦**多么。如何。**「いかに

^{くる}苦しくても、^{さいご}最後までやりとおす」△書

い 1-84

いかにも ② 《副》① ^{たいど}態度や^{こうどう}行動がまったくそのとおりであるようす。㊦**实在。**

的确。「入^{にゅうしょう}賞をのがして、いかにも^{ざんねん}残念だ」② ^{あいて}相手の^{はなし}話の^{ないよう}内容に^{さんせい}賛成すると

きに言うことば。㊤果然。诚然。「いかにもごもつともです」

い 1-85

いかめし・い ㊤ 《形》おもおもしくいげんがある。㊤庄严。威风凛凛。「村長は、

いかめしいもんがまの、りっぱいえすに住んでいる」 ㊤いかめしさ

い 1-86

いカメラ ㊤ 【胃カメラ】《名》くちいから入れて、いうちがわかべけんさちょうこ

がたカメラ。ないしきょう。㊤胃鏡。「胃カメラのけんさしよきみで、初期のがんが見つかった」

い 1-87

いから・せる ㊤㊤ 【怒らせる】《他動一》㊤あいておこ相手に怒らせる。㊤惹怒。惹恼。

㊤自動怒る ㊤怒ったようすや、いかめしいようすをする。いからす。㊤瞪(眼)。

端(肩)。横眉立目。「眼をいからせて、にらむ//肩をいからせて歩く」

い 1-88

いがらっぽ・い ㊤ 《形》のどがしげきされて、ふゆかいかん。㊤(嗓子)呛

得慌。「風邪をひいたらしくて、のどがいがらっぽい」 ㊤いがらっぽさ

い 1-89

いかり ③ 【怒り】《名》怒ること。㊦**憤怒。气愤。**「**教育関係者の汚職事件**

には、怒りを覚える//怒りをぶちまける」 **自動**怒る

い 1-90

いか・る ② 【怒る】《自動五》(いかって) 不快なことにがまんできず、表

情やことばにその気持ちが出る。㊦**生气。发怒。**「**政治家の不正に怒って、抗**

議文を送った」 **書** **名**怒り **他動**怒らせる **類**怒る

比較 怒る・怒る

2語とも不快なことにがまんができず、腹を立てること。怒るは理性的な判断に
もとづく場合が多く、怒るは感情的な原因による場合が多い。

◆原発再稼働に怒って、首相官邸に抗議に行く/怒りがこみあげる

◆悪口を言われ、真っ赤になって怒る/兄は怒りっぽい

い 1-91

いか・れる ① 《自動一》 ①まともな状態でなくなる。㊦**不正常。不正派。**

「いかれた格好の若者たちが、町を徘徊している」②古くなって使いものにな

らなくなる。㊦**破旧。烂。**「車のエンジンがいかれてしまった」③人や物に夢

中になる。㊦**入迷。着迷。**「次郎は、マギー・チャンにすっかりいかれている」

△**俗**

い 1-92

い かん **①①** 【遺憾】《形動》^{おも}思いどおりにい かんなく^{ざんねん}て残念なようす。㊤遺憾。

「ずさんな^{ねんきん きろく}年金記録はまことにい かんだと^{しゅしやう い}首相は言った」 **参**^{こうてき たちば}公的な立場で

^{せきにんしゃ つか}責任者が使うときは、^{ほんしん あやま}本心から謝っているのではなく、^{ぎれいてき おお}儀礼的なことが多い。

【遺憾の意を表する】①^{じぶんがわ こうい たい ざんねん きも あらわ}自分側の行為に対し、残念だとわびる気持ちを表す。

㊤（对自己一方的行为）表示歉意。「^{がいむ だいじん じこく ぐんたい あやま こつきやう}外務大臣は、自国の軍隊が誤って国境

^こを越えたことに、^{い かん い ひやう}遺憾の意を表した」②^{あいてがわ こうい じぶん ざんねん}相手側の行為が自分にとって残念

なことだと^{ひなん こうぎ きも あらわ}非難したり、抗議したりする気持ちを表す。㊤（对对方的行为

^{だいとうりやう こうい い かん い ひやう}表示抗议时）深表遗憾。「大統領はテロ行為に遺憾の意を表した」

い 1-94

い がん **①** 【依頼】《名》^{ほんにん ねが}本人からの願いによること。また、その^{かたち}形をとること。

㊤^{い がんたいしよく}依照本人愿望。请求。「依頼退職」 **書**

い 1-95

い かん-なく 【遺憾なく】 《連語》^{じゅうぶん もう ぶん}十分に。申し分なく。㊤^{ゆた}充分。完全。「豊

かな^{ひょうげんりよく}表現^い力を遺憾なく^い発揮^{かん}したスピーチで、会場^{はつき}を沸^{かいじょう}かせた^わ」

い 1-96

いき① 【域】《名》ものごとの程度^{ていど}。段階^{だんかい}。㊤程度。水平。「一郎^{いちろう}の絵^えはしろ

うとの域^{いき}をこえている//名人^{めいじん}の域^{いき}」 書

い 1-97

いき② I 【行き】《名》行くこと。行くとき。㊤去。往。「行き^いは友達^{ともだち}と一緒^{いっしょ}

だが、帰り^{かえ}は1人^{ひとり}だ」 自動^い行く 対^{かえ}帰り II 【-行き】《接尾》乗り物^のなどの目^{もの}

的^{てきち}地^{あらか}を表す。㊤去往^{しぶやい}…。到^{しぶやい}…。「渋谷^{しぶやい}行き^いのバス」 △ゆき

い 1-98

いき① 【息】《名》口^{くち}や鼻^{はな}から空気^{くうき}を吸^すったり出^だしたりすること。また、そ

の空気^{くうき}。㊤呼吸^{ふゆ}。喘^{あさ}気^{しろ}。气息^{いき}。「冬^{ふゆ}の朝^{あさ}は、白^{しろ}い息^{いき}を吐^はきながら駅^{えき}に向^むかう」

・・・・・・・・「息」の慣用表現・・・・・・・・

【息^{いき}が合^あう】一緒^{いっしょ}に何か^{なに}をするとき、相手^{あいて}と気持^{きも}ちや調子^{ちようし}が1つ^{ひと}になる。㊤

合^あ得^え来^{らい}。歩^{ながねん}調^{まんざい}一致^い。「長年^{ながねん}の漫才^{まんざい}コンビは、ぴった^{いき}り息^あが合^あっている」 似た

表現^い息^あを合^あわせる。呼^{こきゅう}吸^あが合^あう

【息が切れる】①息をするのが苦しくなる。㊦接不上气。「お寺の石段を一気

に上がって、息が切れた」②根気が続かなくなって、やめる。㊦半途而废。

「レースの上着を編み始めたが、途中で息が切れた」

【息が絶える】死ぬ。㊦断气。气绝。「病院へ運ぶ途中で、病人は息が絶えた」

【息も絶え絶え】息がわずかに続いているようです。㊦奄奄一息。「倒壊した家

の下から、息も絶え絶えの少年が救出された」

【息を殺す】相手に見つからないように、呼吸をとめてじっとしている。㊦

屏息。「強盗に見つからないように、息を殺して隠れていた」

【息をのむ】何も言えないほど驚く。㊦（吃惊或惊吓得）屏住呼吸。喘不上

气。「津波に流された、わが家の跡に息をのんだ」

【息を吹き返す】①死んだように見えたものが生き返る。㊦缓过气来。苏醒过

来。「懸命な人工呼吸のおかげで、おぼれた子どもは息を吹き返した」②も

とのように活発になる。㊦重新焕发活力。重新充满生气。「息子一家がもど

ってきて、老夫婦だけの家は息を吹き返した」

.....

い2-6

いき① I 【生き】《名》^{しょくよう}食用にする^{さかな}魚や^{かい}貝の^{あたらし}新しさ。㊥新鮮程度。鲜活。

「^い生きのいいタイが^て手に入^{はい}った」II 【生き-】《接頭》^い生きている。㊥生…。

活…。「^い生き^{わか}別れ//^い生き^{しょうにん}証人」

い2-7

いき① 【意気】《名》^{じぶん}自分から^{すす}進んで^{なに}何かをしようとする、^は張りき^{きも}った気持

ち。㊥气势。气概。气魄。「メダルをきつと^と取るとい^いき意気で、がんばる」

【^い意気があ^{げん}がらない】^{げん}元気がでない。㊥打不起精神。消沉。「^{しゅしょう}主将の^いけがで、

^いチームの^い意気があ^{げん}がらない」

い2-9

いき① 【粹】《形動》^み身なりや^{たいど}態度が^{せんれん}洗練されてい^{うつく}て美しいようす。また、

^{ひと}人との^{せつ}接し^{かた}方が、^き気がきいてい^{うつく}るようす。㊥俊俏；潇洒。「^{ようこ}洋子はいつもスカ

ーフを^い粹に^{むす}結んでい^いる//^い粹な^{きくぼ}気配り」自動^い粹がる対やぼ

い2-10

いぎ① 【威儀】《名》^{さほう}作法に^{おも}かなった^{おも}重々しい^{たいど}態度や、^みととのった身なり。

㊦威儀。威严。^{しきじょう しんろう ふく いぎ ただ}「式場には新郎がえんぴつ服で威儀を正してすわっている」 書

い2-11

いぎ① 【異議】《名》^{たひとちが いけん}他の人と違った意見。㊦异议。^{じゅぎょうりょうねあ ていあん}「授業料値上げの提案

に、^{がくせい}学生たちは^{いぎ}異議を^{とな}唱えている」 類^{いろん いぞん}異論・異存

比較 ^{いぎ いぞん いろん}異議・異存・異論

3語ともほかの人と違う意見のこと。異議、異存は、反対・不服・不満の気持ちを表す場合が多いが、異論は違う考え方や意見が全部含まれる。

- ◆全員「異議なし」で可決された/判定に異議を申し立てる
- ◆理事会の決定に異存はない/ご提案に異存はありません
- ◆増税案に対し異論がふきだした/異論を唱える

い2-12

いぎ① 【意義】《名》^{も ないよう かし じゅうよう}そのことが持つ内容の価値や重要さ。㊦意义。

^{ふうりょくはつでん}「風力発電は、^{かんきょう}環境の^{ほご}保護に^{おお}大きな^{いぎ}意義をもつ」 類^{いみ}意味

い2-13

いきあたり-ばったり⑥⑧ 【行きあたりばったり】《名・形動》しっかり

^{けいかく}した計画を立てないで、^たそのときの^{ようす}ようすや、^{なりゆき}なりゆきに^{まか}任せること。ま

た、そのようす。ゆきあたりばったり。㊦漫无计划。到哪儿说哪儿。「行き

あたりばつたりに事業を広げて、自滅した」
㊧類出たところ勝負. 無計画

い 2-14

いきあた・る ㊨ 【行き当たる】《自動五》(いきあたって) ①進んで行っ

て突き当たる。ゆきあたる。㊩走到尽头。迎面碰到(障碍)。「胡同を歩い

ていたら、城壁に行き当たった」②それ以上先に進めないような場面にぶ

つかる。行きづまる。㊪进行不下去。不能进展。「能力の限界に行き当た
る」

い 2-15

いきいき ㊫ 【生き生き】《～(と)副・自動～する》①非常に元気で、

生命力があふれているようす。㊬生气勃勃。活泼。「久しぶりの雨で、草

木が生き生きしてきた」②まるで生きているかのように力強いようす。㊭

栩栩如生。生动。「この小説は、庶民の生活を生き生きと描いている」

い 2-16

いきうめ④ 【生き埋め】《名》^い生きたままうずめること。また、うずまること。㊤活埋。「^{どしゃ}土砂くずれで、^{いっか}一家が^い生き埋めになった」

い2-17

いきおい③ 【勢い】 I 《名》①ものごとが^{うご}動くときの^{はや}速さや^{つよ}強さ。㊤…

勢。势头。「^{おおがたいふう}大型台風の^{いきお}勢いは、^{じょうりくご}上陸後も^{おとろ}衰えない//^{みず}水が^{いきお}勢いよく^{なが}流れる」

②^た他を^{あつとう}圧倒する^{つよ}強い^{ちから}力。㊤气势。劲头。「^{よこづな}横綱は、^{はちく}破竹の^{いきお}勢いで^{れん}連

^{しょうきろく}勝記録を^{こうしんちゅう}更新中だ//^{いきお}勢いに^{じょう}乗じる」 II [いきおい] 《副詞》ものごと

なりゆきから、^{とうぜん}当然の結果として。どうしても。㊤势必。自然而然地。

「^{うんどう}運動に^{ねっちゅう}熱中すると、^{べんきょう}いきおい勉強がおろそかになる」

い2-18

いきおいこ・む⑤ 【勢い込む】《自動五》(いきおいこ^なんで)何かをしよ

うとして、^はおおいに張りきる。㊤干劲十足。振奋。「^{せんしゅ}選手たちは、^{いきお}勢いこ

^{きょうぎじょう}んで^で競技場に出た」

い2-19

いきがい ②③ 【生きがい〔生き **伊斐**〕】 《名》生きていく い 上で うえ 喜び よろこ を感 かん

じることがら。㊥ **人生的意义。生活的价值。** 「生きがいのある い 仕事 しごと」

い 2-20

いきか・う ③ 【行き交う】 《自動五》 (いき い かつて) 人 ひと や 車 くるま などが行 い

たり来 き たりする。ゆきかう。㊥ **(行人、车辆等) 往来。** 「交 こう 差点 さてん を行 い きかう

ひと 人 くるま や 車 まど を、ビル なが の窓 まど から眺 なが める」

い 2-21

いきかえり ① 【行き帰り】 《名》ある場所 ばしょ へ行 い って、帰 かえ ること。往復 おうふく。ゆ

きかえり。㊥ **往返。来回。** 「病 びょういん 院 い の行 い き帰 かえ りはバ つか ス つか を使 つか う」

い 2-22

いきかえ・る ②③ 【生き返る】 《自動五》 (いき い かつて) 一 いち 度 ど 死 し んだよ

う げん にな き ったものが、また元 げん 気 き になる。㊥ **复活。复苏。苏醒。** 「し お れて いた

イ あめ ネ い が、雨 あめ で生 い き返 かえ った」 **類** よ み が え る . 蘇 そ 生 せい する

い 2-23

いきがかり① 【行きがかり・行き掛かり】 《名》ものごとが進行している

ときにできた事情。ゆきがかり。㊦**开始的势头。进展中的情形。**「今まで

の行きがかりを捨てて、協力し合う」 類なりゆき

い2-24

いきかた④③ 【生き方】 《名》人生に対する態度。生活のしかた。㊦**人生**

態度。生活方式。「自分らしい生き方を求める//意欲的な生き方」

い2-25

いきき②① 【行き来〔往”き来〕】 《名・自動～する》①行くことと来る

こと。往来。ゆきき。㊦**来往。往来。**「車が激しく行き来する//休日は人

の行き来が少ない」②つきあうこと。交際。㊦**来往。交往。**「隣の家と

は、3代前から行き来がある」

い2-26

いきぎれ①④ 【息切れ】 《名・自動～する》呼吸が苦しくなること。あ

えぐこと。㊦**气喘吁吁。上气不接下气。**「急いで階段を上がると、息切れが

する」

い 2-27

いきぐるし・い⑤ 【息苦しい】《形》息^{いき}をするのが苦^{くる}しい。息^{いき}が^{つまる}よ

うだ。㊥呼吸^{せま}困難^{へや}。喘^{ひと}不上^{いきぐる}气。「狭い部屋におおぜいの人^{ひと}がいて、息^{いきぐる}苦し

い」 名^{いきぐる}息^{いきぐる}苦し^ささ

い 2-28

いきけんこう① 【意气軒昂^い】《～(と)副・～たる連体》意^{いき}気^ご込^{さか}みが盛

んなようす。㊥意^{わかもの}気^{いきけんこう}風^{なんきょく}发^た。「若^む者は、意^い気^{いきけんこう}軒^た昂^むとして難^む局^むに立^むち向^むかっ

た」 書 対^い意^{いき}気^き消^{しょう}沈^{ちん}

い 2-29

いきごみ②③ 【意^い気^き込^ごみ】《名》自^じ分^{ぶん}か^{らす}ら進^{すす}んでや^やら^らうと^とい^いう張^はり切^きった

き^もち。㊥干^{ひっしょう}劲^{いきごみ}。劲^{しあい}头^{のぞ}儿。「必^ひ勝^{しょう}の意^い気^き込^ごみで、試^し合^{あい}に臨^{のぞ}む」 自^じ動^{どう}意^い気^き込^ご

む 類^き气^{がい}概^{がい}。气^き迫^{はく}。气^き構^{がま}え

い 2-30

いきさき④ 【行^ゆき先^{さき}】《名》⇒行^ゆき先^{さき}

い 2-31

いきさつ② 《名》ものごとがある結果になるまでの内部のいろいろな事

情。④原委。经过。「社長交代のいきさつは、部外者にはわからない」

類経緯

い2-32

いきざま① 【生きざま・生き様】《名》その人らしい生き方。④对待生活

的态度。「弱者の側に立ち続けた、師の生きざまを称賛する」 対死にざま

い2-33

いきじごく③ 【生き地獄】《名》地獄の苦しみを味わうような、悲惨な

状態や経験。④人間地獄。活地獄。「原爆の被曝者は、生き地獄の中をさまよった」

い2-34

いきじびき③ 【生き字引】《名》辞書のようになんでもよく知っている

人。④活字典。万事通。「三郎はアニメのことなら、なんでもわかる生き字

びき引だ」

い2-35

いきしょうちん①・② 【意気消沈】 《名・自動～する》^{げんき}元気をなくし、^{しず}沈

^こみ込むこと。㊦^い意志消沈。「^{れんぱい}3連敗の^{よこづな}横綱は、^{いきしょうちん}意気消沈してもどってきた」

^い対^{いきけんこう}意気軒昂

い2-36

いきすぎ③ 【行き過ぎ】 《名》^{なに}何かをするとき、^き決められた^{ていど}程度を^こ越えて

しまうこと。^{のぞ}望ましくない^{きもち}気持ちが^{ふく}含まれる。㊦^あ过火。^あ过头。「^{しんせつ}親切の^い行き

^す過ぎは^{めいわく}迷惑に^{つう}通じる」 △^い自動^す行き過ぎる

い2-37

いきちがい④ 【行き違い】 《名》①^あたがいに^で会うつもりで^い出かけて^い行った

のに^あ会えないこと。㊦^あ走岔开。^あ相左。「^{ふんおく}15分遅れて^い行ったら、^{あいて}相手は^{かえ}帰った

^{あと}後で^い行き違いに^{ちが}なった」②^い意思が^{つう}通じなかつたりして、^{ごかい}誤解などが^お起こるこ

と。㊦^い齟齬。^あ不和。「^いことばの^{ちが}行き違いから、^{ごかい}誤解が^{しょう}生じた」 △^いゆきちが

い ^い自動^{ちが}行き違う

い2-38

いきづかい③ 【息遣い】《名》息^{いき}をするようす。呼吸^{こきゅう}のしかた。㊥呼吸

(**的节奏**)。「病人^{びょうにん}は熱^{ねつ}が高^{たか}く、息づかい^{いき}が荒^{あら}い」

い2-39

いきつき③④ 【息継ぎ】《名・自動～する》①歌^{うた}・水泳^{すいえい}などの途^と中^{ちゅう}で、

息^{いき}を吸^すいこむこと。㊥換^か気^き。「息^{いき}つきがで^おき^よなく^くて、泳^おぐ^くの^すが^い苦^くしい//吹^す奏^{そう}

楽^がの演^{えん}奏^{そう}は息^{いき}つきがだ^しい^じだ」②仕^し事^{ごと}の途^と中^{ちゅう}でち^ちよ^よっ^と休^{きゅう}憩^{けい}す^るこ^こと。㊥

歇^{しやく}口^く気^き。休^{きゅう}息^{そく}一^{いつ}下^げ。「荷^{にもつ}物^{ぶつ}も片^か付^{たづ}いたし、息^{いき}つきに^{ちや}お^の茶^{ちや}で^のも^の飲^のもう」類息^{いき}

ぬ^ぬき^き。気^き晴^はらし

い2-40

いきつけ① 【行きつけ】《名》店^{みせ}などで、し^いょ^ちち^{ゅう}う^い行^いっ^てな^じみ^にな

っ^てい^るこ^と。ゆ^きつ^け。㊥常^{じょう}去^{きょ}。经^{じょう}常^{じょう}光^{こう}顧^こ（**的店**）。「行^いき^つけ^の飲^のみ

や^や屋^や」

い2-41

いきづま・る④ 【行き詰まる】《自動五》（いきづま^{みち}って）①道^{みち}がな^くな

り、先^{さき}へ行^いけな^くな^る。㊥走^{せい}到^{さく}尽^{えい}頭^{ぎょう}。行^{さき}不^{すす}通^す。②制^{せい}作^{さく}・営^{えい}業^{ぎょう}な^どで先^{さき}へ進^{すす}

めなくなる。㊦**停滞不前**。陷入僵局。「資金が**続**かず、計画が**行**きづまっ
た」 △ゆきづまる **名**行き詰まり

い 2-42

いきとうごう ㊦, ㊦・㊦ **【意气投合】** 《名・自動～する》たがいの**気**持ちや
かんが**考**えが、ぴったり**あ**合うこと。㊦**意气相投**。不谋而合。「**意**気投合した2人
は、**共**同**経**営を**始**めた」 **書**類**共**鳴

い 2-43

いきどお・る ㊦ **【憤る】** 《自動五》 (いきどおって) **許**すことができない
はげ**と**激しく**おこ**る。㊦**愤怒**。气愤。「大**義**なき**戦**争にいきどおる」 **名**憤り **書**
類憤慨する

い 2-44

いきとど・く ㊦ **【行き届く】** 《自動五》 (いきとどいて) **細**かいところま
で**き**を**く**ばる。ゆきとどく。㊦**周到**。仔细。「**注**意が**行**き**届**く」

い 2-45

いきながら・える⑥⑤ 【生き長らえる・生き永らえる】《自動一》生き
て、この世に長くとどまる。㊦**长生。长寿。未死。**「戦中戦後の苦しい時
代をへて、90年も生き長らえた」

い2-46

いきなり① 《副》①予想していないことが急に起こったようす。㊦**冷不
防。突然。**「道路に、いきなり子どもが飛びだしてきた」**類**突然 ②先に
しなければならないことをしないで、次のことをするようす。㊦**马上就。直
接就。**「いきなりプールに飛びこむのは危険だ」

い2-47

いきぬき③④ 【息抜き】《名・自動～する》仕事の間などで、ひと休み
すること。㊦**休息一会儿。歇口气。**「仕事の息抜きに、散歩に出る」**類**
気晴らし. 息継ぎ

い2-48

いきぬ・く ③④ 【生き抜く】《自動五》(いきぬいて) 苦し^{くる}みや困難^{こんなん}を克^{こく}

服^{ふく}して生き^い続^{つづ}ける。㊤**挣扎着活下去。度过艰苦的日子。**「競争^{きょうそう}を生き^い抜^ぬい

て、ついに社^{しゃ}長^{ちょう}になった」

い 2-49

いきの・びる ④④ 【生き延びる】《自動一》死^しぬようなあぶない状^{じょう}況^{きょう}を

抜^ぬけだして、長^{なが}く生^いきる。㊤**长寿。幸存。**「遭難^{そうなん}者^{しゃ}は、水^{みず}だけで2週^{しゅう}間^{かん}生^いき

のびた」 類^い生^いき残^{のこ}る

い 2-50

いぎぶか・い ④ 【意義深い】《形》深^{ふか}い意^い味^みや高^{たか}い価^か値^ちがある。㊤**意义深**

远。「創^{そう}立^{りつ}50周^{しゅう}年^{ねん}記^き念^{ねん}の集^{しゅう}会^{かい}は、意^い義^ぎ深^{ふか}い企^き画^{かく}だっ^た」 名^い意^ぎ義^ぎ深^{ふか}さ

い 2-51

いきま・く ③ 【息巻く】《自動五》(いきまいて) 息^{いき}づか^いを荒^{あら}くして、

勢^{いきお}いこ^いんで言^いう。㊤**怒气冲冲。气势汹汹地说。**「秘^ひ密^{みつ}をもらしたら、ただ

ではおかないと息^{いき}巻^まいた」 類^いいきりたつ

い 2-52

いきもの③② 【生き物】《名》①生きているもの。生物。特に、動物。④

生物。動物。「地球には、多くの生き物が生存する」②生きているかのよ

うに動いて変わり続けるもの。④活的东西。活物。「ことばは生き物だ」

い2-53

いきよ① 【依拠】《名・自動～する》よりどころにして、それにしたがう

こと。④依据。根据。「教授の思想は、カントに依拠している」書

い2-54

いぎょう④ 【偉業】《名》他の人にはできない立派な仕事。偉大な業

績。④丰功伟业。出色的成绩。「オリンピック3連勝という偉業をなし遂
げる」

い2-55

いきようよう① 【意气扬扬・意气扬扬々】《～（と）副・～たる連体》非

常に誇らしそうで、また、元気いっぱいのように。④得意洋洋。洋洋得

意。「勝った選手たちは、意气扬扬々と母校にもどった」

い2-56

いきりた・つ④ 【いきりたつ [熱り立つ]】 《自動五》 (いきりた

って) ひどく怒って興奮する。㊦激昂。憤怒。「首相の度重なる暴言に、

民衆はいきり立った」 類いきまく

い 2-57

い・きる② 【生きる】 《自動一》 ①この世に命がある。㊦活。生存。

「すべての人に、生きる価値がある」 対死ぬ ②生活する。㊦生活。「失

業して、生きる手段を失った」 ③目的を持ったり収入を得たりして、暮

らしていく。㊦維持生活。以…为生。「画家として生きる」 ④生き生きす

る。㊦生动。有生气。「もうすこし工夫すれば、文章が生きる」 ⑤うまく

使われて効果があがる。㊦有效。有意义。「花が入って、古いつぼが生き

た」 対死ぬ 他動生かす

い 2-58

い・く① (いって) I 【行く】 《自動五》 ①人や物が、ある場所から遠ざ

かる方向へ動く。㊦走。「バスは今行った」 対来る ②今いる場所から

目的の場所へ向かう。㊦去。「買い物に行く//東京へ行く」 対帰る ③決

まっていることとして通う。㊦上(学、班)。「秋からパリの大学へ行く」

④ [いく] ものごとが行われる。㊦做。进行。「商売が順調に行く」⑤

[いく] ものごとが、ある状態にとどく。㊦能够。令人…。「満足がいく

//納得がいく」 △名行き II 【いく】《補動》(「～ていく」の形で) ①

ある方向に進む。㊦…下去。…去。「歩いていく」②別の状態に変化する。

㊦逐渐…。「病状が悪化していく」③続いて行われる。㊦…下去。

「仲良くしていく」 参すこし古い言い方は「ゆく」。

い2-59

いく 【幾-】《接頭》①不確かな、また、不明な量や数を表す。㊦几

个。几。「大会に、幾人集まるかわからない//幾たび」②非常に多い量や

数を表す。㊦几。数。好多。「幾万人の命//幾百回」

い2-60

いくえにも① 【幾重にも】《副》何度も繰り返して。㊦重重。多次。「幾

重にもお礼申し上げます」 類重ね重ね. 重重

い2-61

いくさ③④ 【戦】 《名》 「戦争」や「戦い」の古い言い方。㊦戦争。战斗。

い2-62

いくじ①④ 【意気地】 《名》 (後に否定の語がきて) 進んでものごとをやりとおそうとする気力。意地。いきじ。㊦魄力。志气。「意気地がなくて、自分のことも決められない」 類気骨. 气概

い2-63

いくじ① 【育児】 《名》 赤ん坊や小さい子どもを育てること。㊦育儿。
「育児休暇」 類子育て

い2-64

いくじなし③ 【意気地なし】 《名・形動》 心が弱くて、ものごとをする気力がないこと。また、その人。㊦没有志气。懦弱。「意気地なしで、泣いてばかりいる」 類弱虫

い2-65

いくせい① 【育成】《名・他動～する》^{ひと}人や^{じぎょう}事業などを^{りっぱ}立派に^{そだ}育てること。

と。㊦**培養**。**培育**。「^{そしつ}素質のある^{せんしゅ}選手を^{いくせい}育成する」類^{ようせい}養成

比較 ^{いくせい}育成・^{ようせい}養成

2語とも立派に育てることだが、**育成**が広い視野に立って育て上げることをいうのに対して、**養成**は対象とする人たちに技術や知識を与え、訓練して一人前に仕事ができるようにすることをいう。

◆若い人材を**育成**する/育成機関

◆専門家を**養成**する/俳優の**養成**

い2-66

いくつ① 【幾つ】《名》①^{かず}数や^{ねんれい}年齢などを^{たず}尋ねることば。㊦**几个**。**多少**。

「^{ぼう}坊や、^{とし}年はいくつ？」②はっきりとわかっていない^{かず}数を^{あらわ}表すことば。㊦

若干。**几个**。「リンゴがいくつも^お落ちて^{いる}」③（「～もない」の^{かたち}形で）

すこししかない。㊦**没有几个**。「^{たまご}卵はいくつも^{のこ}残っていない」

い2-67

いくつか① 【幾つか】《副》^{かず}数がそれほど^{おお}多くないが、すこしはあるよう

す。㊦**几个**。**若干**。「わからない^{もんだい}問題がいくつかあった」

い2-68

いくどうおん① 【異口同音】 《名》 ^{おお}多くの^{ひと}人が^{おな}同じことを^い言うこと。㊥異

口同声。「^{むらびと}村人たちは、^いく^{どうおん}どうおんに^{つなみ}津波の^{おそ}恐ろしさを^{かた}語った」

い2-69

いくぶん② 【幾分】 I 《名》 (「^{かたち}いくぶんか」の^{ぜんたい}形で) 全体をいくつか

に分けた一部分。㊥一部分。几分。「ボーナスの^{いくぶん}幾分かを^{きふ}寄付する」 II

《副》 ^{ていど}程度が^{すこし}すこしであるようす。いくらか。㊥一点儿。少许。「^{りっしゅう}立秋が
^す過ぎて、^{いくぶん}いくぶん^{すず}涼しくなってきた」

い2-70

いくら 【幾ら】 I ① 《名》 ① ^{ねだん}値段や^{ぶんりょう}分量などを^{たず}尋ねることば。どれぐら

い。㊥多少(钱)。多(重)。「この^{くつ}靴はいくらですか」 ② どのぐらいかわ

からないものをさしていうことば。㊥多少。「^{ひつよう}必要なら、いくらでも^{はら}払う」

③ きのりの^{かず}いい数について、それのはっきりわからない^は端数を^{あらわ}表すことば。

㊥多。「^{こうつうひ}交通費は^{せん}千いくらだ」 II ①② 《副》 ① (「いくら～ても(でも)」

の^{かたち}形で) どんなに。どれほど。㊥无论…也。怎么…也。「いくら^{はたら}働いて

も、生活は楽にならない」②たとえ～でも。㊦**即使…也**。「いくら友達でも、許せない」

い2-71

いくらか**①③** 【幾らか】《副》^{りょう ていど}量や程度がすこしはあるようです。㊦**多**
少。稍微。「暑さもいくらかやわらいできた」**類**^{じゃっかん}若干. やや

い2-72

いくら-なん-でも 【幾らなんでも】《連語》^{りゆう}どんな理由があるにしろ。どう考^{かんが}えても。㊦**无论怎么说**。不管什么理由。「いくらなんでも、1時間も

^{ちこく}遅刻するとはひどい」

い2-73

いくらか**①** 【幾らか】《副》（「いくらか～ない」の形^{かたち}で）すこししか。あまり。㊦**没多少**。没那^{しょうひん}么。「その商品^{のこ}は、もういくらか残っていない」

い2-74

いけ② 【池】《名》人工的に、または、自然にできたくぼみに水がたまっている所。沼や湖より小さい。㊦水池。池塘。「近くちかの池いけへ釣りつに行いく」

い2-75

いけい① 【畏敬】《名・他動～する》相手あいてをすぐれた人物じんぶつとして、心こころからおそれ敬うやまうこと。㊦敬畏。畏敬。「畏敬いけいの念ねんをいいだく」 書 類 尊敬そんけい

い2-76

いけがき①② 【生け垣】《名》丈たけの低ひくい木きを植うえた垣根かきね。㊦矮树篱笆。

い2-77

いけな・い① 《形》①よくない。㊦坏。不好。「いたずらばかりして、いけこない子こだね」②（「～てはいけかたちない」の形かたちで）～てはだめだ。㊦不行。

不准。不可以。「ここでタバコすを吸すってはいけこない」

い2-78

いけばな② 【生け花】《名》草木くさきや花はなを形かたちよく器うつわにさすこと。また、そのやり方かたやその花はな。㊦插花。「生け花いを習ばなう」 類 華道かどう. お花はな

い2-79

イケめん① 【イケ面】 《名》 ^{だんせい}男性で ^み見ばえがいいこと。また、その ^{だんせい}男性。

㊦ (男士) 长相漂亮。英俊小生。「イケ面のサッカー選手が人気絶頂だ」

俗

い 2-80

い・ける② 【生ける〔活〴〵ける〕】 《他動一》 ^き切り ^{ばな}花などを、^{みず}水を入れた

^{うつわ}器に ^{かたち}形よくさす。㊦挿(花)。「床の間に花をいける」

い 2-81

いけん① 【異見】 《名》 あることについての、まわりの人とは ^{ひと}違つた ^{ちが}考 ^{かんが}考

えや ^{いけん}意見。㊦ ^{いけん}异议。 ^{とな}不同意見。「異見を唱える」 類 ^{いろん}異論

い 2-82

いけん① 【違憲】 《名》 ^{けんぽう}憲法の ^{しゅし}趣旨や ^{ないよう}内容に ^{いはん}違反すること。 ^{けんぽう}憲法 ^{いはん}違反。㊦

违背宪法。「自衛隊を海外へ派遣するのは違憲だ//違憲判決」 類 ^{ごうけん}対合憲

い 2-83

いけん① 【意見】 I 《名》 あることについての ^{かんが}考 え。㊦ ^{かんが}意見。 ^{かんが}見解。

「^{いけん}意見が ^{いっち}一致する// ^{さんせい}賛成意見」 類 ^{けんかい}見解 II 《名・自動〜する》 ^{じぶん}自分の ^{かんが}考 え

を^い言^{おし}って、^{おし}教^いえ^いさ^いと^いす^いこ^いと。㊦**提意見。劝告。**「いじめをやめるように、

生徒^{せいと}に^い意^い見^{けん}する」類忠告^{ちゅうこく}. 説教^{せつきょう}

い 2-84

いげん^い① **【威厳】** 《名》^{どうどう}堂々^おとして^つ落^おち^つ着^つき^つが^つあ^つり、^{ひと}人^{げんしゆく}を^き厳^も肅^もな^も気^も持^もち

に^{かん}さ^{かん}せる^{かん}感^{かん}じ。㊦**威严。**「^{いげん}威^い厳^{げん}が^ある//^{いげん}威^い厳^{げん}を^{たも}保^{たも}つ」類威光^{いこう}. 威风^{いふう}. 貫禄^{かんろく}

い 2-85

いご^い① **【以後】** 《名》①^{とき}その^い時^いを^い入^いれ^いて、^{あと}その^あ後^あ。㊦**以后。之后。**「^{よる}夜^{よる} 9

^じ時^い以^い後^ごは^のコー^のヒー^をを^の飲^のま^をない」②^{さき}これ^{さき}から^{さき}先^{さき}。今^{こん}後^ご。㊦**以后。今后。**

「^い以^い後^ご、^き気^きを^をつ^をけ^をま^をす」△対以^い前^{ぜん}類以^い降^{こう}

比較 以後・以降

2語は似ているが、以降のほうが時間の幅が大きく、継続的な場合に使う。

以後は単独でも使えるが、以降は単独では使えない。

◆以後、気をつけてください/午後6時以後は家にいます

◆1970年以降の人口の移り変わりを調べる/来週以降なら都合がいい

い 2-86

いご^い① **【囲碁】** 《名》⇒碁^ご

い-2-87

いこい① 【憩い】《名》憩^{いこ}うこと。休息^{きゅうそく}。㊦休息。消閑。「憩^{いこ}いのひと

とき//憩^{いこ}いの場」 自動憩^{いこ}う 書

い2-88

いこう① 【以降】《名》その時^{とき}を入れて、その時^{とき}の後^{あと}。㊦…后。以后。

「引^ひ越^こしは秋^{あき}以^い降^{こう}の予^よ定^{てい}だ」 対^{たい}以^い前^{ぜん} 類^{るい}以^い後^ご⇒比^ひ較^{かく}欄^{らん}

い2-89

いこう② 【威光】《名》自然^{しぜん}に人^{ひと}をしたがわせるような勢^{いきお}い。また、そ

のような強^{つよ}い力^{ちから}。㊦威^い勢^{せい}。威^い力^{りき}。「親^{おや}の威^い光^{こう}をか^きさに着^きる」 類^{るい}威^い嚴^{げん}・威^い勢^{せい}。

権^{けん}威^い・威^い信^{しん}

い2-90

いこう③ 【意向】《名》どうしたいか、どうするつもりかについての考^{かんが}

え。㊦意^い向^{こう}。打^{たい}算^{さん}。「会^{かい}員^{いん}の意^い向^{こう}を聞^きいて日^{にち}時^じを決^きめる」

い2-91

いこう④ 【移行】《名・自動～する》ある状^{じょう}態^{たい}から他^{ほか}の状^{じょう}態^{たい}に、移^{うつ}り変^か

わっていくこと。㊦转^{しん}移^{ねん}。过^{しん}渡^{せい}。「新^{しん}年^{ねん}度^どから新^{しん}制^{せい}度^どに移^い行^{こう}する//移^い行^{こう}措^そ

置^ち」 類^{るい}推^{すい}移^い

い2-92

イコール② 《名》 (equal) ①^{すうがく}数学で^{ひと}等しいことを^{あらわ}表す^{きごう}記号。等号。記号

は「=」。㊦^{ふた}等号。②2つのことがらが、^{おな}同じ^{かち}価値や^い意味^みを持つこと。㊦^も等
于。相当于。

い2-93

いごち① 【居心地】 《名》そこにいるときの^き気持ち。㊦^も(身处其中时

的) ^{じぶん}心情。感觉。「^へ自分の^や部屋が^いいちばん^{いごち}居心地がいい」

い2-94

いこつ① 【遺骨】 《名》^し死んだ^{ひと}人の^{ほね}骨。㊦^{せんそう}遺骨。「^し戦争で^{ひと}死んだ^{いこつ}人の遺骨

を^{しゅうしゅう}収集する」

い2-95

いざ① 《感》^{なに}何かを^{はじ}始めようとしたり、^{ひと}人を^{さそ}誘ったりするときに、^{いきお}勢い

をつけようと^だ出すことば。㊦^{しゅっぱつ}好啦。来吧。一旦。「いざ、^{しゅっぱつ}出発だ」^い類さあ。
すわ

い2-96

いさい① 【委細】 《名》くわしいこと。くわしい^{じじょう}事情。㊦^{しじょう}详细。详情。

「^い委細^{しょめん}を^{しる}書面に^い記す//^い委細^{めんだん}面談」^{しじょう}類^い詳細。子細

【^{いさいかま}委細構^{じじょう}わず】^{じじょう}事情はどうであろうと。ほかの^{なにごと}何事にもかまわず。㊥**不管**

三七二十一。不管情况如何。「^{いさいかま}委細構^{じじょう}わず^{うつ}実行に移す」

い2-98

いさかい ㊥ 【いさかい [諍^いい]】《名・自動～する》^い言い^{あらし}争うこと。㊥

争论。争吵。「^{きょうだい}兄弟の^{なか}仲が^{わる}悪く、いさかいが^た絶えない」^{こうろん}類口論. ^{けんか}けんか

い2-99

いざかや ㊥③ 【居酒屋】《名》^{やす}安くて^{きが}気軽に^{さけ}酒が^の飲める^{みせ}店。㊥**小酒店。酒**

^{しゅうまつ}館。「^{しゅうまつ}週末は、^{いざかや}居酒屋で^{いっぱい}一杯^の飲んで^{かえ}から^{いっけん}帰る」^{いっけん}数1軒^の類飲^やみ屋. ^{たいしゅうさかば}大衆酒場

い2-100

いさぎよ・い ㊥④ 【^{いさぎよ}潔い】《形》^{おも}思い^{りっぱ}きりがよくて、^{りっぱ}立派だ。㊥**痛痛快快**

^{いさぎよ}的。干脆的。「いさぎよく^{はいぼく}敗北^{みと}を^{いさぎよ}認める」^{いさぎよ}名 潔 さ

い3-1

いさく ㊥ 【^{いさく}遺作】《名》^し死んだ^{ひと}人の、^み未^{はっぴょう}発表^{さくひん}の^{ちよさくぶつ}作品や^{ちよさくぶつ}著作物。㊥**遗作。**

「^{ぞうしょ}蔵書の^{あいだ}間から^{さっか}作家の^{いさく}遺作^{はっけん}が発見された」^{いこう}類遺稿. ^{いぶん}遺文

い3-2

いざこざ① 《名》^{かんけい}関係がある^{ひと}人の^{あいだ}間の、^{あらそ}ちょっとした争い。㊦**纠纷**。矛

盾。「^{いさんそうぞく}遺産^{もんだい}相続の問題でいざこざが^お起きる」**話** **類**もめごと・トラブル

い3-3

いさまし・い④ 【**勇ましい**】《形》①^{いきお}勢いがある、^{なにごと}何事も^{おそ}恐れ^{ない}ない。

㊦**无畏的**。**勇敢的**。「^{いき}勇ましい^{しょうぼうし}消防士は、^ひ火の^{なか}中に^と飛び^こ込んだ」②^{げんき}元気が

あって、^{かつぱつ}活発だ。㊦**振奋的**。**雄壮的**。「^{いき}勇ましい^{こうしんきょく}行進曲」△**名**^{いき}勇ましき

い3-4

いさ・む② 【**勇む**】《自動五》（いさんで）^{こころ}心が^{ゆる}ふるいたつ。^{ゆうき}勇気が^で出

る。㊦**奋勇**。**振奋**。「^{みとうほう}未踏峰の^{とざんたい}登山隊に^{いき}勇んで^{くわ}加わる」**名**^{いさ}勇み

い3-5

いさ・める③ 【**いさめる**〔**諫める**〕】《他動一》^{めうえ}目上の人^{ひと}に対して、^{たい}ま

ちがいや^よ良くない^{てん}点などを^{あらた}改めるように^い言う。㊦**进谏**。**劝告**。「^{しゃちょう}社長に、

^{かくだい}拡大^{ろせん}路線は^{けん}危険だと^{いさ}いさめる」**名**いさめ **類**^{ちゅうこく}忠告する。^{かんげん}諫言する。^{いまし}戒める

い3-6

いさん① 【遺産】 《名》 ①死んだ人が残した財産。Ⓜ遗产。「遺産を妻と

子どもが相続する」 ②前の時代の人々が残した、価値のあるもの。Ⓜ遗产。

「自然遺産//文化遺産」

い3-7

いし② 【石】 《名》 ①岩より小さく、砂より大きいかたまり。Ⓜ石头。石

子。「犬に石を投げる」 ②何かの材料 とするために山から切りだした岩石

や鉱物。Ⓜ石材。石料。「石を積み上げて城壁をつくる」 ③特別の岩石な

どを加工してつくったもの。Ⓜ经过加工的特殊岩石。「ライターの石//碁

石」 ④「じゃんけん」で手のひらをにぎったもの。ぐー。Ⓜ（石头、剪子、

布的）石头。「石を出して、姉の紙に負けた」

【石にかじりついて】 どんなに苦しくても。Ⓜ无论多么艰苦（也…）。

「石にかじりついて研究を続けるつもりだ」

【石の上にも三年】 冷たい石も3年すわり続ければ、温かくなるように、根

気よく続ければ、最後には成功する。Ⓜ（在石头上坐上三年也会暖和的）

功到自然成。

い3-10

いし① 【医師】 《名》 病^{びょうき}気^きやけ^げがの診^{しん}察^{さつ}や治^ち療^{りょう}をすることを職^{しよくぎょう}業^{ぎょう}として
 いる人。法律^{ほつりつじょうさだ}上^{じょう}定められた資格^{しかく}の呼^よび名^な。㊦**医師**。医生^{いし}。「医^い師^し国^{こく}家^か試^し

験^{けん}」 類^{いしや}医^い者^{しや}、ドク^{とく}ター

い3-11

いし① 【意志】 《名》 あることを積^{せつ}極^{きよく}的^{てき}にしようという気^き持^もち。㊦**意**
志。「意^い志^しが固^{かた}い//意^い志^しが強^{つよ}い//意^い志^し薄^{はく}弱^{じやく}」 類^{いし}意^い思^し

比較 意^い志^し・意^い思^し

2語とも考えや意向の意味を表す。意志は個人の意欲や決意。心理学・哲学・文法などの分野で使われる。意思は心に思うことの内容。法律や公的な意見、組織の意向などに使われることが多い。

◆意志をあくまでつらぬく/意志堅固

◆組織として賛成の意思を表す/臓器提供意思表示カード

い3-12

いし① 【意思】 《名》 あることをしようと思^{おも}う考^{かん}え。㊦**意**思^し。打^だ算^{さん}。

「意^い思^しの疎^そ通^{つう}をはかる」 類^{いし}意^い志^し⇒比^ひ較^{かく}欄^{らん}

い3-13

いし① 【遺志】 《名》 死しんだ人ひとが果はたせなかつた目もくひょう標こころざしや志。㊥遺志。

遺愿。 「親おやの遺志いしをつぐ//遺志いしを尊そんちょう重する」

い3-14

いじ② 【意地】 《名》 ①思おもつたことを、やり通とおそうとする気き持もち。㊥志

气。逞強心。 「親おやの意地いじで、5人にんの子こどもを留りゅうがく学させた//意地いじを通とおす」 類

気概. 気骨 ②物ものをほしがる気き持もち。㊥物欲。貪婪。 「食くい意地いじ」

..... 「意地」の慣用表現.....

【意地いじが悪わるい】 わざと人ひとを困こまらせたり、いやがらせをしたりするようすだ。

㊥心術不正。用心不良。 「掃除そうじした後あとにごみおを落おとしていくとは、意地いじ

が悪わるい」 似た表現 意地いじ悪わる

【意地いじ（に）でも】 どんむりなに無かなら理かならをしても必かならず。㊥硬着头皮也要…。 「意

地じでも社長しゃちょうになるぞ」

【意地いじになる】 非ひ常じょうにひじょうこだわって、やめつづずにつづ続ける。㊥固執己见。意气用

事。 「東とうきょう京だい大がく学じゅ受けん験むりは無い理いだと言いわれて、意地いじになべんきょうって勉べんきょう強きょうした」

いじいじ① 《～（と）副・自動～する》^き気にかかるものがある、^き気が小
さくなり、^{げんき}元気がなくなるようす。㊥^{けんすく}畏縮。畏手畏脚。「^{てんこう}転校してきた子
は、^{なかま}仲間にも入れず、^{はい}いじいじと^た立っている」類うじうじ

い3-23

いしがき① 【石垣】《名》^{たてももの}建物や^{しきち}敷地などのまわりに、^{いし}石を^つ積んで^{かべ}壁のよ
うにしたかこい。㊥^{いしがき}石牆。石壁。「^{いしがき}石垣を^{きず}築く」

い3-24

いしき① 【意識】 I 《名》①^{じぶん}自分のしていることや^{かんが}考えていることがは
っきりとわかる^{こころ}心の^{はたら}働き。㊥^{いしき}意識。知覚。「^{いしき}意識が^{かいふく}回復する//^{いしき}意識^{ふめい}不明」

②ものごとについての^{かんが}考えや^{はんだん}判断。㊥^{いしき}意識。认识。「^{いしきちょうさ}意識調査//^{つみ}罪の^い意

^{しき}識」 II 《名・他動～する》^き気にすること。^{こころ}心がとられること。㊥^{いしき}意識

^{しき}到。注意到。「^{たにん}他人の^め目を^{いしき}意識して^{きかざ}着飾る」

い3-25

いしきてき① 【意識的】《形動》①わかっていて、わざとするようす。㊥
^{いしきてき}有意识的。故意的。「^{いしきてき}意識的に^さ避ける」②^{じかく}自覚して、^{こうどう}行動するようす。㊥^{いしきてき}有

^{いしきてき}意識的。「^{いしきてき}意識的な^{こうどう}行動」対^む無意識的

い3-26

いじ・ける① 《自動一》 恐怖きょうふや寒ささむなどで気が弱きくなる。㊦气馁。怯

懦。「いつも親おやの目ばかりうかがう、いじけた子こだ」 類いしゆく萎縮する

い3-27

いしずえ① 【礎】 《名》 ①建物の下たてもものしたの、土台どだいの石いし。礎石そせき。㊦基石。「古い

寺てらの礎いしずえだけが残のこっている」 ②ものごとの基礎きそとなるだいじなもの。㊦基

础。基石。「日本国憲法にほんこくけんぽうは、日本の民主化にほんみんしゅかの礎いしずえとなった」

い3-28

いしだん① 【石段】 《名》 平らたいな石いしを積つんでつくった階段かいだん。㊦石阶。

「石段いしだんをのぼって神社じんじゃに参拝さんぱいする」

い3-29

いしつ① 【遺失】 《名・他動～する》 品物しなものやお金かねなどを置き忘おれたり落おと

したりしてなくすこと。㊦遗矢。丢失。「遺失物いしつぶつ//遺失品いしつひん」 書し 対たい 拾得しゅうとく 類るい

紛失ふんしつ

い3-30

いしつ④ 【異質】《名・形動》^{せいしつ せいぶん}性質や成分などが他のものと^た違う^{ちが}ようす。

また、その^{せいしつ せいぶん}性質や成分。④^{たびさき}異質。^{いしつ ぶんか}不同成分。「旅先で異質な文化に^{せつ}接する」

書 対^{どうしつ とうしつ}同質. 等質

い3-31

いじっぱり④⑤ 【意地っ張り】《名・形動》どこまでも^{いじ とお}意地を通そうとす

るようす。また、その^{ひと}人。④^{いじ}倔强。^ば固执。「意地っ張りだから、いったん^い言

いだしたら^ひ引かない」 類^{ごうじょ ば}強情っ張り

い3-32

いしばしを-たたいて-わたる 【石橋をたたいて渡る】^{ひじょう しんちょう}非常に慎重で、

^{ようじんぶか}用心深いことのたとえ。④^{ひじんぶか}谨小慎微。万分谨慎。

い3-33

いしひょうじ③ 【意思表示】《名・自動～する》自分の^{じぶん かんが}考えをはっきり

^{しめ}示すこと。④^{めいこくひょうい}明确表意。发表意见。「臓器提供の^{いしひょうじ}意思表示をする」

い3-34

いじまし・い④ 《形》けちくさくて、みじめな^{かん}感じがする。㊥小气的。抠

门的。（样子贫穷地）可怜。「10円にもこだわるいじましい^く暮らしぶり」

名いじましさ

い3-35

いじめ④ 【いじめ〔苛^めめ〕】《名》いじめること。特に、^{とく}学校や^{がっこう}職場^{しょくば}な

どで、^{よわ}弱い^{たちば}立場^{もの}の^{くる}者を苦しめること。㊥欺侮。欺负弱者。「いじめにあう//

いじめによる自殺」 他動いじめる 類いびり

い3-36

いじめっこ④ 【いじめっ子〔苛^めめっ子〕】《名》^{よわ}弱い^こ子どもをいじめる

^こ子。㊥（欺负弱小的）淘气孩子。「いじめっ子がいるから、^{がっこう}学校へ^い行きたく
ない」

い3-37

いじめる④ 【いじめる〔苛^めめる〕】《他動一》①^{よわ}弱い^{らんぼう}ものに乱暴したり

^{こま}困らせたりして、^{くる}苦しめる。㊥欺侮。捉弄。「^{ねこ}猫に^{いし}石を^な投げて、いじめる」

名いじめ 対かわいがる 類いびる。虐待^{ぎやくたい}する ②訓練^{くんれん}などのために、^{じぶん}自分に

^{くる}苦しみを^{あた}与える。㊥磨炼。折磨。「^{からだ}体をいじめる」

い3-38

いしや① 【医者】《名》「^{いし}医師」の^{にちじょうてき}日常的な^い言^{かた}い方。㊥**医生。大夫。**

「^{いしや}かかりつけの^{いしや}医者//^{いしや}やぶ^{いしや}医者」

【^{いしや}医者の^{ふようじょう}不養生】^{いしや}医者は、^{かんじゃ}患者の^{からだ}体には^{ちゅうい}注意しても、^{じぶん}自分の^{からだ}体には^{ちゅう}注

^い意しないで^{びょうき}病気になることがある。そのように、^{ひと}人には^いいろいろ^い言えて

も、^{じぶん}自分は^{じっこう}なかなか^{じっこう}実行できないというたとえ。㊥**医不摄生。勤于谋人而**

疏于谋己。 似た表現 ^{こうや}紺屋の^{しろ}白ばかま

い3-40

いしやりょう② 【慰謝料】《名》^{せいしんてき}精神的な^{くる}苦しみを^{あた}与えた^{あいて}相手に^{しはら}支払う

^{かね}金。㊥**赔偿费。精神抚慰金。**「^{りこん}離婚したいという^{おっと}夫が、^{つま}妻に^{いしやりょう}慰謝料を^{はら}払う」

い3-41

いしゅう① 【異臭】《名》^{へん}変な^{にお}臭い。いやな^{にお}臭い。㊥**异臭。怪味。**「^{となり}隣

の^あ空き^や家から^{いしゅう}異臭が^{いしゅう}する//^{はな}異臭を^{はな}放つ」 類 ^{あくしゅう}悪臭⇒^ひ比較欄

い3-42

いじゅう① 【移住】《名・自動～する》ほかの^{とち}土地、特に、^{とく}外国に^{がいこく}移り^{うつ}住

むこと。㊥**移居。**「^{ホンコン}香港から^{いじゅう}カナダに^{いじゅう}移住する//^{いじゅうしゃ}移住者」

い3-43

いしゆく① 【萎縮】《名・自動～する》^{げんき}元気がなくなり、^{ちい}小さくなること。
④萎縮。「^{しゅうい}周囲の^{おお}大きな^{きたい}期待の^{まえ}前に、^{いしゆく}萎縮してしまった//^{きんにく}筋肉が萎縮する」
類ちぢこまる. なえる. しぼむ

い3-44

いじゆつ① 【医術】《名》^{びょうき}病氣や^{なほ}けがを^{ぎじゆつ}治す技術。④医术。医疗技术。
「^{かいぎょうい}開業医の^{あに}兄は、^{さいしん}最新の^{いじゆつ}医術を^{まな}学ぶために^{りゅうがく}留学した//^{とうよういじゆつ}東洋医術」
類医学

い3-45

いしよ① 【遺書】《名》^し死を^{かくご}覚悟した^{ひと}人が、^{しご}死後のことについて^か書き^{のこ}残すもの。
④遺書。「^{じさつしゃ}自殺者の^{ポケット}から、^{つまあ}妻宛ての^{いしよ}遺書が^み見つかった」
数
1通 類書き置き. 遺言状

い3-46

いしょう① 【衣装】《名》^{ぎしき}儀式などの^{あらた}改まった^{ばしょ}場所や、^{ぶたい}舞台などで^き着る特別な衣服。
④服装。戏装。「^{ぶたいいしょう}舞台衣装//^{かしいしょう}貸衣装」
数1枚. 1着

い3-47

いしょう ①② 【意匠】《名》^{せいひん}製品や^{びじゅつこうげいひん}美術工芸品などの^{かたち}形や^{いろ}色などについて

ての^{くふう}工夫。デザイン。㊥^{いしょう}意匠。^{えんあん}图案。「^{ざんしん}斬新な^{いしょう}意匠//^{いしょう}意匠をこらす」

い3-48

いじょう ① 【異状】《名》ふつうと^{ちが}違った^{じょうたい}状態。㊥^{いじょう}异状。異常状态。

「^{しんたいけんさ}身体検査の結果、^{いじょう}異状なしと言われた//^{いじょう}異状を^{うった}訴える」^{べつじょう}類別状

い4-49

いじょう ② 【異常】《名・形動》ふつうと^{ちが}違って、^{とくべつ}特別であること。ま

た、そのようす。㊥^{いじょう}异常。不寻常。「この^{ふゆ}冬の^{さむ}寒さは^{いじょう}異常だ」^{たいせいじょう}対正常^{れい}類

^{へん}変

い3-50

いじょう ① I 【以上】《名》①これまで^の述べたこと。㊥^{いじょう}上述。前面所述。

「^{いじょう}以上で^{あいさつ}挨拶を^お終わります」^{いか}対以下 ②これで^お終わりの^{いみ}意味で、^{しよるい}書類の^{さい}最

^ご後に^か書いたり、^{あらた}改まった^{はなし}話の^{さいご}最後に^の述べたりすることば。㊥^{いじょう}完毕。終。

「これで^{ほうこく}報告を^お終わります。以上」③（「^{いじょう}～した以上」「^{いじょう}～する以上」

^{かたち}の形で）～であるならば。～からには。㊥^{いじょう}既然…就。「^{ていあん}提案を^{かけつ}可決した^い以

^{じょう}上、^{じっこう}実行するしかない」II 【-以上】《接尾》^{かず}数や^{りょう}量や^{ていど}程度などが、それ

を含めて、それより上であること。㊦…以上。不止。「100人以上の参加者

//2年以上」 ㊧以下

い3-51

いじょうきしょう ㊨ 【異常気象】《名》気象の状況が、例年と非常に

ちが 違っていること。㊩異常気象。「この夏は、気温が低い異常気象だ」

い3-52

いしょく ㊪ 【衣食】《名》①着る物と食べる物。㊫衣食。「給料のほと

んどは衣食の費用に消える」②生計。生活。㊬生活。生计。「正社員にな

って、やっと衣食の道が保障された」

【衣食足りて礼節を知る】人は生活が楽になって、はじめて礼儀や節度を
わきまえるようになる。㊭衣食足知礼节。

い3-54

いしょく ㊮ 【異色】《名》ほかとは違った特色があること。㊯独特。与

衆不同。「ドイツ語と日本語で作品を書いている異色の小説家」 ㊰異彩

い3-55

いしょく① 【委嘱】《名・他動～する》^{しごと やくしょく} 仕事や役職をほかの^{ひと}人に頼^{たの}んで

^{まか} 任せること。㊥**委託**。托付。「市長は、洋子を^{しちょう ようこ きょういくいいん いしょく}教育委員に委嘱した//委

^{しょくじょう} 嘱状」書 類 ^{いたく いたく いにん} 委託. 依託. 委任

い3-56

いしょく① 【移植】《名・他動～する》^{くさ き べつ ばしょ う} ①草や木を別の場所に植^うえかえる

こと。㊥**移植**。移栽。「朝顔の^{あさがお なえ はち いしょく}苗を鉢に移植する」②医学で、^{いがく からだ けんぜん}体の健全な

^{ぶぶん そしき べつ ぶぶん うつ}部分の組織を別の部分に移しかえたり、^{し ま}死んで間がない^{ひと}人の^{ぞうき}臓器を他の^{ひと}人に

^{うつ}移しかえること。㊥**移植**。「^{のうし ひと しんぞう いしょく}脳死の人の心臓を移植する//^{ぞうき いしょく}臓器移植」

い3-57

いしょくじゅう③ 【衣食住】《名》^{き た す}着ること食^たべることと住^すむこと。生活^{せいかつ}

にいちばん^{ひつよう}必要なもの。㊥**衣食住**。吃穿住。「^{いしょくじゅう こま}衣食住に困らない^{ていど}程度の^{せい}生

^{かつ}活」

い3-58

いじらし・い④ 《形》^こ子どもや^{よわ}弱い^{もの}者のようすが^{あわ}哀れで、^{おも}かわいそうに思

われる。また、^{かん}かわいい^{かん}感じがする。㊥**令人怜爱的**。**可爱的**。「^{ようじ びょう}幼児が病

^{き はは くすり の}気の母に薬を飲ませようとする^{すがた}姿が、いじらしい」名いじらしさ

い3-59

いじ・る② 《他動五》 (いじって) ①指先^{ゆびさき}でむやみにさわる。㊦**拨弄**。抚弄。^{かみ}「髪^けの毛をいじるくせがある」 ㊦**いじくる** ②^{たの}楽しみや^{あそ}遊びとしてものごとをする。㊦**摆弄**。玩赏。「暇^{ひま}があると、ギターをいじっている」

い3-60

いじわる③② 【意地悪】 《名・形動・他動～する》人^{ひと}が困^{こま}ることや、いやがることをわざとすること。また、その人^{ひと}。そのようす。㊦**刁难**。捉弄。使坏(的人)。「ゼミで発表^{はっぴょう}したら、先輩^{せんぱい}に意地悪^{いじわる}な質問^{しつもん}をされた」

い3-61

いしん① 【威信】 《名》人^{ひと}をしたがわせる強^{つよ}い力^{ちから}と、それに対する周^{たい}围^{しゅうい}からの信^{しん}頼^{らい}感^{かん}。㊦**威信**。「率^{そつせん}先^{かくへい}して核^{はい}兵^き器^きを廃^く棄^にし、国^{いしん}の威^{たか}信^いを高^いめる//威信を失^{しん}う」 ㊦**威光**。権^{けん}威^い

い3-62

いしん① 【維新】《名》①すべてが改^{あらた}まり新^{あたら}しくなること。㊦維新。

「若^{わかもの}者が維^{いしん}新^おを起こした」 類^{かくしん}革新^{めいじ} ②明治維新。㊦明治維新。「維新^{いしん}の^{あと}後

に、
さまざまな^{せいど}制度^{せいど}がととのった」

い3-63

いしんでんしん① 【以心伝心】《名》何^{なに}も言^いわなくても心^{こころ}と心^{こころ}が通^{つう}じ合^あ

うこと。㊦心心相印。心領神会。「言^{げん}語^ご障^{しょう}害^{がい}がある人^{ひと}とでも、以^い心^{しん}伝^{でん}心^{しん}
で、通^{つう}じる」

い3-64

いす① 【椅子】《名》①腰^{こし}をかけるための家具^{かぐ}。㊦椅子。数^{いっきやく}1脚 ②

社会^{しゃかい}や職^{しょく}場^ばでの地位^{ちい}。㊦位置。职位。「社^{しゃ}長^{ちょう}のいすにつく」

い3-65

いすく・める④ 【射すくめる】《他動一》相^{あいて}手をじっと見^みつめて、動^{うご}けな

くさせる。㊦瞪住。(用眼神)震住。「ライオンは、射^いすくめるようにシカ
を見^みつめた」

い3-66

いずみ① 【泉】《名》①地中から自然に湧き出ている水。④泉。泉水。

「泉の水でのどをうるおす// 泉が湧く」②知恵などがたえまなく湧き出るもと。④源泉。泉源。「知識の泉// 話の泉」 類源泉

い-3-

イスラムきょう① 【イスラム教】《名》世界3大宗教の1つ。7世紀のは

じめ、アラビアでマホメットが始めた。唯一絶対の神アラーを信仰し、偶像

を否定する。信者には守るべき規律が多い。コーランを教典とする。マホ

メット教。回教。④伊斯兰教。回教。 関連一.キリスト教.仏教

い3-67

いずれ① I 《代名》不確かなものごとをさすことば。どれ。どちら。④哪

一个。哪一方面。「いずれか1つ選ぶ//いずれ劣らぬ傑作ぞろい」 書 II

《副》①どっちみち。どうせ。④反正。归根到底。「真実は、いずれ明らか

になる」②あまり遠くない将来に。そのうち。④不久。最近。「いずれま

た、お会いしましょう」

い3-68

いずれにしても⑥ 《副》どちらにしても。どっちにしても。いずれにせよ。④**反正**。④**不管怎样**。「日曜日にちようびの予定よていは決めていないが、いずれにしても

がいしゅつ
外出する」

い3-69

いすわ・る③ 【居座る〔居坐る〕】《自動五》（いすわって）おな同じ場所ぼしょや地位ちいなどにずっといる。④**一直坐着**。④**长期坐在某一位置上**。「委員長いんちようのポストにいすわる」

い3-70

いせい④ 【威勢】《名》げんき元気ない生きい生きとしたきりよく気力。④**锐气**。④**劲头儿**。「市場いちばでは、威勢いせいのいい掛かけ声こえのせりつづが続く」類勢いきおい

い3-71

いせい①④ 【異性】《名》だんせい男性からみ見たじよせい女性。女性からみ見ただんせい男性。④**异性**。「異性いせいに興味きょうみを覚おぼえる年としごろ」対同性どうせい

い3-72

いせき④ 【遺跡】《名》かいづか貝塚やこふん古墳、こだいじん古代人の住居じゅうきよあと跡などが残のこっている場所。④**遗迹**。類旧跡きゅうせき・古跡こせき

い3-73

いせき① 【移籍】 《名・自他動～する》^{こせき}戸籍などの籍を他へ移したり、

^{しょぞくだんたい}所属団体を^か変えたりすること。㊦^{せんい}遷移。改換（単位）。^{てんせき}書類転籍

い3-74

いぜん① 【以前】 《名》①^{いま}今よりずっと^{まえ}前の^{とき}時。むかし。㊦以前。从前。

「^{いぜん}以前は^{こゝ}ここから^{ふじさん}富士山が^み見えた」②^{そのとき}その時を入れて、^{そのとき}その時の^{まえ}前。㊦…之
前。…前。「^{きやく}客が、^{じいぜん}10時以前から^ま待っている」^{いご}対以後。以降

い3-75

いぜん② 【依然】 《～（と）副・～たる連体》もとのとおりで、すこしも
^か変わらないようす。㊦依然。依旧。「^{あめ}雨は、^{いぜん}依然として^ふ降り^{つづ}続いている」

い3-76

いそ① 【磯】 《名》^{かいがん}海岸の^{いわ}岩の^{おお}多い^{ばしょ}場所。㊦^{かいがん}海边^{いそ}岩石^た多的^ち地方。「^{いそづ}磯釣
り」

い3-77

いそいそ① 《～（と）副・自動～する》^{きたい}うれしい^{きたい}期待が^{いっぱい}いっぱい、^{からだ}体
の^{うご}動きが^{しぜん}自然に^{はや}速くなるようす。㊦^{きんしん}兴冲冲地。兴高采烈地。「^{むすめ}娘はいそい
そとデートに^で出かけた」

い3-78

いそう① 【移送】《名・他動～する》ある場所から他の場所へ送ること。

①移送。转送。「患者を大学病院へ移送する」 類転送

い3-79

いそがし・い④ 【忙しい】《形》することが多くて、休む時間がない。④

忙。繁忙。「朝から来客が多くて忙しかった」 名忙しさ 対暇 類多忙. 繁

ぼう
忙

い3-80

いそ・ぐ② 【急ぐ】(いそいで) I 《自動五》①早く行き着くように、歩

いたり走ったりする。④急忙。赶。「急いで行く」②気持ちがあせる。④焦

急。「気が急ぐ」 類せく II 《他動五》早く終わらせようとする。④赶紧

(完成)。加快。「借金の返済を急ぐ」 △名急ぎ

【急がば回れ】急いであぶない近道に行くよりは、遠まわりのようでも安全

な道を選ぶほうが結局は早く着くものだ。④欲速則不达。不走一步险。

い3-82

いぞく① 【遺族】 《名》 死しんだ人ひとのあとにのこされた家族かぞくや親族しんぞく。㊥遺族。遺

属。 「遺族補償いぞくほしょう//遺族年金いぞくねんきん」

い3-83

いそし・む③ 【いそしむ〔勤しむ〕】 《自動五》 (いそしんで) 熱心ねっしんに

精せいを出だす。㊥勤奮きんぷん。勤勉きんべん。 「日夜にちや勉学べんがくにいそしむ」 書なま 対おこた 怠はげける。怠おこたる 類はげ 励はげむ

い3-84

いぞん④ 【依存】 《名・自動～する》 ほかの人ひとや物ものに頼たよってやっいていくこ

と。いそん。㊥依し頼きん。依おや靠いぞん。 「資し金きんを親おやに依いぞん存ぞんする//アルいコぞんールしょう依い存ぞん症しょう」

い3-85

いぞん④ 【異存】 《名》 異ことなかんった考かんえ。反はん対たいの意い見けん。㊥异い议ぎ。反はん对たい意い

見けん。 「執しつ行こう部ぶ提てい案あんに異い存ぞんはない」 類い 異ぎ 議ぎ。異い 論ろん ⇒ 比ひ 較かく 欄らん

い3-86

いた① 【板】 《名》 木材もくざいを薄うすく平ひらたく切きったもの。また、その形かたちの石いしや

金きん属ぞくなど。㊥木もく板ばん。板ばん子し。 「湿しつ原げんに板いたを渡わたして木もく道どうをつくる」 数まい 1枚

い3-87

いたい① 【遺体】《名》死んだ人の体。④**遗体**。「災害地で遺体を収容

する」**数**1体**類**なきがら. 死体

比較 いたい したい なきがら
遺体・死体・亡骸

3語とも、人や動物の死んだ体のことだが、死体が虫・鳥・けものなど動物全体についてもいうのに対して、遺体・なきがらは人についていう。また、遺体・なきがらには死者に対する哀悼の気持ちがあり、肉親など個人的な関係のある場合に使う。

- ◆事故死だったので、警察へ遺体の確認に行く/遺体安置所
- ◆カラスの死体が道路に放置されていた/行方不明者の死体
- ◆遺族はなきがらにとりすがって、号泣した/なきがらを棺に納める

い3-88

いた・い② 【痛い】《形》①病気をしたり、けがをしたり、打たれたり

して、がまんできない感じだ。④**痛**。**疼痛**。「転んで頭を打って、痛かつ

た//虫歯が痛い」②精神的につらく、苦しい。④**痛苦**。**难过**。**难受**。「忠

告が耳に痛い//会費2万円は痛い」△**名**痛さ. 痛み

【痛くもかゆくもない】すこしも困らない。平気だ。④**不疼不痒**。**无关痛**

痒。「正しいと信じているから、批判されても痛くもかゆくもない」

【痛くもない腹を探られる】何も悪いことをしていないのに、疑いをかけ

られる。㊥无缘无故受到怀疑。受到莫须有的猜疑。「産業スパイではな

いかと痛くもない腹をさぐられて、困っている」

い3-91

いだい㊦ 【偉大】《形動》価値や能力が特にすぐれていて、立派であるよう

す。㊥伟大。「キング師は偉大な指導者だった//偉大な業績」 名偉大さ

い3-92

いたいけ㊧ 《形動》幼くて、弱々しく、痛々しいようす。㊥可爱。令人

怜爱。「津波で両親を失った幼児のいたいけな姿が、哀れをそそる」 名

いたいけさ 書 類いじらしい

い3-93

いたいたし・い㊨ 【痛痛しい・痛々しい】《形》心が痛くなるほど、か

わいそうな感じだ。㊥令人心痛的。非常可怜。「体中に巻いた包帯が痛々

しい」 名痛々しさ 類痛ましい.いたわしい

比較 痛々しい・痛ましい・いたわしい

3語とも胸が痛むほどかわいそうだという意味。

痛々しいが外見を主にして同情しているのに対して、痛ましい、いたわしいは外見のようすから相手の心情に対しても強く気の毒だと感じている。

- ◆やけどのあとが痛々しい/病後のやせて痛々しい姿
- ◆親子が餓死するという痛ましい事件が起きた
- ◆同級生にいじめられて自殺するとは、いたわしくてならない

い3-94

いたく⑩ 【委託・依託】《名・他動～する》^{しごと と あつか ひと まか}仕事や取り扱いを人に任せてやってもらうこと。Ⓜ**委託**。「^{いたくはんばい}委託販売」^書書^{じゆたく}対受託^類類^{いしよく いにん}委嘱・委任

い3-95

いたく① 《副》^{ひじょう}非常に。たいそう。Ⓜ**非常**。十分。甚。「^{きょしょう しんさく}巨匠の新作にいたく^{かんどう}感動した//いたく^{はんせい}反省する」^書書^{おお}類大いに

い3-96

いだ・く② 【抱く】《他動五》(いだいて)①「^だ抱く」のすこし^{ふる}古い^い言い方。Ⓜ**抱**。搂。「^{こ むね}子を胸にいだく^{ははおや ぞう}母親の像」②^{こころ なか}心の中に^{かんが}考えとして^も持つ。Ⓜ**怀有**。怀抱。「^{いでんしく か}遺伝子組み換えに^{きょうみ}興味をいだく」△書

い3-97

いたけだか⑩③ 【居丈高】《形動》^{つよ おこ}強く怒ったり、いばったりして、^{あいて}相手を

おさえつけようとするようす。㊤盛気凌人。气势汹汹。「居丈高いたけだかにどなりちら

す//居丈高いたけだかな態度」 書 類 高姿勢こうしせい. 高飛車たかびしゃ

い3-98

いたしかた-ない㊦ 【致し方ない】 どうしようもない。しかたがない。㊤

没有办法。不得已。 「台風たいふうによる飛行機ひこうきの欠航けっこうは、いたしかたない」

い3-99

いたし-かゆし㊧ ①・① 【痛しかゆし〔痛し痒いっぼうし〕】 《連語》一方がよけ

れば一方いっぼうが悪わるくなり、それぞれ長所ちようしょ・短所たんしょがあつて、どうしたらよいか困

る。㊤左右为难。进退维谷。 「地下鉄ちかてつの駅えきができて便利べんりになったが、うるさ

くなったのは、痛しかゆした」

い3-100

いた・す㊨ (いたして) I 《自他動五》 「する」の謙讓語けんじょうご・丁寧語ていねいご。㊤

做。干。 「司会しかいは私わたくしがいたします//明日電話みょうにちでんわをいたします」 II 《補動》

(「お〔ご〕～いたす」の形かたちで) 謙遜けんそんした言い方いの「お〔ご〕～する」を

さらに強つよめた言い方い。㊤謙語的进一步表述方法かた。 「館内かんにいをご案内あんないいたします

//よろしくお願ねがいいたします」

い4-1

いたずら④ 【いたずら〔悪戯〕】《名・形動・自動～する》①おもしろが

って人の迷惑ひと めいわくになるようなことをすること。また、そのようす。④淘气。搗

乱。「子どものライターのいたずらが火事かじの原因げんいんだ」 類わる悪さ. 悪わるふざけ ②

運命うんめいや自然しぜんがもたらす思いがけない結果けっか。④捉弄。恶作剧。「運命うんめいのいたず

らに翻弄ほんろうされる」

【いたずら半分はんぶん】まじめに考かんがえないでするようす。④弄着玩儿。随便摆

弄。「いたずら半分はんぶんでつくった料理りょうりだが、意外いがいとおいしかった」

い4-3

いたずらざかり⑤ 【いたずら盛り〔悪戯盛り〕】《名》人の困ひと こまるようなこ

とを、おもしろがってする小学生しょうがくせいぐらいの時期じき。④正淘气的年龄。「いた

ずら盛りざかの子こどもたちが、カキきの木のぼに登あそって遊あそんでいる」

い4-4

いただき④ 【頂】《名》山やまなどのいちばん高たかい所ところ。④山顶。顶部。「5

時間じかん登のぼって、やっとなど頂いただきにたどりついた//塔とうの頂いただき」 对ふもと麓 类ちようじょう頂上. てっ

ぺん. 絶頂ぜつちよう

比較 ^{いただき}頂・^{ぜっちょう}絶頂・^{ちょうじょう}頂上・てっぺん

4語とも山のいちばん高い所だが、頂上が一般的。

絶頂・いただきはやや文学的表現。てっぺんはくだけた言い方。

- ◆山のいただきに朝日がのぼった/富士山のいただきの雪
- ◆けわしい山の絶頂をめざす/岩場をこえると絶頂だ
- ◆ついに頂上に立つことができた/頂上で記念写真を撮る
- ◆山のとっぺんで弁当を食べた/てっぺんから下を見下ろす

い4-5

いただきます 《挨拶語》 ^{しょくじ}食事の^{まえ}前などに言うことば。㊥我要吃了。「家

^{ぞく}族そろって、『いただきます』と言って、^た食べはじめる」

い4-6

いただ・く ㊦ I 【頂く〔^戴く〕】 《他動五》 (いただいて) ㊦ ^{あたま}頭 ^{うえ}の上に

^の載せる。㊥ ^戴。 ^{かぶ}蓋。「頂上^{ちょうじょう}に^{ゆき}雪をいただく// ^{かんむり}冠をいただく」㊦ 「もら

う」の謙讓語。㊥ ^{けんじょうご}拜領。 ^{まへ}蒙賜。「先生^{せんせい}から^{ねんがじょう}年賀状をいただいた」 ^さ対差し

^あ上げる ㊦ ^た「食べる」「^の飲む」の謙讓語。㊥ ^く吃。 ^{のむ}喝。「十分^{じゅうぶん}、いただきます

した」II 【いただく】 《補動》 (～ていただく) の形^{かたち}で「～てもらう」

の謙遜^{けんそん}した言い方。㊥ ^い請…。「部長^{ぶちょう}に書類^{しょるい}の書き方^かを^{かた}教えていただく」

い4-7

いたたまれな・い⑤ 《形》とてもそこにいることができない。いたたまらない。㊥呆不下去。无地自容。「遺族がなげき悲しむ場にいたたまれなくて、部屋を出た」

い4-8

いたちごっこ④ 《名》両方が同じことを繰り返すばかりで、きりがなこと。㊥打圈子。没完没了。「土地の値段が上がると物価が上がり、物価が上がるとまた地価が上がるという、いたちごっこが続いている」

い4-9

いたって②② 【いたって・至って】《副》このうえもなく。きわめて。㊥甚。极。「内容は高度だが、文章はいたって平易だ」書 類 たいそう. すこぶる

い4-10

いたで① 【痛手】《名》① 体や心に受けたひどい傷。㊥重伤。「親友の突然の死で、心に痛手を負った」類 深手 ② ひどい損害。㊥重创。巨大損失。沉重打击。「台風で、農作物が大きな痛手を受けた」類 被害. ダメージ

い4-11

いたばさみ③ 【板挟み】 《名》 ^{たいりつ}対立するどちらの^{たち ば}立場にも^た立てなくて^{こま}困ること。㊥^{はは つま}夹在^{いたばさ}中间左右为难。受^{こま}夹板气。「母と妻との板挟みになって困っている」 類ジレンマ

い4-12

いたまえ① 【板前】 《名》 ^{にほんりょうりせんもん}日本料理専門の^{りょうりにん}料理人。㊥^{にほん}日本菜^{しゆし}厨师。 類
ちょうりし
調理師

い4-13

いたまし・い④ 【痛ましい】 《形》 ^{こころ}心が^{いた}痛むほど^{かわい}かわいそうだ。㊥^{あは}可
^{ききん}怜。令^{ほそ}人心^こ酸^{すがた}的。「飢^{いた}饑^{いた}でやせ^{いた}細^{いた}った^{いた}子^{いた}ども^{いた}た^{いた}ち^{いた}の^{いた}姿^{いた}が^{いた}痛^{いた}ま^{いた}しい」 名痛ま
しさ 類^{いたいた}痛々しい。いたわしい⇒^ひ比較^{かくらん}欄

い4-14

いた・む② 【痛む】 《自動五》 (いたんで) ①^{いた}痛くなる。㊥^{いた}疼痛。疼。
^{しゆじゆつ}「手術のあとが^{いた}痛^むむ//^{むしば}虫^{いた}歯^{いた}が^{いた}痛^むむ」 ②^{こころ}心に^{つよ}強い^{かな}悲^{かん}しみを^{かん}感じる。㊥^{いた}痛苦。

^{こころ}伤心。「心^{いた}が^{いた}痛^むむ」 △^{いた}名^{いた}痛^{いた}み. 痛^{いた}さ 他^{いた}動^{いた}痛^{いた}める

い4-15

いた・む② 【傷む】《自動五》（いたんで）物に傷がつく。また、物がくさる。㊦**损坏。腐烂。**「台風で野菜や果物が傷んだ」名傷み他動傷める

い4-16

いた・む② 【悼む】《他動五》（いたんで）人の死などを嘆き悲しむ。㊦**哀悼。悼念。**「恩師の逝去をいたむ」名悼み類哀悼する

い4-17

いためつ・ける⑤ 【痛めつける・痛め付ける】《他動一》^{きび}厳しく^せ責める。

いため 痛い目にあわせる。㊦**给以沉重打击。使…遭遇痛苦之事。**「医療費の増額は、弱者を痛めつける」

い4-18

いた・める③ 【痛める】《他動一》①^{いた}痛くする。㊦**使…疼痛。损伤。**「腰を痛める」②^{こころ}心を^{くる}苦しめる。㊦**使（精神、心灵）痛苦。**「家計のやりくりにあたまを痛める」△自動痛む

い4-19

いた・める③ 【いためる〔炒める〕】《他動一》鍋に油をひいて、野菜・肉などを入れ、強火でかきまぜながら調理する。㊦炒。爆。煎。

「豚肉と白菜をいためる」

い4-20

イタリック③ 《名》(italic) 欧米の文字の書体の1つ。すこし右に斜めに書く。㊦欧文斜体字。

い4-21

いた・る② 【至る〔到る〕】《自動五》(いたって) ①目的地に行きつく。㊦至。到。「この道は、若草山をへて東大寺に至る」 ㊦到達する。到達する ②その時間・段階・状態になる。㊦达到。来临。「大事に至らないうちに、火を消しとめた」 ③極端な例であることを示す。(1) (「～から～に至るまで」の形で) 両端のものを例にして、全体を表す。㊦(从…) 到…。「学費から生活費に至るまで、会社が面倒を見る」(2) (「～に至っては」の形で) 極端な例を表す。㊦至于…。「学生の論文にいたっては稚拙すぎて、話にならない」 △名至り 書

い 4-22

いたるところ②⑥ 【至るところ・至る所〔到る所〕】《名・副》行く所

どこでも。どんな所でも。㊥所到之处。到处。「新首相は、至るところで
歓迎された」

い 4-23

いたれ-り-つくせ-り③・③ 【至れり尽くせり】《連語》心配りが、十分

にゆきとどいていること。㊥无微不至。尽善尽美。「至れりつくせりのサー
ビスに満足した」

い 4-24

いたわし・い④ 【いたわしい〔劳しい〕】《形》気の毒で、なぐさめたい気

もちだ。㊥可憐。悲惨。「両親が交通事故死して、残された子どもたちがいた
わしい」 名いたわしさ 類^{いたいた}痛々しい。痛ましい⇒^{ひかくらん}比較欄

い 4-25

いたわ・る③ 【いたわる〔劳る〕】《他動五》(いたわって) ①困って

いる人や病人などにやさしく接する。㊥怜恤。照顾。「老人をいたわっ
て、横断歩道を渡る」 ②相手の苦劳に対して、ことばをかけてなぐさめる。

㊦慰勞。安慰。^{どしゃ}「土砂くずれから^{きゅうじょ}救助された人^{ひと}を、みんなは^{くちぐち}口々にいたわった」△名いたわり 類ねぎらう

い 4-26

いち② I 【一・1】《名》①^{かず}数の^{さいしょ}最初。1つ。㊦一。一个。②^{じゅんばん}順番の^{さい}最初。1番目。第1。㊦一。第一。「一から^{はじめ}始める//日本一^{ながい}長い川」II 【一 - ・

1 -】《接頭》^{なか}その中の1つ。その中の1人。㊦一…。…之一。「一^し市民とし
て^{ぎむ}義務を^は果たす」注^{じゅうよう}重要な^{すうち}数値を^{あらわ}表す場合は、^{ぼあい}まちがいを^{ふせ}防ぐために
「^{いち}壹」とも^か書く。

【一から^{じゅう}十まで】^{はじめ}始めから^お終わりまで^{ぜんぶ}全部。㊦^{しん}从头到尾。从头到脚。「昔^{むかし}
^{ふう}風の^{そふ}祖父には、^{わかもの}若者の^{いち}することが一から^{じゅう}十まで^{きい}気に入らない」

【一も二もなく】あれこれ^{まよ}迷わず^{すぐ}すぐに。㊦^に二话没说。干脆利索。「アニメ
^みを見ようと^い言うと、^{おとうと}弟は一も二もなく^{さんせい}賛成した」

い 4-29

いち② 【壹】《名》「一」の代わりに使う字。^{きんがく}金額の^{すうじ}数字を^か書くときに使
う。㊦^{いちまんえん}壹。「壹万円」参^{しょうばい}商売・^{けいやく}契約の^{ぶんしょ}文書で、^{こんどう}混同や^か書き^か換えを^{ふせ}防ぐた
めに^{つか}使う。

い4-30

いち① 【市】《名》^き決まった日^ひに人^{ひと}が集^{あつ}まって、物^{もの}の売^うり買^かいをするこ
と。また、その場所^{ばしょ}。㊥**集市**。「5日^{いつか}に市^{いち}が立^たったので、五日市^{いつかいち}と呼ばれる
//朝市^{あさいち}」

い4-31

いち① 【位置】《名・自動～する》物^{もの}や人^{ひと}が、ある場所^{ばしょ}や地位^{ちい}を占^しめるこ
と。また、その場所^{ばしょ}・地位^{ちい}。㊥**位置**。**地位**。「校^{こう}長^{ちょう}という重^{じゅう}要^{よう}な位置^{いち}につ
く」

い4-32

いちいたいすい②・① 【一衣帯水】《名》^{おび}帯^{せま}のよう^{かわ}に狭^{うみ}い川^{うみ}や海^{うみ}。また、
それを間^{あいだ}にして隣^{となり}同^{どう}士^しであること。㊥**一衣帯水**。「日^に本^{ほん}と中^{ちゅう}国^{ごく}は、海^{うみ}を
はさんで一衣帯水^{いちいたいすい}の国^{くに}同^{どう}士^しだ」

い4-33

いちいち② 【いちいち [一一]】《副》も^のら^こしたり残^{ぜん}したりせ^ぶず全^{ひと}部^ぶ、1
つ1つ^{ひと}について。㊥**一个一个**。**逐个**。「わ^じか^しら^よないこ^ちと^くば^いを、いちいち辞^じ書^{しょ}
で調^{しら}べて原^{げん}書^{しょ}を^よ読^よむ」**類**逐一^{ちくいち}

い4-34

いちいん① 【一因】《名》いくつかある原因げんいんの1つ。㊦原因之一。しつぱい「失敗

のいちいん一因は、じゅんび ぶそく準備不足にある」 書

い4-35

いちいん①② 【一員】《名》ある団体だんたいや組織そしきをつくっているひとり。㊦一

員。成員之一。「とざんたい いちいん かぞく いちいん登山隊の一員//家族の一員」 書 類メンバー

比較 いちいん一員・メンバー

2語ともある集団を構成する人だが、一員は組織に属し、仕事や役割をもった人のこと。メンバーは日常の話しことば。

特にスポーツのチームに属している人の意味で多く使われる。

◆調査団の一員として調査に参加する/NPO 法人の一員

◆チームのメンバーがそろって練習した/ベストメンバー

い4-36

いちおう① 【一応〔一往〕】《副》①完全かんぜんではないが、ある程度ていど まんぞく満足でき

るようす。㊦虽不彻底くすり做了大致。姑且。ねつ「薬で、いちおう熱は下がった」

類ひとまず. とりあえず ②まちがいはないおもと思うが、念ねんのため。㊦还是。

为了万一。「ふ降らないおもと思うが、いちおう傘かさを持っていく」

い4-37

いちがい^{②①} 【一概に】 《副》 全部^{ぜんぶ}まとめて。また、一般的^{いっぱんてき}に言^いって。

①一概。笼统^{しょうじか}地。一般^{いちがい}说来。 「少子化^{しょうしか}が一概^{いちがい}に悪^{わる}いとは言^いえない」 類^{ひとくち}一口

に
参^{あと}後^{ひてい}に否定^ごの語^くが来^{おお}ることが多^{おほ}い。

い4-38

いちがつ^④ 【一月・1月】 《名》 1年^{ねん}の最^{さい}初^{しよ}の月^{つき}。正^{しょう}月^{がつ}。①一月。正^{しょう}月。

い4-39

いちがんと-なる 【一丸^{おお}となる】 多^{おほ}くの人^{ひと}が、ある目^{もく}的^{てき}のため^{ため}に、ま^まとま

る。①团^{ちやう}结^{みん}一^{いち}致^{がん}。团^さ结^{やま}在^{まも}一起。 「町^{ちやう}民^{みん}が一^{いち}丸^{がん}とな^なって里^{さと}山^{やま}を^{まも}守^{まも}った」 似^にた

表^{いっ}現^{たい}一^{いっ}体^{たい}とな^なる

い4-40

いちげんか^① 【一元^{おお}化】 《名・他動~する》 多^{おほ}く^{もんだい}の問^き題^{こう}や機^そ構^{しき}・組^そ織^{しき}など

を1^{ひと}つにま^まとめ^めること。①一^{おお}元^{もと}化^か。 「医^い療^{りやう}と介^{かい}護^ごを一^{いち}元^{げん}化^かす」 類^{いっ}一^{ぱん}本^か化^か

い4-41

いちごいちえ^{②・②} 【一期^{いっしやう}一^{いち}会^ど】 《名》 一^き生^{かい}に一^{いち}度^どだ^だけ^けの機^き会^{かい}。①一^{いっ}期^{ぱん}一^か

会^{かい}。一^{いち}生^{せい}只^{ただ}遇^ぐ一^{いち}次^じ。 「当^{とう}ホ^ほテ^てルで^では、一^{いち}期^ご一^{いち}会^えの気^き持^もちで客^{きやく}を^{むか}迎^{むか}えてい
る」

い4-42

いちごんも-ない 【一言もない】 弁解^{べんかい}できない。㊥无话可说。无可分辩。

「責^せめられても一言^{いちごん}もない」

い4-43

いちじ② 【一次・1次】 《名》 ①1回目。1番目。㊥第一次。初次。「1次^じの

筆記試験^{ひっきしけん}は通^{とお}ったが、2次^じの面接^{めんせつ}で落^おちた」 ②代数式^{だいすうしき}で2乗^{じょう}以上^{いじょう}の項^{こう}を含ま

ないもの。㊥一次。线性。「一次方程式^{いちじほうていしき}」

い4-44

いちじ② 【一時】 《名》 ①過ぎ去^すったある時^{とき}。㊥（过去）一段时间。某

时。「わが家^やは一時^{いちじ}、横^{よこ}浜^{はま}に住^すんでいた」 ②しばらくの間^{あいだ}。㊥片刻。短

间。「くもり一時^{いちじあめ}雨」 ③その時^{とき}だけ。㊥一时。当时。「一時^{いちじ}の気^きの迷^{まよ}い」

い4-45

いちじが-ばんじ 【一事が万事】 一つ^{ひと}のこ^みとを見^たれば、他^たのこ^たともだいた

い同^{おな}じよう^いだと言^いえる。㊥由^ゆ一^い件事^じ便^{べん}可^か以^い推^{すい}測^{そく}一^い切^{けつ}。以^い一^い推^{すい}十^{じゅう}。「儉^{けん}約^{やく}家^か

は、1枚^{まい}のチ^ちラシ^{らし}も無^む駄^だにしない。一^{いち}事^じが万^{ばん}事^じこ^ちんな調^{ちょう}子^しだ」

い4-46

いちじき③ 【一時期】《名》しばらく続くある期間。㊦一个时期。一段時間。

い4-47

いちじきん① 【一時金】《名》1回だけまとめて支給されるお金。㊦一次性支付的钱。「退職の一時金を受け取った」

い4-48

いちじしのぎ④ 【一時しのぎ〔一時凌ぎ〕】《名》その場だけ、なんとか切り抜けること。㊦暂时应付。姑且对付。「失業中はアルバイトで一時しのぎをした」 類一時のがれ

い4-49

いちじてき① 【一時的】《形動》しばらくの間だけ、また、その時だけであるようす。㊦一时的。暂时的。「改築する間、一時的にマンションを借りる」 対恒常的

い4-50

いちじに② 【一時に】《副》同時に起こるようす。いちどきに。㊦同时。一下子。「大雨で、いちじに堤防が決壊した」 類一度に、いっぺんに

い4-51

いちじのがれ④ 【一時逃れ】《名》その場^ばだけうまくごまかして責任^{せきにん}や

困難^{こんなん}をのがれること。㊦**搪塞**一時。敷衍^{だいいん}一時。「大臣^{だいじん}は、前向^{まえむ}きに善処^{ぜんしょ}す

る、と一時^{いちじ}のがれの答弁^{とうべん}をした」**類**一時^{いちじ}しのぎ

い4-52

いちじるし・い⑤ 【著しい】《形》特にめだって、はっきりしているよう

す。㊦**显著的**。明显的。「技術^{ぎじゆつ}が著^{いちじる}しく進歩^{しんぽ}した//著^{いちじる}しい変化^{へんか}」**名**

著^{いちじる}しさ **類**顕著^{けんちよ}

い4-53

いちず② 【いちず〔一途〕】《名・形動》そのことだけを思^{おも}ったり信^{しん}じ

たりすること。また、そのようす。㊦**专心**。一心一意。「いちずに信^{しん}じる」

類ひたすら。ひたむき

い4-54

いちだい② 【一代】《名》①人^{ひと}が生まれてから死^しぬまで。一生^{いっしょう}。㊦**一**

生。一辈子。「祖母^{そぼ}の波乱^{はらん}に富^とんだ一代^{いちだい}を聞^きき書^がきする」②国王^{こくおう}・君主^{くんしゆ}・

家元^{いえもと}や一家^{いっか}の主人^{しゆじん}などがその地位^{ちい}にいる期間^{きかん}。㊦**一个朝代**。一代。「一代^{いちだい}で

ざい 財をなした」③その時代、また、その時代で随一。㊦一个时代。一代。

いちだい めいよこづな
「一代の名横綱」

い4-55

いちだい 【一大-】《接頭》ひと おお 1つの大きな。㊦一大。いちだいはっけん いち
「一大発見//一

だいけっしん
大決心」

い4-56

いちだいいじ③ 【一大事】《名》その人にとって じゅうだい じけん 重大な事件。㊦一件大

事。「パスポートをなくしたのは、いちだいいじ だいじけん
類大事件

い4

いちだんかつようどうし⑨ 【一段活用動詞】どうし めいしょう ひと にほん
動詞の名称の1つ。日本

ごぶんぼう かみいちだんかつよう しもいちだんかつよう どうし にほんごきょういく
語文法の上一段活用・下一段活用の動詞のことを日本語教育でいうとき、

つか めいしょう ひと
使う名称の1つ。㊦一段活用動詞。「『見る』『述べる』などは一段動詞

だ」 →付録「活用することば」

い4-57

いちだんと① 【一段と】《副》以前^{いぜん}や他^たのものに比^{くら}べて、違^{ちが}いがはっきり

わかるぐら^{ていど}いに程度^{すす}が進むようす。㊥**更加。越发。**「一段^{いちだん}と寒^{さむ}くなった」

類^{るい}いっそう. さらに

い4

いちだんどうし⑤ 【一段動詞】⇒一段活用動詞 「『起^おきる』『寝^ねる』な

どは一段動詞^{いちだんどうし}だ」

い4-58

いちだんらく③ 【一段落】《名・自動～する》ものごとの途^と中^{ちゆう}で区切^{くぎ}り

がつくこと。また、その1^{ひと}つの区切^{くぎ}り。㊥**一个段落。**「論^{ろんぶん}文^{ぶん}を提^{てい}出^{しゅつ}して

一段落^{いちだんらく}した」

い4-59

いちづ・ける④ 【位置づける・位置付ける】《他動一》全^{ぜん}体^{たい}の中^{なか}や、他^たと

の関^{かん}係^{けい}で、ものごとが占^しめるのにふさわしい位^い置^ちを定^{さだ}める。㊥**给予适当的评**

价。赋予适当的位置。「アヘン^{せんそう}戦^{せん}争^{そう}を、中^{ちゆう}国^{ごく}近^{きん}代^{だい}史^しの中^{なか}に位^い置^ちづける」 名

位^い置^ちづけ

い4-60

いちど③ 【一度】 I 《名》回数^{かिसう}が1回^{かい}であること。㊥一次。一回。一遍。

「北京^{ペキン}には、一度^{いちど}行ったことがある」 II 《副》仮^{かり}にそういうことが起こった
ら。いったん。㊥一旦。既然^{いちどじこ}。「一度^{いちど}事故^{じこ}が起きたら、収^{しゅう}拾^{しゅう}がつかなくな
る」 類^{るい}ひとたび

い4-61

いちどう③② 【一同】 《名》同^{おな}じ場所^{ばしよ}や立場^{たちば}にいる人^{ひと}みんな。㊥全体。大
家^{おうち}。「家族^{かぞくいちどう}一同^{いっどう}、元^{げん}氣^きに暮^くらしています//社員^{しゃいんいちどう}一同^{いっどう}」 類^{るい}ぜんいん 全員

い4-62

いちどう③③ 【一堂】 《名》同^{おな}じ1つ^{ひと}の建物^{たてももの}、同^{おな}じ1つ^{ひと}の部屋^{へや}。㊥一堂。
一^{いっ}處^{ちよ}。「社員^{しゃいん}が一堂^{いちどう}に集^{あつ}まって、社^{しゃ}長^{ちやう}と話^{はな}し合^あった」

【一堂^{いちどう}に会^{かい}する】 多^{おほ}くの人^{ひと}が1つ^{ひと}の建物^{たてももの}に集^{あつ}まる。㊥匯聚一堂^{どうそうせい}。「同窓生^{どうそうせい}が

一堂^{いちどう}に会^{かい}して、母^ぼ校^{こう}の創^{そう}立^{りつ}100周^{しゅう}年^{ねん}を祝^{いわ}った」 書

い4-64

いちどきに③ 【いちどきに・一時に】 《副》同^{おな}じとき^おに起^おこるようす。

一^{いっ}緒^{しょ}に。㊥一起^{いっしよ}。一^{いっ}齊^{しよ}。一^{いっ}下^げ子^し。「雪^{ゆき}がとけると、いちどきに花^{はな}が咲^さきだ

す」 類^{るい}いっしよ 一^{いっ}拳^{けん}に。いっせいに。一^{いち}度^どに。いっぺんに

い4-65

いちどく① 【一読】《名・他動～する》ざっとひととおりに読むこと。㊦念

一遍。通読一遍。「一読の価値がある」 類通読

い4-66

いちどに③ 【一度に】《副》いろいろなことが集中して起こるようす。

同時に。㊦同時。一起。一下子。「注文が一度に殺到して、忙しい」 類

いっぺんに。一挙に。いちどきに

い4-67

いちなん-さつ-て-また-いちなん 【一難去ってまた一難】《連語》災難が

つぎつぎと起こること。㊦一波未平一波又起。「水害から復旧したと思っ

たら、一難去ってまた一難、今度は大地震におそわれた」

い4-68

いちにち④ 【一日・1日】《名》①午前0時から午後12時までの24時間。

また、ある時刻から数えて24時間。㊦一天。一昼夜。「1日、寝ずに働い

た」 類一昼夜 ②朝から晩まで。㊦从早到晚一天。一整天。「1日働きづ

めだった」**類**終日 ③（職業や地位などを表すことばの前について）

その日だけの。㊥一天的。仅一日。「一日消防署長」

【一日千秋の思い】待ち遠しくて、1日が千年にも感じられること。一日千

秋の思い。㊥一日如千秋。度日如年。「親は子の帰国を一日千秋の思い
で待っている」

い4-70

いちにん**㊦** 【一任】《名・他動～する》仕事や後のことなどを、すっかり

任せること。㊥完全委托。「議決は議長に一任する」**類**委任

い4-71

いちにんしょう**㊧** 【一人称】《名》話し手や書き手が自分をさす呼び方。

「私」「ぼく」など。第一人称。㊥自称。第一人称。**関連**一. 二人称。

さんにんしょう
三人称

い4-72

いちにんまえ**㊨** 《名》①【一人前・1人前】ふつうの大人1人が1回に食

べる量。㊥一份儿。「すしを1人前注文する」**類**ひとりぶん ②【一人

前】能力や技能が十分で、1人でやっていけること。また、その人。㊥**够**

格（的人）。能胜任（的人）。「やっと一人前いちにんまえの大工だいくになった」 △**類**ひとりまえ

い4-73

いちねん**②** 【一念】《名》^{ひと}1つのことを、^{ふか}深く^{おも}思いこむこと。また、その^{きもち}気持ち。Ⓜ**一念**。一心。「選手せんしゅになりたい一念いちねんで練習れんしゅうに励む」 **類**一心いっしん

い4-74

いちねんほつき**⑤** 【一念発起】《名・自動～する》①急きゅうに何かをしようなにと決心けっしんして始めること。Ⓜ**决心完成某事**。「一念発起いちねんほつきして、書しょを習ならい始めた」②仏教ぶつぎょうで、仏ほとけの教えおしの道みちに入るはいこと。Ⓜ**皈依佛门**。「一念発起いちねんほつきして仏門ぶつもんに入った」

い4-75

いちば**①** 【市場】《名》①毎日まいにち、また、決きまった日ひに、卸売おろしうりと小売こうりの業者ぎやうしゃがあつまって、物ものを売うり買かいする所ところ。Ⓜ**集市**。市场。**類**市いち ②食料品りやうひんや日用品にちようひんを売うる店みせが1か所いっしょにあつまっていて、一般いっばんの客きゃくに売うる所ところ。Ⓜ**市场**。「市場いちばへ、夕食用ゆうしょくようの食料しょくざいを買いかいに行いく」 **類**マーケット

い4-76

いちはやく③ 【いち早く〔逸早く〕】《副》だれよりも先に、早く行動するようす。㊥最早。最先。「救助隊は、いちはやく被災地に駆けつけた」㊦真っ先に。すばやく

い4-77

いちばん I ② 《名》①【一番・一番】順番が最初であること。㊥第一。最初。「全校マラソン大会で、一番になる」②【一番】相撲・将棋・碁などの1回の対戦。㊥一盘。一局。一場。「結びの一番」II ③【いちばん】《副詞》それより上のもがないようす。㊥最。「李明のギョーザがいちばんうまい」

い4-78

いちばんのり③ 【一番乗り】《名・自動～する》だれよりも先に、その場所に行くこと。㊥最先到（的人）。「会場に一番乗りする」

い4-79

いちぶ② 《名》①【一分・一分】(1)全体の10分の1。㊥十分之一。一成。「桜はまだ一分咲きだ」(2)1割の10分の1。1%。㊥百分之一。「利

率を1分引き上げる」②【一分】^{ぜんたい なか}全体の中のきわめてわずかな部分。㊤^{ぶぶん}丝

毫。一点儿。「一分のすきもない構え」^{いちぶ かま}

い4-80

いちぶ㊤ 《名》①【一部】^{ぜんたい なか}全体の中のある部分。㊤^{ぶぶん}一部分。「計画を一部^{けいかく いちぶ}

手直しする」^{てなお}対^{ぜんぶ}全部 類^{いちぶぶん}一部分 ②【一部・一部】(1)本・印刷物などのひと^{ほん いんさつぶつ}

まとまり。また、1冊。㊤^{さつ}一部。一冊。一本。「駅で新聞を1部買う」(2)^{えき しんぶん ぶ か}

書物・芝居などの始めの1つ。㊤^{しよもつ しばい}第一部(幕)。第一卷。「1部と2部の間^{はじ ひと}

に10分休憩がある」^{ぶんきゆうけい}

比較 ^{いちぶ いちぶぶん}一部・一部分

2語とも全体をいくつかに分けた1つであるが、一部が全体の中のある部分というだけで、その大きさは問題にしていないのに対して、一部分はそれが少ない部分であることを意味する。

- ◆クラスの一部の生徒が騒いでいる/火事で建物の一部が燃えた
- ◆申込用紙の一部を切り取る/犯行の一部を認めた

い4-81

いちぶしじゅう㊤ 【一部始終】《名》^{はじ お}始めから終わりまでの全部。㊤^{ぜんぶ}从始

至終。从头到尾。「夫の発病から死までの一部始終を話す」^{おっと はつびょう し}類^{いちぶ しじゅう はな}顛末。子細^{てんまつ しさい}

い4-82

いちぶぶん③ 【一部分】《名》^{かず りょう}数や^{ぜんたい なか}量などの、全体の中のすこしの部

^{ぶん}分。㊦一部分。「^{えいご かいわ}英語の^{いちぶぶん}会話は、^{ききと}一部分しか聞き取れない」対^{ぜんぶ だいぶぶん}全部. 大部分

類^{いちぶ}一部⇒^{ひかくらん}比較欄

い4-83

いちべつ① 【一瞥[?]】《名・他動～する》^みちらりと^み見ること。㊦一瞥。看

^{しよるい}一眼。「^{いちべつ}書類を一瞥して^{いん お}印を押す」書類^{いっけん}一見. ^めひと目

い4-84

いちぼう① 【一望】《名・他動～する》^{けしき いちど ぜんぶ みわた}景色を一度に全部見渡すこと。㊦

^{てんぼうだい}一望。「^{みなと}展望台からは^{いちぼう}港が一望のもとに^{み お}見下ろせる」書

い4-85

いちまい② 《名》①【一枚・一枚】(1)^{かみ いた}紙や^{ひら}板など、^{もの たんすう}平たい物の単数。㊦

^{まい}一枚。^{まい}一页。^た一张。「^{はがきを 1まい}はがきを一枚ください」(2)^{た ひとくかく}田の1区画。㊦一块(田

^{まい た}地)。「^{まい た}一枚の田を^たたがやす」②【一枚】^{ちゆうしん}中心ではないが、^{なに やくわり}何かの役割をす

^{ひと ひとり}る人の1人。㊦^{じっこう いいん}一分子。^{いちまいくわ}一个角色。「^{じっこう いいん}実行委員に一枚^{いちまいくわ}加わる」③【一枚】^{のう}能

^{りよく}力などの^{ていど}程度。㊦^{えんぎりよく}表示演技。^{いちまいうわて}演艺的水平。「^{えんぎりよく}演技力が一枚^{いちまいうわて}上手だ」

【一枚かむ】ある計画などに加わり、なんらかの役割を果たす。㊥**主动承担**

一个角色。「銀行買収に一枚かんでいる」

い4-87

いちまつ㊦ 【一抹】《名》すこしのこと。ほんのわずかな分量。㊥**一**

丝。一缕。「一抹のさびしさを感じる//一抹の不安」 ㊦絵筆で、一筆さつ

となすったほどのわずかな分量をいう。不安、悲しみなど暗い気持ちに使うことが多い。

い4-88

いちみやく-あいつうじる 【一脉相通じる】考え方・性格などが、どこか

共通している。㊥**一脉相通。**「人生観において、一脉相通じるものがある」

い4-89

いちめい㊦ 【一命】《名》1つの命。生命。㊥**一条命。**「すばやい処置

で、一命を取りとめた」

い4-90

いちめん①② 【一面】《名》①ものごとの1つの面。㊦一面。另一面。

「社長には、作家としての一面もある」 ㊦類半面 ②あたり全体。㊦一片。

全体。「大火災で、町は一面火の海になった」 ③新聞の第1ページ。㊦头

版。第一版。「一面に大女優の死が載っている」

い4-91

いちめんしき③ 【一面識】《名》1度だけ会って、顔ぐらいは知っている

という程度の間柄。㊦一面之交。见过一面。「一面識もない人」

い4-92

いちめんてき① 【一面的】《形動》考え方や見方が狭く、ひとつの面だ

けにかたよっているようす。㊦片面的。「一面的な見方」 ㊦対多面的

い4-93

いちもく①② 【一目】《名・（他動～する）》①ちょっと見ること。㊦一

看。看一眼。「一目瞭然」 ㊦類一見。一瞥 ②碁盤の1つの目。また、碁盤

の目に置く1つの石。㊦一个子儿。「長考の後の一目が、勝敗を決した」

【一目（を）置く】相手を自分よりすぐれた者として敬意を払う。㊦自认比

对方逊一筹。「姉には、人生の先輩として一目置いている」

い4-95

いちもくさんに③ 【一目散に】《副》まわりのことを気にしないで、一

生懸命走ったり逃げたりするようす。㊥一溜烟儿地。飞快地。「山でクマ

を見かけて、一目散に逃げた」 類一散に

い4-96

いちもくりょうぜん②② 【一目瞭然】《形動》一目見ただけで、はっきり

わかるようす。㊥一目了然。「生徒の心が荒れているのは一目瞭然だ」

い4-97

いちもん②② 【一門】《名》①同じ血のつながりのある人たち。一族。㊥

一門。一族。一家。「この神社は平家一門をまつている」②学問・武道・

芸能などで、同じ先生に教えを受けた仲間。㊥门生。同门之徒。「一門から

多彩な人材が輩出した」 類同門

い 4-98

いちもんいっとう ㊶㊷ 【一問一答】《名・自動～する》^{ひと} 1つの^{しつもん}質問^{たい}に対して、^{ひと} 1つの^{こた}答え^くを^{かえ}すること。また、それを繰り返すこと。㊶一問一答。

い 4-99

いちやく ㊶㊷ 【一躍】《副》^{きゅう}急に^{ちい}地位^{たか}が高くなったり、^な名^しが知られるようになったりするようす。㊶一躍。「^{むめい}無名^{しんじん}の新人^{だいかつやく}が大活躍^{いちやくゆうめい}をして、一躍有名になった」^{いっそくと}類一足飛びに、^{いっきよ}一挙に

い 4-100

いちやづけ ㊶ 【一夜漬け】《名・他動～する》^{ひとばん}①一晩だけつけた^{つけもの}漬物。㊶一夜腌好的咸菜。「^{いちやづ}キュウリの一夜漬け」^{あさづ}類浅漬け ^{ひとばん}②一晩だけで仕上げ^{しごと}た仕事^{べんきょう}や勉強。㊶^{いちやづ}临阵磨枪。匆匆忙忙^{しけん}学到的^{のぞ}。「一夜漬けで試験に臨む」

い 5-1

いちゃもん ㊶ 《名》「^い言い^{がかり}」の^いくだけた^{かた}言い方。㊶找碴儿。「^{みず}水^がはねたと、いちゃもんをつけてきた」^俗

い 5-2

いちゅう ㊦㊧ 【意中】《名》^{こころ なか}心の中。また、^{こころ なか おも}心の中で思っていること。

㊦意中。心中（的人或事）。「^{いちゅう ひと}意中の人に^{おく}メールを送る」 書 類 ^{きょうちゅう}胸中

い5-3

いちよう ㊦ 【一様】《形動》どれも^{おな}同じであるようす。㊦一样。同样。

「^{ひと い かた いちよう}人の生き方は一様ではない//^{いちよう}一様にうなずく」 対 ^{たよう}多様 類 ^{どうよう}同様

い5-4

いちよう ㊦ 【胃腸】《名》^{い ちょう た}胃と腸。^{しょうか えいよう きゅうしゅう}食べたものを消化し、栄養を吸収

する器官。㊦^{いちょう じょうぶ}腸胃。「^た胃腸が丈夫で、なんでも^{いちょうやく}食べられる//胃腸薬」

い5-5

いちよくを-になう 【一翼を担う】^{おお しごと いちぶ ひ う}大きな仕事などの一部を引き受ける。

㊦^{かいしゃ せいぞうぶもん いちよく}承担一部分任务。「^{かいしゃ せいぞうぶもん いちよく}会社の製造部門の一翼をになう」

い5-6

いちらん ㊦ 【一覧】《名》ひと目で^{め ないよう}内容がわかるように^{ひょう}まとめた表や

^{ほん いちらんひょう}本。一覧表。㊦^{さんこうぶんけんいちらん}一覧（表）。便覧。「^{さんこうぶんけんいちらん}参考文献一覧」

い5-7

いちり② 【一理】《名》いちおうもつともと思われ理由。④一番道理。

「人手不足に、定年を延ばすという考えも一理ある」

い5-8

いちりつ① 【市立】《名》⇒市立「市立中学校」 注本来は「しりつ」

だが、「私立」と区別するため、「いちりつ」とも読む。

い5-9

いちりつ① 【一律】《形動》扱いや金額などに差がなく、同じであるよ

うす。④一律。一样。「社員の給料を一律10パーセント上げる」 類一样。

どういつ
同一

い5-10

いちりゅう① 【一流】《名》①その分野の評価がいちばん上であるこ

と。④一流。头等。「世界で一流の指揮者//一流品」 関連一.二流.三流

②そのやり方が独特であること。④一派。独特风格。「宴会を、司会者一

流の話術で盛り上げた」

い5-11

いちりょうじつ③① 【一両日】《名》この先^{さき}1日か^{にち}2日。㊦一两天。〔結^{けっ}

果^かは一両日中^{いちりょうじつちゅう}に知らせる」 類^し2,3日

い5-12

いちりん② 【一輪】《名》車輪^{しゃりん}や花^{はな}などの数え方で、1つ。㊦一朵。一

輪。单輪。〔梅^{うめ}が一輪^{いちりん}咲いた//一輪車^{いちりんしゃ}〕

い5-13

いちるの-のぞみ 【一縷^{いちる}の望み】ほんのわずかな望^{のぞ}み。㊦一丝希望。〔一

縷^るの望^{のぞ}みをもって、遭難者^{そうなんしゃ}の搜索^{そうさく}を続ける」 書^{つづ}

い5-14

いちれん① 【一連】《名》関連のある一続^{かんれん}き。㊦一连串。一系列。〔一連^{いちれん}

の事件^{じけん}の責任^{せきにん}を取^とって辞任^{じにん}した〕

い5-15

いちろ② 【一路】 I 《名》一筋^{ひとすじ}の道^{みち}。㊦一路。〔旅^{たび}の一路^{いちろ}平安^{へいあん}を祈^{いの}る〕

書 II 《副》寄り道^よせず^{みち}にまっすぐ。どこまでも。㊦一直地。径直地。

〔目的^{もくてき}に向^むかって、一路^{いちろ}まい進^{しん}する〕

い5-16

いつ① 《代名》はつきりわからない時^{とき}を表^{あらわ}すことば。㊥何時。什么时
候。「いつ日本^{にほん}へ来^きたの？」

い5-17

いつか③④ 【五日・5日】《名》①月^{つき}の5番目^{ばんめ}の日^ひ。四日^{よっか}の次^{つぎ}の日^ひ。㊥五
号。五日。②日^ひの数^{かず}が5つあること。㊥五天。しゅう 週^{いつ}に5日^{はたら}働く」

い5-18

いつか① 《副》①はつきりしない過去^{かこ}のある時^{とき}を表^{あらわ}すことば。以前^{いぜん}。㊥

从前。曾经。「この絵^えはいつか^み見たことがある」 類いつぞや ②はつきり

しない未来^{みらい}のある時^{とき}を表^{あらわ}すことば。そのうち。㊥早晚。总有一天。「いつ

かうかがいます」③はつきりとは気^きがつかないうちに時間^{じかん}が過ぎ、変化^{へんか}が起

こるようす。いつの間^まにか。㊥不知不觉。不知何时。「講演^{こうえん}を聞きながら、

いつか^{ねむ}眠ってしまった」 類いつしか.いつとはなしに

い5-19

いっか① 【一家】《名》①1つ^{ひと}の家^{いえ}の人全部^{ひとぜんぶ}。家族^{かぞく}全員^{ぜんいん}。㊥一家。一家

人。「正月^{しょうがつ}には一家^{いっか}が集^{あつ}まる」②1つ^{ひと}の所帯^{しょたい}。㊥一家。一户。「一家^{いっか}を構

える」

【一家をなす】^{いっか}研究・^{けんきゅう}技術・^{ぎじゆつ}芸術などで^{げいじゆつ}独自の^{どくじ}説や^{せつ}流派をつくって^{りゅうは}世の^よ

^{なか}中から^{みと}認められる。㊥**自成一家**。「^{かどう}華道で^{いっか}一家をなす」

い5-21

いっかく ㊦㊧ 【一角】《名》①^{ひと}1つのすみ。㊥**一角**。一隅。「^{こうえん}公園の^{いっかく}一角

にカフェがある」^{いちぐう}類一隅.片すみ ②^{いちぶぶん}一部分。㊥**一部分**。「^{ひょうざん}氷山の^{いっかく}一角」

い5-22

いっかく ㊦㊧ 【一画】《名》^{かんじ}漢字を^{かたち}形づくる^{いっほん}1本の^{せん}線。㊥**(漢字)一**

画。「『^{おつ}乙』は^{いっかく}一画の^{かんじ}漢字だ」

い5-24

いっかつ ㊦ 【一括】《名・他動～する》ひとまとめにして^{あつか}扱うこと。㊥

总括起来。一并。「^{いっかつちゅうもん}一括注文//^{いっかつばら}一括払い」^{そうかつ}類総括.包括

比較 ^{いっかつ}一括・^{そうかつ}総括・^{ほうかつ}包括

3語とも多くのことをまとめることだが、一括は抽象的なものでも具体的なものでも1つにまとめることを言うのに対して、総括は対象を1つにしぼって、最終的にまとめることを言う。

包括は意見・考えなど抽象的なものをもれなくまとめることを言う。

- ◆法案を一括審議する/荷物を一括して送る
- ◆今期の問題点を総括する/春闘の総括
- ◆領土と経済問題を包括的に話しあう/包括案

い5-25

いっかつ① 【一喝】《名・他動～する》^{ど おおごえ}1度大声でどなりつけること。④

大喝一声。「騒^{さわ}いでいる^{こうこうせい}高校生を、うるさい、と一喝^{いっかつ}した」

い5-26

いっかん①③ 【一環】《名》^{くさり}鎖などの^わ輪のように、^{ぜんたい}全体を^{かたち}形づくるもの

の一部分。④一个环节。一部分。「^{りよつ かせいさく}緑化政策の一環^{いっかん}として^{しょくりん}植林する」

い5-27

いっかん① 【一貫】《名・自動する》^{はじ}始めから^お終わりまで、^{ひと}1つの^{かんが}考え

^{かた}方ややり方^{かた}で^{とお}通すこと。④一貫。自始至終。「^{いっかん}一貫して^{かくはいぜつ}核廃絶を^{しゅちよう}主張する//

^{しゅう}終^し始^{いっかん}一貫」

い5-28

いっかんきょういく⑤ 【一貫教育】《名》^{どくじ}独自の^{きょういくほうしん}教育方針にもとづい

て、^{ようちえん}幼稚園から^{だいがく}大学まで、あるいは、^{しょうがっこう}小学校、^{ちゅうがっこう}中学校、また、^{ちゅうがっこう}中学校、

^{こうとうがっこう}高等学校とつなげて^{きょういく}教育すること。④一貫制教育。一条龙教育。「^{ちゅうこういっ}中高一

^{かんきょういく}貫教育」

い5-29

いっかん-の-おわり 【一卷の終わり】《連語》それまで続いてきたこと

が、ここですべて終わること。一生の終わり。㊦全完。了結。「20階のベ

ランダから落ちたら、一卷の終わりだ」俗 参無声映画で、1巻きのフィ

ルムが終わったとき、弁士が言ったことば。

い5-30

いっきいちゆう ① ①・③ 【一喜一憂】《名・自動～する》まわりの事情

が変わるごとに喜んだり心配したりすること。㊦一喜一忧。时喜时忧。

「病状の変化に一喜一憂する」

い5-31

いっきうち ③ 【一騎打ち・一騎討ち】《名》①敵味方が馬に乗って、1対1

で戦うこと。㊦一対一地马上战斗。②1対1で勝負すること。㊦一対一地決

定勝負。一対一地競争。「知事選は若手候補と熟年候補の一騎打ちだ」

い5-32

いっきに ① 【一気に】《副》途中で休まずにするようす。㊦一口气。

「山頂まで一気に登った」類いっぺんに。一挙に。一時に

い5-33

いっきよくしゅうちゅう ① 【一極集中】《名》^{ひと}1つだけめだつて強い部分
に、^{せいりよく}勢力が^{あつ}集まること。㊥集中一点。「^{しほん}資本の^{いっきよくしゅうちゅう}一極集中は^{きけん}危険だ」

い5-34

いっきよしゅ-いっとうそく ③・③ 【一挙手一投足】《名》^{こま}細かい^{ひと}1つ^{ひと}1つ
の^{どうさ}動作。㊥一挙一動。「^{のうやくしゃ}能役者の^{いっきよしゅいっとうそく}一挙手一投足を^{ぎょうし}凝視する」 ㊦一挙一動

い5-35

いっきよに ① 【一挙に】《副》いろいろなことを^ど一度に。また、^{みじか}短い^じ時
^{かん}間のうちに^{いっしょ}一緒に。㊥一挙。一下子。「^{いっきよ}一挙に^{もんだい}問題は^{かいけつ}解決した」 ㊦いっぺ
んに、^{いちじ}一時に、^{いっき}一気に

い5-36

いつ・く ② 【居着く】《自動五》(いついて)そのまま、その^{とち}土地や^{いえ}家な
どに^す住みつく。㊥安居。落户。「^{のらいぬ}野良犬がいついた」

い5-37

いつくし・む ④ 【慈しむ】《他動五》(いつくしんで) ^{たいせつ}大切に^{かわい}かわい
がる。㊥疼爱。怜爱。「わが^こ子を^{いつく}慈しむ」 ㊦慈しみ ㊦いとおしむ

い5-38

いっけん① 【一見】 I 《名・他動～する》 ちよつと見ること。1度見ること。
と。㊥一看。一见。「一見に値する」 類ひと目.一瞥 II 《副》 ちよつと見たところ。
㊥乍一看。看一眼。「一見刑事風の男が訪ねてきた」

い5-39

いっけんらくちやく①・① 【一件落着】 《名・自動～する》 ある事件が解決すること。
㊥事件有了解決。解決了一件案子。「パスポートがベッドの下から出てきて、紛失事件は一件落着した」

い5-40

いっこう① 【一行】 《名》 外出や旅行などで、一緒に行く人々。㊥一行。同行者。
「観光団の一行が到着した//選手団一行」 類一団

い5-41

いっこう① 【一考】 《名・他動～する》 1度考えてみること。㊥想一想。考虑一下。
「一考を要する問題//一考に値するアイデア」 類再考

い5-42

いっこうに① 【いっこうに・一向に】 《副》 ① (後に否定の語がきて) すこしも～ない。全然～ない。㊥完全(不)…。一点儿也(不)…。「いくら

はたら 働いても、いっこうに貯金^{ちよきん}できない」 類^{ぜんぜん}全然.まるっきり ②まったく。④

完全。全然。「世間^{せけん}がなんと^い言おうと、いっこうに平気^{へいき}だ」

い5-43

いっこく ④① 【一刻】《名》わずかな時間^{じかん}。④一刻。片刻。「一刻も早く^{いっこく はや}

あ 会いたい//一刻^{いっこく}を争^{あそ}う事態^{じたい}//刻一刻^{こくいっこく}」 書 参^{いっこく むかし}一刻は昔^{じかん}の時間^{たんい}の単位^{やく}。約

30分^{ぶん}。

い5-44

いっこくせんきん ① 【一刻千金】《名》千金^{せんきん}の値打ち^{ねう}があるわずかな時^じ

かん 間。④一刻值千金。「オーロラの乱舞^{らんぶ}に見とれた数分^みは、まさに一刻千金^{すうぶん}だ

った」 参^{そしよく し}蘇軾^{しゅんや}の詩「春夜」の「春宵一刻值千金^{しゅんしょういっこくあたせんきん}」から。

い5-45

いっこだて ① 【一戸建て】《名》アパートやマンションのような集合^{しゅうごう}

じゅうたく 住宅^{どくりつ}でなく、独立した1軒^{いっけん}の家。戸建て。④独门独院^{いへ}（^{こだ}的住宅^{にわ}）。「庭つ

きの一戸建て^{いっこだ}に住む^す」

い5-46

いっさい① 【いっさい・一切】 I 《名・副》 ①すべてのこと・もの。㊥一切。全部。 「^{けいり}経理はいっさい^{かちょう}課長に^{まか}任せている」 II 《副》（「～ない」の^{かたち}形で）まったく。ぜんぜん。㊥完全（没）。 「^{じけん}事件とは、いっさい^{かんけい}関係ない」

い5-47

いっさいがっさい⑤ 【いっさいがっさい・一切合切・一切合財】 《名・副》 「いっさい」を^{つよ}強めた^い言い方。すべて。全部。㊥全部。所有一切。 「^{なみ}津波で、^{かぞく}家族も^{かざい}家財もいっさいがっさい^{うしな}失った」

い5-48

いっさく④④ 【一策】 《名》 ^{ひと}1つのはかりごと。 ^{ひと}1つの^{しゅだん}手段。㊥一个办法。一条对策。 「^{きゅうよ}窮余の^{いっさく}一策」 類 ^{いっけい}一計. ^{けいりやく}計略

い5-49

いっさくじつ④ 【一昨日】 《名》 「おととい」の^{あらた}改まった^い言い方。㊥前日。前天。 「^{いっさくじつ}一昨日、^{てんきん}転勤の^{じれい}辞令を^{じゅり}受理しました」

い5-50

いっさくねん④④ 【一昨年】 《名》 「おととし」の^{あらた}改まった^い言い方。㊥前年。 「^{とうかいかん}当会館は^{いっさくねん}一昨年^{かいかん}開館いたしました」

い5-51

いっさんかたんそ⑥ 【一酸化炭素】《名》無色・無臭の有毒な気体。

もくたん せきゆ ふ かんぜんねんしょう はっせい か がくしき
木炭・石油などの不完全燃焼で発生する。化学式は「CO」。㊦一氧化
炭。

い5-52

いっさんに③ 【いっさんに・一散に】《副》他のことは何も考えずに、

はし けいほう いっさん ひなん かんが
走りだすようす。㊦一溜烟儿地。「警報とともに、一散に避難した」 類

いちもくさん
一目散に

い5-53

いつしか① 《副》「いつの間にか」の文学的な表現。㊦不觉间。不知不

覚。「読書に没頭しているうちに、いつしか夜もふけていた」 書 類 いつと
はなしに.いつか

い5-54

いっしき④ 【一式】《名》道具・機械・衣類などのひとそろい。㊦一

套。全套。「釣り道具を一式そろえる//洗面用具一式」 類 セット

い5-55

いっしー みだれず 【一糸乱れず】 すこしも乱れず、きちんとそろっている
ようす。㊥有糸不紊。 「消防音楽隊は、一糸乱れず行進した」

い5-56

いっしゅ ㊦ 【一種】 I 《名》 ① 1つの種類。㊥一种。 「しょうゆは調味
料の一種だ」 ② (「一種の～」の形で) ある意味では、～としてよいもの・こと。㊥某种。 「今回の水害は、一種の人災だ」 II 《副》 どころなく他
と違っているようす。なんとなく。㊥稍微。一点儿。 「子どもがつくった
料理は、一種不思議な味がした」

い5-57

いっしゅう ㊧ 【一周・1周】 《名・自動～する》ひとまわりすること。㊥
(绕)一周。一圈。

い5-58

いっしゅうき ㊨ 【一周忌】 《名》 仏教で、人の死後、満1年目の命日。また、その日にする法事。㊥一周年忌辰。一周年忌日。 ㊦一回忌。一年忌

い5-59

いっしゅん① 【一瞬】《名》1回まばたきするぐらいの、^{みじか}短い時間。^{じかん}④

一瞬間。一刹那。「津波で、一瞬にして多数の命が失われた」^{しゅんかん}類瞬間。

^{しゅんじ}瞬時

い5-60

いっしょ① 【いっしょ・一緒】《名》①ひとまとめにすること。④一起。

一并。「みんなの食事代を一緒に払う」②ともに同じ行動をすること。④

一起。一同。「友達と一緒に旅行をする」③同時であること。④同时。一块

儿。「盆と正月が一緒にやってきたような忙しさだ」④同じであること。

④相同。一样。「あの2人は年が一緒だ」⑤（「ご一緒する」の形で）連れ

だ立って行くこと。④同行。一起去。「駅までご一緒しましょう」

い5-61

いっしょう① 【一生】《名》①生まれてから死ぬまでの間。^{あいだ}④一生。一

辈子。「長い一生を終える//一生の不覚」^{しょうがい}類生涯.終生 ②1つの命。

④一生。一命。「九死に一生を得る」

い5-62

いっしょう① 【一笑】 《名・自動～する》 ちょっと笑^{わら}うこと。㊦一笑。

はがんいっしょう
「破顔一笑」

いっしょう ふ わら もんだい いっしょう ふ
【一笑に付する】 笑^{わら}って問題^{もんだい}にしない。一笑^{いっしょう}に付^ふす。㊦付之一笑。

しょうらい がくしゃ い いっしょう ふ
「将来、学者^{がくしゃ}になると言^いったら、一笑^{いっしょう}に付^ふされた」 似た表現^{似た表現}笑^{わら}いとぼす

い5-64

いっしょうがい③ 【一生涯】 《名》 生^うまれてから死^しぬまでの間^{あいだ}。㊦一

生。一輩子。いっしょうがいはたら
「一生涯^{いっしょうがいはたら}働^{はたら}きどおしだった」 類^類一生・終生・生涯^{いっしょう しゅうせい しょうがい}

い5-65

いっしょうけんめい⑤ 【一生懸命】 《副・形動》 全^{ぜん}力^{りょく}をつくして、がん

ばるようす。いっしょけんめい
一所^{いっしょけんめい}懸命。㊦努力。拼命。いっしょうけんめい たいど いっしょうけんめい
「一生懸命^{いっしょうけんめい}な態度^{たいど}//一生懸命^{いっしょうけんめい}に

はたら
働^{はたら}く」 類^類懸命^{けんめい}

い5-66

いっしん③ 【一心】《名》①人々の心が1つになること。㊥一条心。齐心。同心。「市民が一心になって市の再建に臨む//一心同体」②1つのに、心を集中させること。㊥一心想。专心。「車を買いたい一心で、貯金する」 類 一念

い5-67

いっしん③ 【一身】《名》自分1人だけ。自分のすべて。㊥自己。自身。「期待を一身に集める」

い5-68

いっしん① 【一新】《名・自他動～する》すっかり新しくなること。また、すっかり新しくすること。㊥一新。刷新。「経営陣が一新した//気分を一新する」 類 刷新

い5-69

いっしんいったい③① 【一進一退】《名・自動～する》よくなったり、悪くなったりすること。また、進んだり、後もどりしたりすること。㊥一进一退。忽好忽坏。「病状は、一進一退を続けている」

い5-70

いっしんじょう① 【一身上】《名》自分の身じぶんにみ関係かんけいあること。個人的なこ
と。④**有关个人的事。个人情况。**「一身上いっしんじょうの理由りゆうで会社かいしゃをやめた」

い5-71

いっしんとぅ③ 【一親等】《名》親等しんとうの1つ。本人ひとにいちばんほんにん近いちか関係かんけいの
親族しんぞく。一等親いっとうしん。④**一等亲。**「子どもこからみて、父ちちと母ははは一親等いっしんとぅだ」 関連一。

に しんとう さんしんとう
二親等.三親等

い5-72

いっしんどうたい③ ③・① 【一心同体】《名》ふたり以上いじょうのひとが、心こころも
からだからだ ひとも1つになるほどに力ちからをあ合わせること。④**同心同徳。一条心。**「夫婦ふうふは
一心同体いっしんどうたいだ」

い5-73

いっしんに③ 【一心に】《副》心こころをこめて、ひと1つのことをするようす。

④**专心地。一心一意地。**「病氣びょうきの快復かいふくを、一心いっしんに祈いのる」 類一生懸命いっしょうけんめい.一心

ふらん
不乱ふらんに

い5-74

いっしんふらん③ 【一心不乱】《名》^{ひと}1つのことに心を集^{こころ}中^{しゅうちゅう}させて、

ほか^{ほか}他のことを考^{かんが}えないこと。㊥**专心致志。一心一意。**「合格^{ごうかく}をめざして、

いっしんふらん ^{べんきょう}一心不乱に勉^{べんきょう}強^{べんきょう}する」^{いっしょうけんめい}類^{いっしょうけんめい}一生懸命.懸命

い5-75

いっすい① 【一睡】《名・自動～する》すこしの時間^じ眠^{かんねむ}ること。ひと眠^{ねむ}

り。㊥**睡一会儿。一睡。**「夕べは一睡^{いっすい}もしなかつた」^{あと}参^{ひてい}後に否定^ごの語^ごがつ

くことが多^{おほ}い。

い5-76

いっ・する①③ 【逸する】(いっして) I 《自動する》ある^{はんい}範囲^{はんい}からはず

れる。㊥**偏离。脱离。**「常軌^{じょうき}を逸^{いっ}する行^{こうい}為^い」^{いっだつ}類^{だっせん}逸脱^{いっだつ}する.脱線^{だっせん}する II 《他

動する》逃^にがす。のがす。失^{うしな}う。㊥**失去。错过。**「機^き会^{かい}を逸^{いっ}する」^書書

い5-77

いっすん③ 【一寸】《名》①むかし使^{つか}わられた長^{なが}さの単^{たん}位^い。約3.03 センチメ

ートル。㊥**一寸(約3.30厘米)。**②たいへん短^{みじか}いこと。また、小^{ちい}さいこ

と。㊥**十分短小。极短。**「一寸^{いっすん}先^{さき}も見^みえない」^参参^{ふくしてきよう}アクセントは副詞^{ふくしてきよう}的^{ふくしてきよう}用^{ふくしてきよう}

ほう ^{ばあい}法^{ばあい}の場合^{ばあい}①。

【一寸先は闇】 ^{いっすんさき やみ しょうらい} 将来のことは、まったくわからない。㊥前途莫测。前途未

ト。 ^{さきま くら} 似た表現お先真っ暗

い 5-79

いっせい 【一世】 《名》 ① ^{いっしょう しょうがい} 一生。生涯。㊥一生。一辈子。「一世の

^{けっさく} 傑作」 ② ^{せいよう おな なまえ いちぞく ほうおう こうてい} ①西洋で、同じ名前の一族や、法王・皇帝などのうち、最初の人。

㊥一世。「ナポレオン一世//エリザベス一世」 ③ ^{い みるん さいしょ だい ひと} ①移民した最初の代の人。

㊥第一代。「日系一世」

い 5-80

いっせいに ① 【一齐に】 《副》 ^{どうじ おな} みんなが同時に、同じことをするようす。

㊥一齐。同时。「暖かくなり、いっせいに花が咲き始めた」 ^{いちど いちどき} 類一度に。一時に

い 5-81

いっせき ① 【一席】 《名》 ① ^{えんかい らくごかい かい} 宴会・落語会などの1回。㊥（宴会、単口相

声会等）一场。「昇進祝いに一席を設ける」 ② ^{しょうしんいわ いっせき もう だい い} 第1位。㊥首席。首位。「ピ

アノコンクールの一席に選ばれた」

【一席ぶつ】自分の意見を述べる。㊦一番演说。「講師が最近の経済状況

について、一席ぶつた」俗

い5-83

いっせきにちょう㊦・㊦【一石二鳥】《名》1つのことをして、2つの利益

を得ること。㊦一举两得。一箭双雕。「定年を延長すれば、高齢者の労働

力と生きがいが確保できて、一石二鳥だ」似た表現一举兩得

い5-84

いっせきを-とうじる【一石を投じる】あることがらや考えに、別の意見

を出して、問題を投げかける。㊦提出问题。「大学生の清新な評論が、

論壇に一石を投じた」

い5-85

いっせん㊦【一線】《名》①まっすぐな1本の線。㊦一条线。「横に一線

に並ぶ」類一列 ②はっきりした区切り。㊦一道分界线。「公私の生活に

一線を画す//一線を越える」③その分野で中心になって活躍する場所や位

置。㊦第一线。「学界の一線で後進を引っ張ってきた//一線を退く」

い5-86

いっそ① 《副》 ^{かんが かた か} 考え方を^{おも}変えて、^{おも}思いきった^{べつ こうどう}別の行動をとろうとするよ
うす。④索性。干脆。「他人の下で^{た にん した はたら}働くより、いっそ自分で^{じぶん かいしゃ}会社をつくら
う」 ④類ひと^{おも}思いに^{おも}思いきって

い5-87

いっそう① 【一掃】 《名・他動～する》 ^{のこ かた}すべてを^{み けっぱく しょうめい}残らず片づけること。④
掃除。肃清。「身の^{み けっぱく しょうめい}潔白を^{ぎわく いっそう}証明して、^{ざい こ いっそう}疑惑を一掃した//在庫一掃セール」

い5-88

いっそう① 【いっそう・一層】 《副》 ^{いぜん くら}以前に^{ていど}比べて、^{つよ}程度がより強くなっ
ているようす。④更加。进一步。「日本語が^{にほんご}いっそう^{じょうず}上手になった」 ④類
一段と^{いちだん}さらに^{いちだん}ますます

い5-89

いっそくとびに④③ 【一足飛びに】 《副》 ^{じゅんじょ}ふつうの^{じゅんじょ}順序どおりではな
く、^{いっき さき すす}一気に^{きゅう さむ}先へ^{なつ いっそく}進むようす。④一躍。越級。「^{なつ いっそく}急に^{なつ いっそく}寒くなり、夏から一足
と^と飛びに^{ふゆ}冬になった」 ④類一躍^{いちやく}一挙^{いっきょ}に

い5-90

いったい① I 《名》①【一体】^{ふた いじょう}2つ以上のものが、^{ひと}1つになること。㊥一

体。合力。「チームの^{ぜんいん}全員が^{いったい}一体となる//^{かんみん}官民一体」^{いちがん}類一丸 ②【一体・1

体】^{ぶつぞう}仏像・^{ちょうこく}彫刻・^{いたい}遺体などの^{かぞ}数え方で、^{かた}1つ。㊥（^{ひと}佛像、^{ひと}雕刻、^{ひと}遗体等的

数詞）^{つよ}一尊。^{ぎもん}一座。^{あいて}一具。II【いったい・一体】《副》^せ強い^な疑問や^せ相手を^せ責

めるときの^{きも}気持ちを^{あらわ}表すことば。㊥^な到底。^な究竟。「^ないったい、^なここで何をして

い5-91

いったい①【一带】《名》その^{ちいきぜんたい}地域全体。㊥^{たいふう}一带。「^{せっきん}台風の^{きゆう}接近で、^{きゆう}九

^{しゅうほく}州^ぶ北部^{おおあめ}一带は^{いちえん}大雨だ」^{いちえん}類一円

い5-92

いったいに①【一体に】《副》^{ぜんたいてき}全体的に^い言^いって。㊥^{ことし}总的来说。「^{ことし}今年はい

ったいに、^{さくら}桜の^{かい}開^か花が^{はや}早い」^{ぜんぱんてき}類^{そう}全般的に^{そう}総じて

い5-93

いつだつ①【逸脱】《名・自動～する》^{ほんすじ}本筋やある^{いってい}一定の^{はんい}範囲から^いそれる

こと。㊥^{きつえん}越軌。^{まやく}脱离。「^{こうこうせい}喫煙も^{ほんぶん}麻薬も、^{いつだつ}高校生の^い本分から^い逸脱している」

^{だっせん}類^{だっせん}脱線

い5-94

いったん③ 【一端】《名》①物の一方のはし。㊦一端。一头儿。②全体

のうちの一部分。㊦一部分。一方面。「字を見れば、性格の一端がわかる」

い5-95

いったん① 【いったん・一旦】《副》①途中ですこの間 時間をあけ

るようす。一時的に。㊦暂时。暂先。「踏切でいったん停車して、安全を

確認する」 類一度.ひとまず ②一度、何かが起こったら。㊦一旦。「いっ

たん失った信用を回復するのはたいへんだ」 類一度.ひとたび

い5-96

いっち① 【一致】《名・自動～する》①2つ以上のものが、ぴったり合

うこと。㊦一致。符合。「理想と現実の一致をめざす//意見の一致」 類合

致 ②おおぜいの人の気持ちが1つになること。㊦（想法、心情）一致。

「一致団結//満場一致」

い5-97

いっちょう① I 【一丁・1丁】《名》①一品料理の数え方で、1人前。㊦

一份。一盘。一碟。「ラーメン1丁できあがり！」②豆腐・刃物・ピスト

ルなどの数え方で、^{かぞ} ^{かた} ^{ひと} 1つ。㊥一块。一把。「豆腐を1丁買う」Ⅱ【一丁】

《副》ひと仕事。それではひとつ。さあ。何かをしようとする時に言う。㊥

一下。来一下。干一下。「一丁やってみるか」俗

い5-98

いっちょういっせき①・① 【一朝一夕】《名》^{みじか} ^き ^{かん} 短い期間。^じ ^{かん} わずかな時間。

㊥一朝一夕。「難局は、一朝一夕には打開できない」

い5-99

いっちょういったん①・① 【一長一短】《名》いいところもあれば、^{わる} 悪い

ところもあること。㊥一長一短。有长有短。「Eメール・ファックス・電話

の、どの連絡方法にも、一長一短がある」類一利一害.一得一失

い5-100

いっちよくせん③④ 【一直線】《名》^{ぼん} ^{ちよくせん} 1本の直線。また、まっすぐである

こと。㊥一条直线。笔直。

い6-1

いつつ② 【五つ・5つ】《名》①5。5こ。㊥五。五个。②^{さい}5歳。㊥五

岁。「妹はわたしの5つ下だ」

い6-2

いって① 【一手】《名》①自分だけで、独占的に扱うこと。㊥**単独。独**

家。「会の進行を一手に引き受ける」②ただ1つの手段、方法。㊥**唯一方法**

(手段)。一手儿。「逃げの一手//押しの手」

い6-3

いってい② 【一定】《名・自動～する》1つに決まっていて、変わらない

こと。㊥**一定。固定**。「車間距離を一定に保つ」

い6-4

いってきます 【行ってきます】《挨拶語》外へ出かけるときに、出かける

ひと 人が言うことば。㊥**我走了**。→付録「挨拶のことば」

い6-5

いってつ③④ 【一徹】《名・形動》自分の考えを頑固に押し通すこと。

また、そのようす。㊥**执意。固执**。「老いの一徹//一徹者」類頑固.かたくな.

い6-6

いつでも① 《副》 どんなときでも。㊥无论什么时候。随时。「店はいつでも開いている」

い6-7

いってらっしゃい 【行ってらっしゃい】 《挨拶語》 外へ出かける人に言うことば。「行っていらっしゃい」のくだけた言い方。㊥（您）慢走。

い6-8

いってん③ 【一点・1点】 《名》 ①ただ1つの点。㊥一点。②（後に否定の語がきて）ごくわずか。㊥一点儿（不。没）。「晴れた空には、一点の雲もない//一点の疑いもない」③置物・家具・作品などの数え方で、1つ。

㊥一件。「テーブル1点」

い6-9

いってん④ 【一転】 《名・自動～する》 ①1回りすること。1回転。㊥一转。转一圈。「雪道でスリップして、車が1転した」②すべてががらりと変わること。㊥一变。「方針が1転する//心機一転」 ㊥類一变

い6-10

いってんばり ④ 【一点張り】 《名》 ^{ひと}1つのことだけを、^{お とお}押し通すこと。④

只坚持一件事（一点、一方面等）。「^{けいざいせいちょう}経済成長^{いってんば}一点張りの^{せいさく}政策//^{がん}頑固^{いってん}一点

^ば張り」 類 ^{いっぺんとう}一辺倒、^{いっほん}一本やり

い6-11

いっとき ④④ 【いっとき・一時】 《名》 ①^{じかん}わずかの時間。④^{ひととき}一時。片刻。

「^{あめ}雨が^{いっとき}いっとき^{はげ}激しく^ふ降った」 類 ^{ざんじ}暫時 ②^{かこ}過去のある^{じき}時期。④（過去）某

一时期。一个时期。「^{いっとき}いっとき^{けいき}景気が^{ていめい}低迷したが、^{いま}今は^{かいふく}回復した」

い6-12

いつ-と-もなく 《連語》 いつからということもなく。④^{しじょう}不知不觉。不知何
時。「^{いつともなく}いつともなく、^{にわ}庭に^{ことり}小鳥が^く来るようになった」

い6-13

いつなんどき ① 【いつ何時】 《副》 いつどんなとき。④^{しじょう}不知什么时候。说
不定什么时候。「^{いつなんどき}いつなんどき、^{おおじしん}大地震が^お起こるかもしれない」

い6-14

いつ-の-ま-にか 【いつの間にか】 《連語》 いつとわからないうちに。④
^{しじょう}不知不觉之间。「^{おんがく}音楽を^き聴きながら、^{いつのまにか}いつのまにか^{ねむ}眠っていた」 類 ^{いつともなく}いつともなく

い6-15

いっば① 【一派】《名》①^{がくもん} 学問・^{しゅうきょう} 宗教・^{げいじゅつ} 芸術などで、もとから分かれ

た1つの流れ。㊥一派。一个流派。「モネは印象派の一派だ」②^{もくてき} 目的を同

じにする仲間。㊥一派。一伙。一党。「党内の若手の一派が離党した」

い6-16

いっばい I ①【一杯・1杯】《名》①^{ちやわん} コップ・^{ようきひと} 茶碗などの容器1つに満た

される分量。㊥一杯。一碗。「お茶をもう1杯ください」②^{かる} 軽く^{さけ} 酒を飲む

こと。㊥一杯（指喝点酒）。「帰りに一杯やる」③イカ・カニ・タコなどの

^{かぞ} 数え方で、^{かた} 1つ。㊥一只。「イカとカニを1杯ずつ買って帰る」II ②【いっ

ぱい】《形動・副》①ものがあふれるほど、あるようす。㊥満。充满。「朝

^{でんしゃ} の電車は、^{つうきんきやく} 通勤客でいっばいだ」②（「～いっばい」の形で）ありった

け。ぎりぎり。㊥全（占満）。满满当当。「今週いっばいは暇がない//腹

いっばい^た食べる」

【一杯^{いっばいく}食わせる】うまく、だます。㊥^{あざむ} 欺騙。「この腕輪^{うでわ}は^{こううん}幸運をもたらすと

10万円^{まんえん}で^う売って、まんまと一杯^{いっばいく}食わせた」似た表現一杯^{いっばいく}食う

い6-18

いっばいきげん⑤ 【一杯機嫌】《名》ちょっと酒を飲んで、いい気持ちになること。㊥酒后有了兴致。「一杯機嫌で夜道を歩く」 類ほろ酔い機嫌

い6-19

いっぱし⑩ 【いっぱし〔一端〕】I《名》十分ではないが、一人前。㊥也算得上。还满可以。「幼児なのに、口だけはいっぱしのことを言う」II 《副》偉そうに。人並みに。㊥有模有样地。像模像样地。「博士号をとったとたん、いっぱし人に説教し始めた」

い6-20

いっばん⑩ 【一般】《名》①全体に共通していること。㊥一般。普遍。「最近の学生は、一般にまじめでおとなしい」 対特殊 類全般 ②ふつうの人。ありふれていること。㊥普通（人）。一般（人）。「一般向けのわかりやすい本//一般市民//世間一般」 類ふつう

い6-21

いっばんてき⑩ 【一般的】《形動》特別なことだけでなく、多くのことに当てはまるようす。㊥一般的。普遍的。「人権尊重が、現代社会の一般的な流れだ」 類普遍的

い6-22

いっぴん① 【逸品】 《名》^{びじゅつひん}美術品・^{こつとうひん}骨董品などの、^{とく}特にすぐれた^{しなもの}品物や

^{さくひん}作品。④^{ぜっぴん}絶品。杰作。「^{ちゅうごくミンだい}中国明代の^{いっぴん}逸品//^{いっぴん}逸品ぞろい」^{ぜっぴん}類絶品

い6-23

いっぴんりょうり⑤ 【一品料理】 《名》レストランなどで、^{ひとさら}一皿ずつ^{ねだん}値段

がついていて、^{きゃく}客が^{えら}選べる^{りょうり}料理。④^{たんぷんさい}单品菜。類アラカルト

い6-24

いっふう-かわった 【いっふう変わった・一風変わった】 《連語》ふつう

とは、^{ちが}すこし違った。④^{いっふうか}有点与众不同。「^{せいかく}一風変わった^{にく}性格だが^{ひと}憎めない人だ」

い6-25

いっぷく①④ 【一服】 I 《名》① ^{いっかいぶん}1回分の^{こなぐすり}粉薬。④^{いっさい}一剂。一包(薬)。

「^{しょくご}食後に^{くすり}薬を^{いっぷくの}1服飲む」② ^{たばこ}タバコや^{おちゃ}お茶を^{いっかいの}1回飲むこと。また、その

^{りょう}量。④^{いっぱい}喝一杯茶(咖啡)。抽一支烟。「^{おちゃ}お茶を^{いっぷく}1服たてる」II 《自動～す

る》^{やす}ちょっと休むこと。④^{いっさい}休息一会儿。小憩。「^{とうげ}峠に着いたら、^{いっぷく}一服しよ

う」^{ひとやす}類一休み

い6-26

いっぺん③① 【一片】《名》①^{うす}薄いもの1枚。②^{まい}一片。「^{いっぺん}一片の^{はな}花びらが

^ま舞い^お落ちた」②ひと^{いちぶぶん}ときれ。一部分。③^{いっぺん}一片。「^{くも}一片の^は雲もなく^は晴れた^{そら}空」③

わずかなようす。すこし。④^{いっぺん}一点儿。「^{れいこく}冷酷で^{いっぺん}一片の^{じょう}情もない^{おとこ}男だ」

い6-27

いっぺん③ 【一ぺん・一遍】《名》①「^ど1度」「^{いっかい}1回」の^いくだけた^い言い

^{かた}方。②^{いっぺん}一回。一次。「^いいっぺんで^き気に入った」^い話 ③^{めいし}（^{あと}名詞の^い後につい

て）ただそれだけであること。④^い（^い放在^い名詞^い后面）^い仅仅。只。「^{とお}通り^いいっぺ

^いんの^{せつめい}説明では^いわからない//^いま^いじめ^いいっぺん^いの^い人」

い6-28

いっぺん① 【一変】《名・自動～する》^いすっかり^い変わる^いこと。②^い一^い変。完

^い全^い改^い変。「^{こうそくどうろ}高速道路が^いできて、^{まち}町の^いようすが^い一^い変した」^い類^い一^い転。急^い変。激^い変

い6-29

いっぺんとう③ 【一边倒】《名》^い一方に^いだけ、^いかた^いよる^いこと。④^い一^い边^い倒。

「^いま^いじめ^い一^い边^い倒//^いア^いメ^いリ^いカ^い一^い边^い倒」^い類^い一^い点^い張^いり。一^い本^いや^いり

い6-30

いっぺんに③ 【いっぺんに・一遍に】《副》①同時に。一度に。㊥同時。

一下子。「車がいっぺんに増えて、渋滞が始まった」②すぐに。たちま

ち。㊥转瞬間。立刻。「ニュースは、いっぺんに広がった」△類いちどき

に。一挙に

い6-31

いっぽ① 【一步・1歩】《名》①1足。㊥一步。「1日中1歩も外へ出な

い」②すこしの程度・段階。㊥一步。一个阶段。「対応を一步誤れば、大

事故につながる」

【一步譲る】①相手の言い分をすこし認める。㊥让步。退一步。「一步譲っ

て、増税は認めるとしても、その使い道を明確に示すことが先だ」②力

や質がすこし劣る。㊥略为不及。稍逊一筹。「品質の点で一步譲ってい

る」

い6-33

いっほう③ 【一方】I《名》①1つの方向や方面。㊥一方。一方面。

「一方にかたよる」②2つあるもののうちの1つ。㊥一方。单方。「一方の

言い分だけ聞くのはまずい」対両方③（動詞・形容詞・名詞について）た

だそればかり。㊥越来越…。一个劲儿地…。「物価は上がる一方だ」④

(「～一方(で)」の形で) あることがらと並行して、ほかのことが行われること。～しながら、他方で。㊥一方面…另一方面…。一边…一边…。

「課長は仕事をばりばりする一方で、テニスもうまい」Ⅱ《接続》別の

方面では。㊥另一方面。「沖縄では桜が咲いた。一方、北海道では雪が降っている」

い6-34

いっぽうつうこう⑤ 【一方通行】《名》①道路で、人や車が1つの方向

にしか進めないこと。一方交通。㊥单行。单向通行。「一方通行だからUタ

ーンできない」②意見・主張などが一方的に伝えられて、それに対する意

見・主張などが伝わってこないこと。㊥只持自家之言。只说一方的意见

(主张等)。「主張は貿易推進派の一方通行に終わった」

い6-35

いっぽうてき⑥ 【一方的】《形動》①一方だけにかたよっているようす。

㊥偏向一方。「10対1で、一方的に勝った//一方的な議論」②相手のことを

かんが じぶん つごう はんだん しゅちよう
考えず、自分のほうの都合や判断だけを主張するようす。㊥单方面的。自

我中心的。「一方的に契約破棄を通告する」

い6-36

いっぽん ㊦ 【一本・1本】《名》①木や針など、細長いもの1つ。また、

てがみ でんわ つか
手紙や電話などについても使う。㊥一棵。一支。一根（針）。一封（信）。

一通（电话）。「庭に松の木が1本ある」②酒の入ったとっくり1つ。㊥一

壺酒。「熱かんで1本つけてください」③剣道・柔道などで、技が1回決

まること。㊥（剣道、柔道等）得一分。胜出一次。「押さえ込みで一本取っ

た//一本勝ち」④1つの方向。ひとまとまり。一筋。㊥一个方向。一条道

儿。「調査結果を一本にまとめる」

い6-37

いっぽんか ㊦ 【一本化】《名・他動～する》1つにまとめること。㊥综

合。统一化。「複数の部門を一本化する//年金制度の一本化」

い 6-38

いっぽんだち① 【一本立ち】《名・自動～する》他人の力を借りない

で、生活や仕事をしていけるようになること。㊤独立。自立。「やっど漁

師として一本立ちした」 類 独りつ じりつ だ 独立.自立.ひとり立ち

い 6-39

いっぽんやり③ 【一本やり [一本槍']】《名》ただ1つの技や方法を押し

し通すこと。㊤只认一条道儿。只走一门经。「まじめ一本やり」 類 一点点張

り.一边倒

い 6-40

いつまでも① 【副】その状態が非常に長く続くようす。㊤永远。始终。

「故郷の思い出は、いつまでも忘れない」 類 末永く

い 6-41

いつも① I 《名》ふつうの場合。㊤平常。往常。「今朝はいつもより早く

起きた」 II 《副》どんなときでも。㊤无论何时。总是。「いつも平常心で

いるのはむずかしい」 類 いつでも.常に

い 6-42

いつわ① 【逸話】 《名》 その人^{ひと}について、世間^{せけん}にあまり知られていない、

おもしろい話^{はなし}。㊦逸聞。趣聞。「教授^{きょうじゆ}には、登山家^{とざんか}としての逸話^{いつわ}も多い^{おお}」

類^レエピソード

い 6-43

いつわ・る③ 【偽る】 《他動五》 (いつわって) 本心^{ほんしん}や事実^{じじつ}と違う^{ちが}ことを

言^いったり、し^したりして、それを本当^{ほんとう}だと思^{おも}わせる。うそをつく。㊦说谎。假

装^ま。歪曲^{びようき}。「病^{びよう}気^きと偽^{いつわ}って、会^{かい}社^{しゃ}を休^{やす}む」 名^名偽^{いつわ}り 類^レあざむく・だます⇒

ひかくらん
比較欄

い 6-44

イデオロギ-③④ 《名》 (㊦Ideologie) 政治^{せいじ}的^{てき}な思想^{しそう}。㊦意识形态。思

想^し模^も式^{しき}。

い 6-45

いてん① 【移転】 《名・自他動〜する》会^{かい}社^{しゃ}・役^{やく}所^{しょ}・個^こ人^{じん}の家^{いえ}な^なの場^ば所^{しょ}

が他^{ほか}へ移^{うつ}ること。また、移^{うつ}すこと。㊦迁移。迁址。搬家。「社^{しゃ}屋^{おく}を移^{いてん}転^{する}

// 移^{いてん}転^{つう}通^ち知^ち」 類^レ移^い動^{どう}

比較 移^{いてん}転^い・移^い動^{どう}

2語とも場所を変えること。**移転**は他の場所へ移って固定すること。**移動**は他の場所へ移る意味と、他の場所に移って、短期間固定する意味とがある。

◆来月事務所を**移転**する/**移転**先

◆本棚の位置を**移動**する/**移動**販売車

い6-46

いでん① 【遺伝】《名・自動～する》生物の、顔・^{かお}体^{からだ}の形^{かたち}・性質^{せいしつ}などが

親^{おや}から子^こに伝^{つた}わること。④**遗传**。「親^{おや}の体質^{たいしつ}が子ども^こに遺伝^{いでん}する//隔世遺

伝^{でん}」

い6-47

いでんし② 【遺伝子】《名》細胞^{さいぼう}の染色^{せんしよくたい}体^{なか}の中^{なか}にあって、遺伝^{いでん}のもとに

なる物質^{ぶつしつ}。④**遗传基因**。「親^{おや}子^こかどうかを遺伝子^{いでんし}で調^{しら}べる//遺伝子^{いでんし}組^くみ換^か

え」

い6-48

いと① 【糸】《名》①麻^{あさ}・絹^{きぬ}・綿^{めん}・毛^けや人^{じん}造^{ぞう}の織^{せん}維^いをよりあわせて、細^ほ長^{そなが}

く引^ひきのばしたもの。④**线**。**丝**。「針^{はり}に糸^{いと}を通^{とお}す//もめん糸^{いと}」②「①」のよ

うな形^{かたち}のもの。④**像线的东西**。「納豆^{なっとう}が糸^{いと}を引^ひく」③ものごとを結^{むす}びつけ

るもの。㊤途経。线索。「記憶の糸をたどる//運命の赤い糸で結ばれる」④

三味線や琴などの弦。㊤弦。琴弦。「琴を強くひいたら、三の糸が切れた」

【糸を引く】①ねばって、糸のように細くのびる。㊤拔丝。「納豆が糸を引

くまで、かきませる」②表面に現れないで、陰で人を自分の思うように

動かす。㊤暗中操纵。幕后指挥。「教師が後ろで糸を引いて、生徒を動

かしている」㊤類操る ③影響が長く続く。あとを引く。㊤久久持续不

断。「停戦後も国境問題が糸を引いて、紛争が絶えない」

い6-50

いと①【意図】《名・自他動～する》ある目的があって、こうしようと

考えていること。㊤意图。㊤類思惑.ねらい.もくろみ

い6-51

いど①【井戸】《名》地面を掘って、地下水をくみあげるようにつくった

設備。㊤井。「井戸を掘る//井戸水」

い6-52

いど① 【緯度】《名》地球の表面を、赤道を0度として、南へ90度、

北へ90度に分けて、赤道からどれくらい離れているかを示したもの。㊦緯

度。㊦経度

い6-53

いと・う② 【いとう〔厭う〕】《他動五》(いとって) ①いやがる。㊦討

厭。嫌棄。「家族のためなら、どんな苦勞もいとわない」㊦好む ㊦嫌う

②だいじにする。気をつける。㊦珍重。爱护。「寒さ厳しい折から、お体をおいとください」㊦書 ㊦いたわる

い6-54

いどう① 【異同】《名》比べて、違っているところ。また、同じか違うか

を比べること。㊦异同。「チョウとガの異同を調べる」㊦差異.相違.違い

い6-55

いどう① 【移動】《名・自他動～する》場所や状態を変えること。ま

た、変わる事。㊦移动。挪动。「高気圧が移動して、天気がかくずれる//移

動図書館」㊦移転⇒比較欄

い6-56

いどう① 【異動】 《名・自他動～する》組織そしき なかの中で、地位ちいや仕事しごとの内容ないようが
変わるかこと。㊥调动。变动。「総務部そうむぶから人事部じんじぶに異動いどうした//人事異動じんじいどう」

い6-57

いとおし・む④ 《他動五》 (いとおしんで) ①かわいいおもと思う。㊥喜爱。
疼爱。「祖父母そふぼは、心こころから孫まごをいとおしんでいる」②惜おしんで大切たいせつにす
る。㊥爱惜。珍惜。「散ちってゆく桜さくらをいとおしむ」 △名いとおしみ

い6-58

いとぐち② 【糸口〔緒〕】 《名》ものごとが始はじまったり解決かいけつしたりする
出発点しゅっぱつてん。㊥头绪。线索。「問題解決もんだいかいけつの糸口いとぐちがみつかる」 類るいきっかけ。手てがか
り

い6-59

いところ② 【従兄弟・従姉妹】 《名》父母ふぼの兄弟きょうだい・姉妹しまいの子ども。㊥堂兄
弟。堂姐妹。「祖母そぼの家いえにいとこあつが集あつまった」 注ちゅう漢字かんじで書かくときは、男おとこ
のいところは「従兄弟」、女おんなのいところは「従姉妹」。

い6-60

いどころ① 【居どころ・居所】《名》いる場所。住所。㊤住处。住所。

「容疑者の居どころを突きとめる」 類居場所.居所

い6-61

いとし・い③ 【いとしい〔愛〕しい】《形》①かわいくてたまらない。㊤

可愛的。「いとしいわが子を抱きしめる」②恋しい。㊤亲愛的。「いとしい

恋人との別れが辛い」 類慕わしい △名いとしさ

い6-62

いとな・む③ 【営む】《他動五》（いとなんで）①休まずに生活する。㊤

营（生）。「豊かな生活を営む」②生活のために商売をする。㊤经营。

「旅館を営む」③儀式などをする。㊤举办。「3回忌の法事を営む」 △名

いとな
営み

い6-63

いとま①③ 【いとま〔暇〕】《名》①それをするのに必要な時間のゆと

り。㊤余暇。工夫。「電話と来客で、応接にいとまがない」②帰ること。

別れること。㊤告辞。告别。「祖父母にいとまを告げて帰宅した」 △書

参すこし古い言い方。

い6-64

いど・む② 【挑む】 (いどんで) I 《他動五》相手に競争をしかける。㊥

挑戦。挑衅。「決勝戦で、今年の優勝校にいどむ」II 《自動五》むずかし

いことに立ち向かう。㊥挑戦。「冬のチョモランマに挑む」 ㊦挑戦する

い6-65

いと・める③ 【射止める】 《他動一》①弓や鉄砲で動物をねらって殺す。

㊥射杀。击毙。「猟師が山でクマを射止めた」 ㊦しとめる。射殺する ②手

に入れにくいものをうまくねらって、自分のものにする。㊥収入囊中。攫

取。「宝くじの1等賞を射止めた」 ㊦獲得する

い6-66

いとも① 《副》非常に。きわめて。㊥非常。十分。「難問を、姉はいと

も簡単にといた」 ㊦

い6-67

いな① 【否】 I 《名》①賛成できないこと。承知しないこと。㊥不賛成。

不同意。「今さら、否とは言わせない」 ② (「～か否か」の形で) そうで

はないこと。㊥是否。「合格できるか否かは、今後の努力次第だ」 △㊦

II 《感》いや、そうではない。いいえ。㊥不。否。「放射能汚染は、福島に
とって、否、日本全体にとって深刻な問題だ」 書

い6-68

いない① 【以内】《名》(数量・時間・距離など基準を表す語につい
て) その数量を入れて、それより少ない範囲。㊥以内。…之内。「小論文
を800字以内で書く//30分以内に到着する」

い6-69

いなお・る③ 【居直る】《自動五》(いなおって) 急に態度が変わっ
て、相手をおどす。㊥態度驟変。突然强硬起来。「講演の内容が乏しいと批
判された講師は、ではあなたが話せばいいと居直った」 名居直り 類開き直
る

い6-70

いなか④ 【いなか・田舎】《名》①都市から離れた、田や畑の多い
土地。㊥乡下。乡村。対都会.町 ②地方にある生まれ故郷。㊥家乡。老
家。

い6-71

いながら-に-して 【居ながらにして】《連語》その場^ばにいたままで。㊥原

地^ち不動。坐^ざ在家里。「インターネットを利用^{りよう}すれば、いながらにして、買^かい

物^{もの}や金^{かね}の振^ふり込^こみができる」

い6-72

いなさく㊦ 【稲作】《名》①イネを栽培^{さいばい}すること。㊥种^{くさね}稲子。稲种。

「稲作地帯^{いなさくちたい}//稲作農家^{いなさくのうか}」②イネのでき具^ぐ合^{あい}。㊥稻^{いな}子の收^と成^{せい}。「今年^{ことし}の稲作^{いなさく}は

大豊作^{だいほうさく}だ」△類米作^{べいさく}

い6-73

いなずま㊦ 【稲妻】《名》^{かみなり}雷^なが鳴るときに、^{くうちゅう}空^{はし}中にぴかぴか^{はし}と走^{はし}る

電^{でん}気^きの光^{ひかり}。稲^{いな}光^{びかり}。㊥闪^{いな}电^{ずま}。「ぴか^{はし}と稲^{おも}妻^{はし}が走^{おも}ったと思^{おも}ったら、ごろごろ

と^{かみなり}雷^なが鳴^なった」

い6-74

いなめ-ない 【否めない】《連語》①否^{ひてい}定^{てい}できない。㊥不^ふ可^か否^ひ定^{てい}。不^ふ能^{にやう}否^ひ定^{てい}

定^{てい}。「生^{せい}徒^との言^いい分^{ぶん}が正^{ただ}しいこ^{いな}とは否^{ことわ}め^{ことわ}ない」②断^{ことわ}るこ^{ことわ}とはでき^{ことわ}ない。㊥

不^ふ能^{にやう}拒^{きやう}絶^{てつ}。无^む法^{ぽう}拒^{きやう}絶^{てつ}。「突^{とつ}然^{ぜん}の転^{てん}勤^{きん}命^{めい}令^{れい}だ^{いな}が、否^{いな}め^{ことわ}ない」△書

い6-75

いな-や① 【否や】 《連語》（「~やいなや」の形^{かたち}で）~するとすぐに。

~すると同時に。㊦一…就…。剛…就…。「腰^{こし}をおろすやいなや、スマホを

と
取りだした」 書

い6-76

いなり① 【稲荷】 《名》①穀物^{こくもつ}の神様^{かみさま}。また、その神をまつた神社^{かみ}。お

いなりさん。稲荷神社^{いなり じんじゃ}。㊦五谷之神^{ごこくものしん}。祭祀^{まつり}五谷神^{ごこくものしん}的神社^{じんじゃ}。「林^{はやし}の中に赤い^{なか あか}

とりい いなり
鳥居^{とりい}の稲荷^{いなり}がある」②⇒いなりずし

い6-77

いなりずし③ 【いなりずし〔稲荷鮎^{いなりずし}〕】 《名》甘辛^{あまから}く煮^にた油揚げ^{あぶらあ}の中^{なか}

に、酢^すなどで味^{あじ}のついたご飯^{ごはん}をつめたもの。おいなりさん。㊦油炸豆腐包^{あぶらあじ豆腐包}的

寿司^{すし}。「遠足^{えんそく}の弁当^{べんとう}はいなりずしだ」 数^{かず}1個^{いっこ}.1つ^{ひと}

い6-78

イニシアティブ④ 《名》(initiative) 主^{しゅ}導^{どう}権^{けん}。㊦主^{しゅ}導^{どう}権^{けん}。主^{しゅ}動^{どう}権^{けん}。

い6-79

いにしえ⑤ 【いにしえ〔古^{いにしえ}〕】 《名》「遠^{とお}い昔^{むかし}」の古^{ふる}い言^いい方^{かた}。㊦

古^{いにしえ}。古^{いにしえ}代^{しろ}。「いにしえをしのぶ//いにしえの奈^{なら}良^{みやこ}の都^{みやこ}」 書

い6-80

イニシャル② 《名》 (initial) ローマ字で姓名を書くときの最初の大文字。㊦ (姓名) 首字母。

い6-81

いにん① 【委任】 《名・他動～する》 相手を信頼して、処理を任せること。㊦委任。「交渉の全権を代表に委任する//委任状」 類 委嘱、委託。一任

い6-82

いぬ② 【犬】 《名》 ①においをかぎ分けたり、音を聞き分ける力がすぐれている動物。飼い主に忠実で、種類も多い。㊦犬。狗。数 1匹 ②スパイ。㊦走狗。奸细。「あの目つきの悪い男は、警察の犬だ」 俗

【犬と猿】 仲の悪いことのとたとえ。㊦水火不容。「あの2人は、けんかばかりして、まるで犬と猿だ」 似た表現 犬猿の仲

【犬も歩けば棒に当たる】 ①何かをしようとするとき災難にあうというたとえ。㊦想干点什么事情时招致灾祸。②出歩くと、意外な幸運に出会うことがあるというたとえ。㊦常出门走走能遇上好事儿。

【^{いぬ く}犬も食わない】あまりにもつまらなくて、^{あいて}相手にできない。㊥不^ふ値^ち得^{とく}理

睬。不^ふ値^ち得^{とく}過^か問^{もん}。「^{ふう ふ}夫婦げんかは^{いぬ く}犬も食わない」

い 6-86

いぬじに㊦ 【^{いぬ じ}犬死に】《名・自動～する》^{い み}意味のない、^{し かつ}むだな死に方。㊥

白^{はく}白^{はく}死^し去^き。无^む意^い義^ぎ地^ち死^し去^き。「^{わかもの}若者は、^{む ぼう}無^む謀^{ぼう}な^{せん そう}戦^{せん}争^{そう}に^か駆^かり^ださ^れて、^{いぬ じ}犬死にさ

せられた」 類^じむだ死に

い 6-87

いね㊧ 【^{いね}稲】《名》^{はる すいでん う}春に水田に植^うえ、^{あき ほ}秋に穂^ほを^{しゅうかく}収^{しゅう}穫^{かく}して^{こめ}米^{こめ}を^{くさ}と^る草。㊥

水^{すい}稻^{とう}。「^{いねか}稲刈り//^{いなほ}稲穂」 参^た他^たの^{まへ}こ^{まへ}と^ばの^{まへ}前^{まへ}につ^くと、「^{いなほ}稲穂」「^{いなさく}稲作」

な^よど^よの^よよ^よう^よに「^いいな」と^よ読^よみ^よ方^よが^よ変^よわ^よる^よこ^よと^よが^よ多^よい。

い 6-88

いねむり㊨ 【^{いねむり}居眠り】《名・自動～する》^{ねむ}すわ^{ねむ}った^{ねむ}ま^{ねむ}ま^{ねむ}眠^{ねむ}る^{ねむ}こ^{ねむ}と^{ねむ}。また、

^{なに}何^{なに}か^{なに}を^{なに}し^{なに}て^{なに}い^{なに}る^{なに}と^{なに}き^{なに}に、^{ねむ}眠^{ねむ}っ^{ねむ}て^{ねむ}し^{ねむ}ま^{ねむ}う^{ねむ}こ^{ねむ}と^{ねむ}。㊥打^た盹^た兒^た。打^た瞌^た睡^た。「^{たいくつ じゅ}退^{たい}屈^{くつ}な^{じゅ}授

^{ぎょう}業^{ぎょう}で、^{いねむ}つい^{いねむ}居^{いねむ}眠^{いねむ}り^{うんてん}を^{うんてん}し^{うんてん}た//^{いねむ}居^{いねむ}眠^{いねむ}り^{うんてん}運^{うんてん}転^{うんてん}」 類^うた^たた^たね

い 6-89

いのいちばん①・② 【いの一番】《名》いちばん最初。真っ先。㊥最先。

第一个。「徹夜で並んで、いの一番にチケットを買った」 ㊦ものの順序
を「いろは」で示したとき、「い」が最初のかなであることから。

い6-90

いのこ・る③ 【居残る】《自動五》（いのこって）ほかの人が帰った後
で、その場にいる。㊥留下没走。「放課後まで居残って、あしたの予習を
する」 ㊦居残り

い6-91

いのち① 【命】《名》①生物が生きて活動するもとなるもの。㊥生命。

命。「命を取りとめる// 命の恩人」②生きている期間。寿命。㊥寿命。

「花の命は短い// 命の限り」③いちばん大切なもの。㊥最宝贵的东西。

命根子。「エンジンは自動車の命だ// 命と頼む人」

【命の洗濯】日ごろの面倒なことを忘れて、気晴らしをすること。㊥徹底

放松。休养。「スキーに行って、命の洗濯をしてきた」 ㊦リフレッシュ

【命を縮める】早死にすること。㊥缩短寿命。过早死亡。「過労で命を縮
める」

い6-94

いのちがけ④⑤ 【命がけ・命懸け】《名》死ぬ覚悟で取り組むこと。㊤**拼命**

命。豁出性命。「川に飛びこんで、命がけで子どもを助けた」類決死・必死

い6-95

いのちからがら① 【命からがら】《副》非常に困難な中を命だけは助か

って、逃げるのがやっとだったようです。㊤**险些丧命。捡了一条命。**「空爆を

避けながら、命からがら国境を越えて逃げてきた」

い6-96

いのちづな③ 【命綱】《名》①高い所や水中などで危険な行動をする

とき、安全のために体に巻きつける綱。㊤**救生索。**「命綱で体をしばっ

て、岩場を登る」数1本 ②命や生活を存続させるためになくってはならな

いもの。㊤**生活保障。生存保障。**「学生時代は、奨学金が命綱だった」

い6-97

いのちとり③⑤ 【命取り】《名》命や社会的な地位を失うものになるも

の。㊤**致命之处。致命要害。**「首相の失言が、内閣の命取りになった」

類致命傷

い6-98

イノベーション③ 《名》 (innovation) 技術革新。④革新。新发明。

い6-99

いの・る② 【祈る】 《他動五》 (いのって) ①神や仏にお願いをする。

④祈祷。祷告。「難病が治るように神に祈る」②相手のために心から希望

する。④祝愿。希望。「ますますのご活躍をお祈りします」△名祈り

い6-100

いはい④ 【位牌】 《名》 死んだ人の戒名を書いた木の札。④灵牌。「先

祖の位牌を守る」 類霊位

い7-1

いばら④ 【茨】 《名》 ①とげのある低い木の総称。④有刺的灌木总称。

荆棘。「いばらのとげが刺さって痛い」②苦難。④苦难。磨难。「スターに

なるまで、いばらの人生を歩んできた」

い7-2

いば・る② 【いばる・威張る】《自動五》（いばって）自分のことを偉^{えら}そうに、また、強^{つよ}そうにふるまう。㊥摆架子。逞威风。「クラスでいちばん強^{つよ}いといばっている//いばり散らす」 類^{えら}偉ぶる

い7-3

いはん① 【違反】《名・自動～する》約束・規則・法律などにしたがわな^{やくそく きそく ほうりつ}いこと。㊥違反。「選挙法に違反する//スピード違反//駐車違反」 類^{はん}反する
触^ふれる

い7-4

いびき③ 【いびき〔鼾〕】《名》眠^{ねむ}っているときに、息^{いき}と一緒に口^{くち}や鼻^{はな}から出^でる音^{おと}。㊥鼾。呼嚕。「合宿で、隣^{がっしゆく となり}の人のいびきがすごくて、眠^{ねむ}れなかった//いびきをかく/打鼾。打呼嚕。」

い7-5

いびつ① 《名・形動》①物^{もの}の形^{かたち}や状態^{じょうたい}が、ゆがんだりくずれたりしていること、また、そのようす。㊥変形。压扁。「鏡^{かがみ}がいびつで、顔^{かお}がゆがんで映^{うつ}る」②正常^{せいじょう}でないこと。㊥不正常。畸形。「青少年^{せいしょうねん}の異常^{いじょう}な犯罪^{はんざい}は、いびつな社会^{しゃかい}の反映^{はんえい}だ」

い7-6

いひょうを-つく 【意表を突く】 ひと おも 人が思いもしないことをする。㊥出其不

意。「相手の意表あいて いひょうをつく作戦さくせんをとって勝った」 似た表現意表いひょうに出る

い7-7

いびりだ・す㊤ 【いびり出す】 《他動五》 (いびりだして) き 気に入らない

ひと 人を、いじめて追おいだす。㊥逼走。「上級生じょうきゅうせいは、生意気なまいきな下級生かきゅうせいを部ぶからいびりだした」

い7-8

いび・る② 《他動五》 (いびって) ^{いじわる}意地悪いやり方で、^{なが}長い間^{あいだ}いじめて

^{くる}苦しめる。㊦折磨。虐待。「^{どうきゅうせい}同級生をいびって、^{げんじゅうちゅうい}嚴重注意された」名い

びり 類いじめる. ^{ぎゃくたい}虐待する

い7-9

いひん① 【遺品】 《名》 ^し死んだ人^{ひと}が^{のこ}残した^{しなもの}品物。㊦遺物。「^{おや}親の^{いひん}遺品を^{せい}整

^り理する」類^{いぶつ}遺物. ^{かたみ}形見

い7-10

いふ① 【畏怖】 《名・他動～する》 ^{かみ}神や^{ひと}人、^{だいしぜん}大自然^{たい}に対して、その^{つよ}強さ・

^{りっぱ}立派さを^{おそ}恐れること。㊦畏惧。「^{こだいじん}古代人は、^ひ火に^{いふ}畏怖の^{ねん}念を^いいだいていた」

書

い7-11

イブ① 《名》 (eve) ^{まつ}祭りの^{ぜんじつ}前日の^{ばん}晩。㊦节日前夜。圣诞节前夜。「クリ
スマスイブ」

い7-12

いふう① 【威風】《名》^{いげん}威厳があつて、まわりの人々^{ひとびと}をしたがわせてしま

うような、堂々^{どうどう}とした^{ふんいき}雰囲気。㊥威風。威勢。「威風^{いふう}あたりを^{はら}払う/威鎮四

方^{いふうどうどう}//威風堂々」 書

い7-13

いぶかし・い④ 【いぶかしい〔訝しい〕】《形》^{へんかん}変な感じ^{うたが}がして疑わし

い。㊥奇怪。可疑。「知らない人^しに名前^{ひとなまえ}を呼ばれて、いぶかしく^{おも}思った」

名いぶかしさ 類あやしい.疑わしい.不審^{ふしん}だ

い7-14

いふく① 【衣服】《名》^{からだ}体^きに着るもの。㊥衣服。「衣服^{いふく}を着替^{きが}えてパー

ティー^でに出る」 書 類衣料.衣類

比較 衣服・衣料・衣類

3語とも人が身につける物だが、衣服はスーツ・コート・セーター・ズボンなど。下着、小物は含まない。衣料は着るものとその材料もいう。衣類は上着、下着、手袋、スカーフなど身につけるものすべてをいう。

◆式の前に衣服をととのえる/衣服の洗濯表示

◆衣料品店が開店した/衣料用漂白剤

◆衣類乾燥機を買う/冬物衣類セール

い 7-15

いぶくろ② 【胃袋】《名》「胃」のくだけた言い方。㊥（口语）胃。「胃

ぶくろ おお 袋が大きいのか、よく食^たべるね」

い 7-16

いぶ・す② 【いぶす〔燻す〕】《他動五》（いぶして）①炎^{ほのお}を出さない

で、煙^{けむり}が多く出るように燃^もやす。㊥（烟）熏。「魚^{さかな}をいぶして、くん製^{せい}に

する」②硫黄^{いおう}を燃^もやして、そのすすで銀^{ぎん}や銅^{どう}などの金属^{きんぞく}の表面^{ひょうめん}を黒^{くろ}くす

る。㊥（用硫磺）熏黒。「銀細工^{ぎんざいく}の表面^{ひょうめん}をいぶして黒^{くろ}くする」 自動いぶる

い 7-17

いぶつ①① 【異物】《名》外^{そと}から入^{はい}ってきて、中^{なか}のものと合^あわない変^{へん}な

もの。㊥异物。「異物^{いぶつ}が混入^{こんにゅう}する」

い 7-18

いぶつ①① 【遺物】《名》①むかし使^{つか}われていて、現在^{げんざい}も残^{のこ}っている

品物^{しなもの}。㊥古物^{こぶつ}。遺物^{いぶつ}。「漢代^{かんだい}の墓^{はか}から古代^{こだい}の遺物^{いぶつ}が出土^{しゅつど}した」②時代遅れ^{じだいおく}

のもの。㊥遺物（比喻陈旧落后）。「CDが聞^きけない車^{くるま}など、前世紀^{ぜんせい}の遺物^{いぶつ}だ」

い 7-19

イブニング① 《名》 (evening) ①夕方。晩。㊥傍晚。黄昏。②「イブニングドレス (evening dress)」の略。㊥妇女的夜礼服。「晩さん会に、イブニングを着て行く」

い 7-20

いぶんか② 【異文化】 《名》 考え方・言語・習慣など、自分が親しんできた文化とは違う文化。㊥异文化。不同的文化。「異文化理解//異文化交流」

い 7-21

いぶんし② 【異分子】 《名》 ある団体やグループの中で、ほかの人とは思わなかった。考え方・行動などが違う人。㊥异己分子。「政界で一匹狼の異分子だ」 ㊥異端者

い 7-22

いへん① 【異変】 《名》 ふつうとは違う異常なできごと。㊥异常情况。「暖冬異変」 ㊥変事

い 7-23

イベント① 《名》 (event) 催し。できごと。㊥文娛活動。

い7-24

いぼ① 【いぼ〔疣〕】《名》皮膚の表面に、まるく、小さく突き出たもの。㊥癩子。疣。「足のいぼをけずる」

い7-25

いほう② 【違法】《名》法律に反すること。㊥违法。「違法建築//違法

ちゆうしゃ 駐車 ㊥対合法.適法 ㊥類不法.脱法

い7-26

いま② 【居間】《名》家の中の家族がふだん集まる部屋。㊥起居室。㊥数

いっしつひとま 1室.1間 ㊥対客間 ㊥類茶の間.リビングルーム

い7-27

いま① 【今】I《名》①この瞬間。現在。㊥现在。这会儿。「課長は

いま 今、電話中です」②現代。こんにち。㊥当前。如今。「今は世界中の人と

すぐに連絡がとれる//今の世」II〔いま〕《副》①ごく近い未来を表す。

もうすぐ。すぐに。㊥马上。就要。「いま行くから、待ってて」②ごく近い

過去を表す。さっき。すこし前。㊥刚才。刚。「いま食事をしたところ

だ」③さらに。そのうえに。㊥再。更。「いましばらくお待ちください」

【今を時めく】^{いま とき} 現在世^{げんざい}の中^{なか}でもてはやされている。㊥正走红。显赫一时。

「今^{いま}をときめく天才^{てんさい}ピアニスト」

い7-29

いまいまし・い㊦ 【いまいましい・忌ま忌ましい】《形》^{くや}悔しくて、^{はら}腹立
^{かん}たしく感じる。㊥可恨。可恶。「引き出しの隅^{すみ}の硬貨^{こうか}まで盗^{ぬす}んでいくとは、

いまいましい泥棒^{どろぼう}だ」 名いまいましさ 類業腹^{ごうはら}だ

い7-30

いまごろ㊧ 【今ごろ・今頃】《名》①今^{いま}の時間^{じかん}、今^{いま}の季節^{きせつ}と同じころ。㊥
这个时间。这个时候。「毎年今^{まいとし}ごろは、台風^{たいふう}が^{おお}多い」②非難^{ひなん}したり、意外^{いがい}な

という気持ち^{きもち}で、いまさら。この時期^{じき}になって。㊥这般时候。如今。「大雪^{おおゆき}
が降^ふっているのに、今^{いま}ごろどこへ行くんだ」 △類今^{いま}じぶん。今^{いま}どき

い7-31

いまさら㊨㊩ 【いまさら・今更】《副》①今^{いま}となつては遅^{おそ}すぎるようす。

㊥事到如今。事已至此。「引き受^ひけた以上^{いじょう}、いまさら断^{ことわ}れない」②改^{あらた}め

て。㊥重新。再。「いまさら言^いうまでもないが、何^{なに}をするにも健康^{けんこう}が第一^{だいいち}
だ」

い7-32

いまし・める④ 【戒める】《他動一》①目下めしたの人ひとにまちがいを起こさないように、前まえもって教える。Ⓜ警告。告誡。「酒さけを飲のんだら決けつして運うんてん転するなと、部ぶ下かをいましめた」 類るいさとす ②同おなじまちがいをしないように、こらしめる。Ⓜ惩戒。教训。「生徒せいとの遅ち刻こくを厳きびしくいましめる」 類るいこらしめる
△名いまし戒め

い7-33

いますこし④ 【今少し】《副》もうすこし。Ⓜ再稍微。「今いますこし時じ間かんがあれば、完かん成せいするのだが」

い7-34

いまだ④ 【いまだ〔未だ〕】《副》「まだ」のすこし改あらたまった言いい方かた。
Ⓜ还没有。尚未。「全ぜん集しゅうはいまだ完かん結けつしていない」 書

い7-35

いまだかつて④ 【いまだかつて〔未だ嘗て〕】《副》（後あとに否ひてい定ごの語ごがきて）今いままでに一いち度ども～ない。Ⓜ前ぜん所ぼつ未じ有こ。「原げん発ぼつ事じ故こは、いまだかつてな
い大だい惨さん事じとなった」 書

い 7-36

いまだに① 【いまだに〔未だに〕】《副》前と同じ状態が今も続いているようす。今もって。㊥仍然。还。「一郎の世界記録はいまだに破られていない」 類^{いま}今なお

い 7-37

いまだき① 【今どき・今時】《名》①今の時代。最近。㊥现在。现今。「こんな純粋な人は、今どきどこをさがしてもいない」 ②こんな時間に。

今になって。㊥这般时候。如今。「今どき だれから電話だろう」 △類^{いま}今じぶん

い 7-38

いまだに① 【いまだに・今に】《副》いつかははっきりしないが、近い将来。㊥总有一天。早晚。「大気汚染が進めば、いまだに人の健康に影響が出るのは確実だ」 類^{かくじつ}やがて

い 7-39

いまだにも① 【いまだにも・今にも】《副》もうすこしで、ある状態が実現するだろうと思われるようす。㊥马上。眼看着。「今にも泣きだしそうな顔」 類^{かお}まもなく.もうすぐ

い7-40

いま-ひとつ④ 【いま一つ [今一つ]】《連語》すこし足りないようす。

また、すこし加えるようす。もうすこし。㊦差一点儿。略为欠缺。「きれい

な絵だが、いま一つ迫力が無い」

い7-41

いまふう① 【今風】《名・形動》生活する上の様式などが、現代の流行

にかなっていること。また、そのようす。現代風。㊦現代派。时尚。「祖母

は今風の人で、スマホを駆使して情報を集めている//今風に装う」対古

ふう むかしふう
風. 昔風

い7-42

いまや① 【今や】《副》今は以前とは違うということを、強めて言うよう

す。今では。㊦如今。今天。「今や宇宙旅行も夢ではなくなった」書

【今や遅しと】早くそのときが来ないかと、待ちかまえているようす。㊦迫

不及待。望眼欲穿。「両親の到着を、今や遅しと待つ」書

い7-44

いまわし・い④ 【忌まわしい】《形》^{ふきつ かん}不吉な感じがして、とてもいやだ。

Ⓜ可憎。令人厌恶。「^{ひと ころ あ}人が殺し合う^{せんそう}いまわしい戦争は、もういやだ」名忌まわしさ

い7-45

いみ① 【意味】《名・自他動～する》①ことば・^{きごう こうどう}記号・行動などが^{あらわ}表している内容。Ⓜ意思。含义。「^{じしょ}辞書でことばの^{い み しら}意味を調べる」類意義 ②

^{ひょうげん}表現されたものの^{うら}裏にある^{じじょう}事情・わけ。Ⓜ意图。含意。「^{なみだ い み さつ}涙の意味を察する」③ものごとの^{かち いぎ}価値・意義。Ⓜ意义。价值。「^{あいて ひなん}相手を非難するだけでは、^{はな あ い み}話し合いの意味がない」

い7-46

いみあい⑩ 【意味合い】《名》^{どうき りゆう はいけい}動機・理由の背景にある^{じじょう}事情。Ⓜ含义。意义。「^{がいこう じゅうし}外交を重視するという^{い み あ}意味合いで、^{だいじん はけん}大臣を派遣した」

い7-47

いみきら・う①⑩ 【忌み嫌う】《他動五》(いみきらって)ひどくいやがる。Ⓜ厌恶。忌讳。「『^し四』は^し死につながると言^いって、^{い きら ひと}忌み嫌う人がいる」

い7-48

いみことば③ 【忌みことば〔忌み詞〕】 《名》縁起が悪かったり、不吉だ
ったりして、使うのを避けることば。「死ぬ」「終わる」や、結婚式での
「去る」「切る」「帰る」など。㊤忌讳的词。忌讳的话。

い7-49

いみじくも③ 《副》表現が上手で適切であるようす。㊤（表达得）恰如
其分。「リンカーンがいみじくも言ったように、人の上には人はない」書

い7-50

いみしんちょう① ①・② 【意味深長】 《形動》表面には表れていない
が、奥に深い意味があるようす。㊤意味深长。耐人寻味。「刑事は、『犯人
はきみじゃないね』と、意味深長な笑みを浮かべた」

い7-51

いみん② 【移民】 《名・自動～する》生活のために自分の国を出て、他国
に合法的に移り住むこと。また、その人たち。㊤移居。移民。

い7-52

イメージ②① 《名・他動～する》 (image) ① 心こころの中なかに思おもい浮うかべる

姿すがた・形かたち・情景じょうけいなど。㊦**形象。意象。** 類しんしょう心象 ② 姿すがたや形かたちから受うける印いん

象しょう。㊦**印象。**

い 7-53

イメージアップ⑤ 《名・自動～する》 (和製英語image+up) 今いままでの印いん

象しょうや評ひょう判ばんが、さらによくよくなること。㊦**提高声誉。改善印象。** 「通つう勤きん着ぎをジ

ーンズから、スきーツにが着替かえてイメージアップをはかる」 対たいイメージダウン

い 7-54

イメージダウン⑤ 《名・自動～する》 (和製英語image+down) 今いままでよ

かつた印いん象しょうや評ひょう判ばんが、悪わるくなること。㊦**降低声誉。败坏形象。** 「殺きつ人じん事じ件けん

が起おこって、観かん光こう地ちもイメージダウンした」 対たいイメージアップ

い 7-55

イメージチェンジ⑤ 《名・自他動～する》 (和製英語image+change) 評ひょう

価かをよくしようとして、形かたち・やり方かた・見みかけなどがすかっきり変かわること。

また、^か変えること。イメチェン。㊤**改变形象**。「社名をローマ字に^じ変えて、

^{いまふう}今風にイメージチェンジする」

い 7-56

いも㊲【芋】《名》^ね根や^{ちちゅう}地中の^{くき}茎に、^{たくわ}でんぷんを^{おお}蓄えて大きくなった^や野

^{さい}菜。サツマイモは^ね根が、ジャガイモ・サトイモは^{ちちゅう}地中の^{くき}茎が大きくなった

もの。㊤**薯类**。「^{はたけ}畑で^{いも}芋を^ほ掘る//^や焼き^{いも}芋」

【芋を洗うよう】^{いも}狭い^{あら}場所で、^{せま}おおぜいの^{ぼしよ}人が^{ひと}こみあっているようす。㊤**拥**

挤不堪。摩肩擦背。「^{かいすいよくじょう}海水浴場は、^{いも}芋を^{あら}洗うようにこんでいた」似た表

現^{いも}芋の子を^{あら}洗うよう

い 7-58

いもうと㊴【妹】《名》^{としした}年下の、^{おんな}女の^{きょうだい}きょうだい。また、^{おとうと}弟の^{つま}妻、^じ自

^{ぶん}分の^{はいぐうしゃ}配偶者の^{としした}年下の^{おんな}女^{きょうだい}きょうだい。㊤**妹妹。小姑。小姨。弟妹**。対^{あね}姉、^{おとうと}弟

い 7-59

いもん㊶【慰問】《名・他動～する》^{びょうき}病気や^{さいがい}災害で^{こま}困っている人、^{ひと}ま

た、^{くろう}苦勞している^{ひと}人を、^{みま}見舞って^{はげ}励ますこと。㊤**慰问**。「^{かしゅ}歌手が^{ひさいち}被災地を^い慰

^{もん}問した」

い7-60

いや② 【いや・嫌〔厭〕】《形動》^{きら}嫌いなようす。したくないようす。㊥

讨厌。不喜欢。「^{ある}歩くのは、もういやだ//^{いろ}いやな色」

い7-61

いや① 【いや〔否〕】 I 《接続》^{じぶん}自分の^い言いかけたことがらを^{ひてい}否定して、

^いすぐ^{なお}言い直すときに^{つか}使う。いいや。㊥不。岂止。「この^{じぎょう}事業は^{にほん}日本のた

め、いや、^{せかい}世界のために^{やく}役に^た立つ」^類いな II 《感》^{あいて}相手の^{たい}ことばに^{たい}対し

て、^{ひてい}否定や^{しょうち}承知しない^{きも}気持ちを^{あらわ}表すときに^{はっ}発する。㊥不。不对。「いや、

それでは^{こま}困る」^対はい

い7-62

いやいや 【いやいや・嫌嫌・嫌々】 I ④ 《名》^{にゅうようじ}乳幼児が^{あたま}いやがって^{あたま}頭を

ふること。㊥摇头（表示不情愿）。「『こっちへおいで』と^い言ったら、^{あか}赤ん

^{ぼう}坊はいやいやをした」 II ⑤ 《副》^{おも}いやだと思いながら。㊥不得已。勉强。

「^{おや}親に^{へや}しかられて、^{そうじ}いやいや^{そうじ}部屋の掃除をする」^類しぶしぶ

い7-63

いや-おう-なし-に 【いやおうなしに〔否^{いな}〕応^{おう}無しに〕】《連語》相手の意^{あいて}の意^い

向^{こう}を無^む視^しして、無^む理^りやりに。㊥不管^ふ愿^{えん}意^い不^ふ愿^{えん}意^い。不^ふ容^{よう}分^{ぶん}辯^{べん}。「否^{いな}応^{おう}なしに、

委^い員^{いん}長^{ちょう}にさせられた」

い 7-64

いやがらせ① 【嫌^{きら}がらせ】《名》わざと人^{ひと}のいやがることをして、困^{こま}らせ

ること。また、そのことばや行^{こう}動^{どう}。㊥故^こ意^い令^{れい}人^{にん}讨^{たう}厌^{えん}或^わ不^ふ痛^{つう}快^{かい}（的^{てき}言^{げん}行^{ぎやう}）。

「無^む言^{ごん}のいやがらせ電^{でん}話^わ//性^{せい}的^{てき}のいやがらせ」

い 7-65

いやが・る③ 【嫌^{きら}がる】《他動五》（いやがって）いやだと思^{おも}う。㊥讨^{たう}

厌^{えん}。不^ふ愿^{えん}意^い。「子^こどもは注^{ちゅう}射^{しゃ}をいやがって、泣^ないた」類^{きら}嫌^{えん}う

い 7-66

いやく① 【医^い薬^{やく}】《名》①病^{びょう}気^きやけがの治^{ちりょう}療^{りょう}に使^{つか}う薬^{くすり}。㊥医^い药^{やく}。药^{やく}

品^{ひん}。②医^い療^{りょう}と薬^{くすり}。㊥医^い疗^{りょう}和^わ药^{やく}剂^{ぎょう}。「医^い薬^{やく}分^{ぶん}業^{ぎょう}」

い 7-67

いやく② 【違^い約^{やく}】《名・自動～する》約^{やく}束^{そく}や契^{けい}約^{やく}に反^{はん}すること。㊥违^い约^{やく}。

失^{しつ}约^{やく}。「売^{ばい}買^{ばい}契^{けい}約^{やく}に違^い約^{やく}する//違^い約^{やく}金^{きん}」類^は破^{やく}約^{やく}

い7-68

いやく① 【意識】 《名・他動～する》1語1語にこだわらないで、原文の大まかな意味をとって訳すこと。㊦意译。「『new year's present』を意識すると『お年玉』になる」
対直訳.逐語訳

い7-069

いやくひん① 【医薬品】 《名》病気やけがを治す薬品。㊦药品。

い7-70

いやし・い③① 【卑しい】 《形》①身分や地位が低い。㊦卑贱。低微。

「江戸時代には、商人はいやしい身分とされた」
対 貴い ②欲望をおさえず表し、下品である。㊦卑鄙。「不正なやり方で金を取るのは、いやしい行為だ」
対 尊い △名 卑しさ

い7-71

いやし・める④ 【卑しめる】 《他動一》相手を軽蔑する。見下す。㊦軽蔑。蔑視。「貧しい人をいやしめてはいけない」
類 侮る.さげすむ.ばかにする

い7-72

いや・す② 【いやす・癒す】《他動五》（いやして）^{びょうき} 病気・けが・

^{せいしんてき} 精神的な^{くる} 苦しみなどを^{なお} 治す。④治療。医治。「温泉で^{おんせん} 疲れを^{つか} いやす」^{いや} 名癒し 書

い7-73

いや-で-も-おう-で-も 【いやでも応でも】《連語》^{しょうち} 承知しようがしまいが。④^{おう} 不管^{おう} 愿意^{きょうじゅう} 不愿意。「いやでも^{おう} 応でも、^{きょうじゅう} 今日中にやってもらいたい」

^{おう} 似た表現^{おう} いやが^{おう} 応でも^{おう} いやも^{おう} 応もなく

い7-74

いやに② 《副》いつもとは^{ちが} 違っていて、^{へん} 変な^{かん} 感じがするようす。④^{まこと} 真。特^な 別。「きょうはいやにやさしいけど、^な 何かあったの？」^な 類^な やけに^な ばかに。

^{みょう} 妙に

い7-75

イヤホン②③ 《名》（earphone）^{おと} 音が^{そと} 外にもれないように、^{みみ} 耳に^き 差しこんで^き 聞く^{どうぐ} 道具。④^{みみ} 耳机。^な 類^な ヘッドホン

い7-76

いやみ③④ 【嫌味〔厭味〕】 《名・形動》 相手をいやな気分あいて きぶんにさせるこ

と。また、そのような態度たいどやことば。㊥让人讨厌。令人不快（的言行或态

度）。「早退そうたいしたいという、早退そうたいできる人ひとはいいねと、課長かちょうにいやみを

言われた」 類あてつけ.いやがらせ

い7-77

いやらし・い④ 《形》 ①いやな感じかんである。㊥令人讨厌。「部長ぶちょうはいつ

も社長しゃちょうにぺこぺこして、いやらしい」 ②性的せいてきに下品げひんである。㊥下流。

「女性じよせいをいやらしい目つきめつきで見る」 △名いやらしさ

い7-78

イヤリング① 《名》 (earring) 耳飾みみかざり。㊥耳環。耳飾。数いっつい1対.1組 類

ピアス

い7-79

いよいよ② 【いよいよ〔愈〕】 《副》 ①今いままでよりも、程度ていどがいっそう強つよ

くなるようす。㊥更加。越发。「台風たいふうが近づき、風かぜがいよいよ強つよくなった」

類ますます ②予想よそうしていたことが、もうすぐ実現じつげんしそうなようす。㊥即

将。就要。「就職しゅうしょくが決まり、いよいよ春はるから社会人しゃかいじんだ」 類ついに.とうと

う

比較 いよいよ・ますます

2語とも程度が高まっていくようすを表すが、いよいよは期待どおりにの気持ちがある。ますますはプラス・マイナス両方に使われ、価値判断のない文では使えない。

- ◆連続ドラマはいよいよおもしろくなってきた/病状はいよいよ悪化した
- ◆体重がますます増えてきた/老いてますます盛んだ

い 7-80

いよう① 【異様】《形動》ふつうと違^{ちが}って、変^{へん}なようす。㊥异^い样^{よう}。奇^き怪^{かい}。

「警察官^{けいさつかん}が出入^{でい}りして異^い样^{よう}な雰^{ふん}囲^い気^きだ」 名^い異^{よう}样^さ 類^き奇^み妙^{よう}・奇^き怪^{かい}・奇^き異^い

い 7-81

いよく① 【意欲】《名》ものごとを進^{すす}んでしようとする気^き持^もち。㊥干^{かん}劲^{きん}。

积^い极^{よく}性^{せい}。「意^い欲^{よく}を燃^もやす//意^い欲^{よく}を失^うす//創^{そう}作^{さく}意^い欲^{よく}」

い 7-82

いよくてき① 【意欲的】《形動》積^せ極^き的^{てき}で意^い欲^{よく}があるようす。㊥积^い极^{よく}主^{しゅ}

动^{どう}。「新^{しん}事^じ業^{ぎょう}に意^い欲^{よく}的^{てき}に取^とり組^くむ//意^い欲^{よく}的^{てき}な企^き画^{かく}」

い 7-83

いらい① 【以来】《名》そのときから、ずつと今^{いま}まで。㊥以^い来^{らい}。「来^{らい}日^{にち}以^い

来^{らい}、東^{とう}京^{きょう}に住^すんでいる」

い 7-84

いらい① 【依頼】 《名・他動～する》ものごとをしてくれるように、人に頼むこと。④**依頼**。依靠。「講演の依頼を引き受ける」

い 7-85

いらいら①① 【いらいら〔苛"苛"〕】 《名・副・自動～する》いらだつこと。また、そのようす。④**急躁**。烦躁。「学生の返事が遅いので、教師はいらいらして待っている」 類 むしゃくしゃ 参 アクセントは名詞は①、副詞・する動詞は①。

い 7-86

イラスト① 《名》「イラストレーション (illustration)」の略。説明用の絵・写真・図など。④**插图**。類 挿し絵

い 7-87

いらだたし・い⑤ 【いらだたしい〔苛"立たしい"〕】 《形》思いどおりにならないので、あせっていらいらする感じだ。④**感到急躁**。令人烦躁。「ビザがなかなか下りないのが、いらだたしい」 名 いらだたしさ

い 7-88

いらだ・つ③ 【いらだつ〔苛立つ〕】《自動五》（いらだって）ものごと

が思いどおりにならなくて、^{きげん}機嫌が^{わる}悪くて^{おこ}怒りっぽくなる。㊤焦躁。着急。

「^{じゅうたい}渋滞にはまって、^{ちこく}遅刻しそうでいらだっている」名いらだち類いらいら
する

い 7-89

いらっしゃい④ I 《自動五》「いらっしゃる」の命令形。㊤来。去。「今

^ど度の^{にちようび}日曜日に^{あそ}遊びにいらっしゃい」II 《挨拶語》「いらっしゃいました」の

^{りやく}略。人^{ひと}が^き来たのを^{むか}迎えて^い言うことば。㊤欢迎。「いらっしゃい。お待ちし
てました//いらっしゃいませ」

い 7-90

いらっしゃ・る④ （いらっしゃって）I 《自動五》「行く」「来る」「い

る」の^{そんけい}尊敬語。㊤「行く」「来る」「いる」的尊敬語。「どちらへいらっし

やるんですか//^{せんせい}先生はまだ、^{がっこう}学校にいらっしゃいます」II 《補動》①（「～

ていらっしゃる」の^{かたち}形で）「～ている」「～ていく」「～てくる」の^{そんけい}尊敬

した^い言^{かた}い方。㊤「～ている」「～ていく」「～てくる」的敬語表达方式。

「^{かえ}帰っていらっしゃった//くつろいでいらっしゃる」②（「～でいらっしゃ

る」の形かたちで) 「～だ」 「～です」の尊敬そんけいした言い方。㊥ 「～だ」 「～です」的敬语表达方式。「お元げんき気でいらっしやいますね」

い 7-91

いり㊦ 【入り】《名》①入ること。㊥入。进入。「今夜こんやは客きやくの入りいが

い//政界せいがい入り」②中なかに入はいっていること。また、入はいる分量ぶんりょう。㊥装入。加入。

「2リットル入りの瓶」③曆こよみで、ある期間きかんの始はじまり。㊥开始。入…。「彼岸ひがん

の入り//梅雨つゆ入り」対明あけ ④収しゅう入にゅう。㊥收入。「入りのいい仕事しごとをさが

す//実み入り」⑤太陽たいようや月つきが沈しずむこと。㊥落。没。「日ひの入いり」対出で

い 7-92

いりぐち㊦ 【入り口】《名》建物たてものなどの中なかへ入はいる所ところ。㊥门口。入口。対

でぐち
出口

い 7-93

いりく・む㊦ 【入り組む】《自動五》(いりくんで) ものごとが複雑ふくざつにか

らんでいる。㊥错综复杂。互相纠缠。「話はなしが入り組いんで、わかりにくい」

類込こみいる

い 7-94

いりひ④ 【入り日】《名》夕方、西に沈もうとしている太陽。㊥落日。

「山々が入り日に染まって美しい」 類 夕日.落日

い 7-95

いりびた・る④ 【入り浸る】《自動五》(いりびたって)よその家や特定

の場所に、い続ける。また、しよっちゅう通う。㊥泡在。長期逗留。「仕事

もせず、漫画喫茶に入り浸っている」 名 入り浸り

い 7-96

いりみだ・れる⑤ 【入り乱れる】(自動一)多くのおおのものがまざりあって、

混乱する。㊥混雑。掺杂。「情報が入り乱れる」

い 7-97

いりよう④ 【入り用】《名・形動》目的があって、品物やお金が必要であ

ること。㊥需要。必需。「渡航に入り用な品を準備する」 類 入用.入費

い 7-98

いりよう① 【衣料】《名》着たり、はいたりする物。また、その材料。

㊥衣物。衣料。「冬物の衣料//衣料品」 類 衣服.衣類⇒比較欄

い 7-99

いりょう ①② 【医療】 《名》 病^{びょう}気^きやけが^なを治^{なお}すこと。㊤医療。治療。

「医療^{いりょう}機^き関^{かん}//医療^{いりょう}費^ひ」 類^{ちりょう}治療

い7-100

いりよく ① 【威力】 《名》 他^たを^した^がわ^せる^よう^な強^{つよ}い^ちか^らら。㊤威力。

「威^い力^{りよく}を^はっ^きする//威^い力^{りよく}が^ある//自^し然^{ぜん}の^いり^{よく}威^い力^{りよく}」

い8-1

い・る ② 【入る】 (いって) I 《自動五》 ①はいる。㊤入。进入。

「十^{じゅう}分^{ぶん}実^みが^い入^いった^いイ^いネ^いを^しゆ^しう^かく^する//佳^か境^{きょう}に^いる」 ②隠^{かく}れる。㊤没^{もく}入^{にゅう}。

落^{らく}。「山^{やま}に^いる^い夕^{ゆう}日^ひ」 ③到^{とう}着^{ちやく}する。㊤到^{たう}達^{たつ}。抵^{てい}達^{たつ}。「京^{きょう}に^いる」 II 【-入

る】 《接尾》 (動^{どう}詞^しの^{れん}用^{よう}形^{けい}に^つい^て、五^ご段^{だん}動^{どう}詞^しを^つく^る) す^っか^り～^す

る。㊤深^お深^そ(^い地^ち)。完^ね全^い(^い地^ち)。「恐^おれ^そ入^いる/真^ま对^{たい}不^ふ起^き//寝^ね入^いる/睡^す得^{とく}好^{こう}//恥^は

じ入^いる/深^い感^{かん}羞^{しゆう}愧^{けい}」

い8-2

い・る ② 【要る・いる】 《自動五》 (いって) 必^{ひつ}要^{よう}である。㊤要。需要。

「校^{こう}正^{せい}は、根^{こん}気^きと注^{ちゆう}意^い力^{りよく}が^いる^い仕^し事^{ごと}だ」 類^{にゆう}入^{りゆう}用^{よう}だ。要^{よう}する

い 8-3

い・る① 【いる・居る】 I 《自動一》 人^{ひと}や動物^{どうぶつ}がある場所^{ばしょ}にとどまる。㊥

在。有。 「きのうは一日中家^{いちにちじゅういえ}にいた」 II 《補動》 （「～ている」^{かたち}の形で）

動作^{どうさ}や状態^{じょうたい}が続^{つづ}いていることを表^{あらわ}す。㊥…着。在…。 「ドア^あが開^あいている

//赤^{あか}ん坊^{ぼう}が眠^{ねむ}っている」

【居^いても立^たってもいられない】 心配^{しんぱい}や期待^{きたい}で気持^{きもち}ちが落^おちつかなくて、じっ

としていられない。㊥坐立不安^{ざうりつふあん}。 「合格^{ごうかく}発表^{はつぴよう}を待^まちながら、い^たても立^たっ

てもいられない気持^{きもち}ちだ」

い 8-5

い・る① 【いる・煎^ある [炒^ある]】 《他動五》 （いって）火^ひにかけて水分^{すいぶん}が

なくなるまで、こげないように熱^{ねつ}する。㊥炒^あ。 「ゴマ^{まめ}をい^る//豆^{まめ}をい^る」

い 8-6

い・る① 【射^やる】 《他動一》 ①弓^{ゆみ}で矢^やを放^{はな}つ。㊥射^や。射^や箭^み。 「矢^やは、見^み事^{ごと}

に的^{まと}を射^いた」 ②矢^やの勢^{いきお}いのよう^に、鋭^{するど}く当^あてる。また、強^{つよ}く光^{ひかり}を照^てら

す。㊥射^や。照^{しやう}射^{しゃ}。 「鋭^{するど}いまなざしで人^{ひと}の心^{こころ}を射^いる」

い 8-7

いるい① 【衣類】 《名》 着^きたりはいたりする物。㊥衣物。衣服。 「冬物^{ふゆもの}と

夏物^{なつもの}の衣類^{いるい}の入れ替^いえをする」 類^い衣服^か.衣料^{いふく} ⇒ 比較欄^{いりょう ひかくらん}

い 8-8

いるす②② 【居留守】 《名》 家^{いえ}にいるのに、いないふりをすること。㊥假

装不在^あ（家^{ひと}）。 「会^いいたくない人^{いるす}には居留守^{つか}を使う」

い 8-9

イルミネーション④ 【名】 (illumination) 電球^{でんきゅう}やネオンで建物^{たてもの}や木^きを

飾^{かざ}ること。また、飾^{かざ}る電球^{でんきゅう}など。㊥灯饰。彩灯。

い 8-10

いれい① 【異例】 《名》 今^{いま}までに例^{れい}がない、特別^{とくべつ}なこと。㊥特例。 「洋子^{ようこ}

は異例^{いれい}の昇進^{しょうしん}で、重役^{じゅうやく}になった」

い 8-11

いれい① 【慰霊】 《名・他動～する》死^しんだ人^{ひと}の霊^{れい}をなぐさめること。㊥

祭奠。 「8月6日^{がつむいか}と9日^{ここのか}は、原爆犠牲者^{げんぱくぎせいしゃ}の慰霊^{いれい}の日^ひだ//慰霊碑^{いれいひ}//慰霊祭^{いれいさい}」

い 8-12

いれか・える④③ 【入れ替える】《他動一》①今まであった物や人を出し

て、新しくほかの物や人を入れる。㊦換。更換。「映画の上映ごとに、観

客を入れかえる//心を入れかえる」②入れる場所や容器を替える。㊦換。

倒換。「本棚の、雑誌とCDの位置を入れかえる」△名入れ替え 自動入れ替

わる

い 8-13

いれかわり-たちかわり① 【入れ替わり立ち替わり】《副・自動～する》

多くのおの人が、つぎつぎに出たり入ったりするようす。㊦出出進進。人流不

断。「事故現場に、報道関係者が入れかわり立ちかわり取材に来る」

い 8-14

いれかわ・る④ 【入れ替わる】《自動五》(いれかわって)今まであった

物や人に替わって、ほかの物や人が入る。㊦替換。调换。「内閣改造で半数

の大臣が入れ替わった」名入れ替わり 他動入れ替える

い 8-15

いれずみ① 【入れ墨】《名》肌に針などで絵や文字を彫り、そこに黒や

赤、青などの色を入れること。また、彫ったもの。㊦刺青。文身。「背中に

竜の入れ墨をする」

い 8-16

いれぢえ① 【入れ知恵】 《名・自動～する》あまりよくない考えや、やり方をそっと教えること。また、その考えややり方。㊦教唆。出坏主意。

「悪友の入れ知恵で、みんなで学校をさぼった」 類 さしがね

い 8-17

いれば① 【入れ歯】 《名・自動～する》抜けた歯の代わりに、人工の歯を入れること。また、その歯。㊦假牙。「入れ歯で、固い物がかめない」 類

義歯

い 8-18

いれもの① 【入れ物 [容れ物]】 《名》物を入れるための物。㊦容器。器皿。「瓶の入れ物に、ジャムを入れる」 類 器.容器

い 8-19

い・れる① 【入れる】 《他動一》①外から中へ移す。㊦让…进来。放入。

「手紙をポストに入れる」②特定の場所に収める。㊦存放。「パソコンにデ

ータを入れる// 車を車庫に入れる」△出す③新しく中に加える。㊦

加入。「コーヒーにミルクを入れる」④含める。㊦包含。計算进去。「税金

を入れて 5250円払った」**対除く** ⑤相手の立場や意見などを認める。Ⓜ采

納。听取。「他人の忠告を入れる//要求を入れる」⑥動作や作用を与える

る。Ⓜ添加。施加。「原稿に筆を入れる」⑦機械が動くようにする。Ⓜ开

启。启动。「電源を入れる//冷房を入れる」**対切る** ⑧注意を集中す

る。Ⓜ注入。集中。「気合を入れる//練習に力を入れる」△**自動**入る

い 8-20

いろ② 【色】《名》①目に受ける赤・青・黄などの感じ。Ⓜ颜色。「虹に

は、7つの色がある//色鉛筆」②人間の肌や顔の感じ。Ⓜ肤色。「日に焼け

て色が黒くなった」③気持ちの変化による、顔や表情のようす。Ⓜ脸色。

神色。「あせりの色が出る」④それらしく感じられるようす。気配。Ⓜ样

子。迹象。「秋の色が深まる」⑤男女の仲。Ⓜ男女关系。情色。「色におぼ

れる」

【色を失う】驚き・恐れなどのために、顔色が青白くなる。Ⓜ大惊失色。

惊慌失色。「書類を電車で忘れたと気づいて、色を失った」**似た表現**青く

なる

い 8-22

いろあい① 【色合い】《名》①色の調子。㊥顔色。色调。「色合いがい

いセーター//渋い色合い」 類色調・トーン・色目 ②ものごとの感じ・

ほうこう 方向。㊥色彩。傾向。「政治的色彩をおびる」

い 8-23

いろあ・せる④ 【色あせる〔色褪せる〕】《自動一》①時間がたって、色

が薄くなる。㊥褪色。掉色。「色あせた写真」②新鮮さがなくなる。㊥陈

旧。不新鲜。「色あせた流行語」

い 8-24

いろいろ① 【いろいろ・色々・色々】《副・形動》種類がたくさんあるよ

うす。㊥各种各样。种种。「世の中にはいろいろな人がいて、いろいろな

かんが 考え方があある」 類さまざま

い 8-25

いろう① 【慰労】《名・他動～する》今までの努力や苦勞をなぐさめ

て、いたわること。㊥慰勞。犒勞。「社員の家族を温泉に招いて慰勞する」

類慰安 ⇒比較欄

い 8-26

いろおとこ③ 【色男】《名》女性をひきつける魅力のある男性。㊥美男子。

「あの板前さんは、役者のような色男だ」 対色女

い 8-27

いろおんな③ 【色女】《名》男性をひきつける魅力のある女性。㊥迷人的女性。有魅力的女性。

「料亭のおかみは、ほれぼれとする色女だ」 対

いろおとこ
色男

い 8-28

いろけ③ 【色け・色気】《名》①異性をひきつける性的な魅力。㊥诱惑力。魅力。

「色気が出てくる//色気づく」②ものごとに対して積極的な意

欲や関心を持つこと。㊥欲望。野心。「会長のポストに色気を見せる」 類

野心 ③おもしろみ。愛想。㊥风趣。情趣。「事務的で色気のない返事だね」

い 8-29

いろづ・く③ 【色づく・色付く】《自動五》(いろづいて) 草木の葉や実

などに、美しい色がつく。㊥变红。呈现出颜色。「カキの実が色づく」

い 8-30

いろっぽ・い④ 【色っぽい】《形》異性をひきつける魅力がある。㊥有

魅力。妩媚。「あの役者は何歳になっても色っぽい」いろ色っぽさ

い 8-31

いろつや② 【色艶】《名》^{かおいろ}顔色や^{はだ}肌の^{かがや}輝き。㊥气色。光泽。「きょうは

^{かお}顔の^{いろつや}色艶がいい//^{いろつや}色艶のいいリンゴ」

い 8-32

いろどり④④ 【彩り】《名》①^{いろ}色の^と取り^あ合わせ。㊥颜色的搭配。配色。

「いろどりのいい^{はな}花を^{えら}選んで^い生け^{ばな}花をする」はいしよく類配色 ②おもしろさや、は

なやかさを^{くわ}加えて^{へん}変化を^かつけること。㊥点缀。增添趣味。「大会の閉会式

に、^{はなび}花火がいろどりをそえた」いろど他動彩る

い 8-33

いろとりどり① 【色とりどり [色取り取り]】《名・形動》いろいろな色

や^{しゅるい}種類がまじっていること。また、そのようす。㊥五颜六色。各种各样。

「祭りでは、色とりどりの^{まつ}出し物^{いろ}が見^だられる^{もの}」

い 8-34

いろど・る③ 【彩る】《他動五》（いろどって）①ものに色をつける。㊥

上色。着色。「新緑が、山々を鮮やかにいろどっている」 ㊦彩色する ②

いろとあわせて飾る。㊥装饰。点缀。「季節の花で、テーブルをいろど

る」 ㊧名彩り

い 8-35

いろめ③④ 【色目】《名》①衣服などの色合い。㊥色调。「淡い色の着物

に、濃い色目の帯をしめる」 ②異性に関心があるような目つき。㊥秋波。

「好みの異性を見ると、色目を使う」 ㊦流し目.ウィンク

い 8-36

いろめがね③ 【色眼鏡】《名》はじめから、こうだと決めつけてものを見

ること。㊥有色眼鏡。偏見。「会議で意見を言うと、批判分子だと色めがね

で見られる」 ㊦先入観.偏見

い 8-37

いろめきた・つ⑤ 【色めき立つ】《自動五》（いろめきたって）「色め

く」を強めた言い方。㊥紧张起来。兴奋不已。「鮮やかなシュートに、観

客は色めき立った」

い 8-38

いろめ・く③ 【色めく】《自動五》（いろめいて）緊張や興奮で、急に

落ちつかなくなる。また、活気づく。㊤紧张起来。兴奋起来。「新記録を知

らせる文字盤に、大観衆は色めいた」 類色めき立つ

い 8-39

いろん① 【異論】《名》ほかの人と違う考えや議論。㊤异议。「憲法

改正案に異論を唱える」 類異議.異存⇒比較欄

い 8-40

いろんな① 【いろんな〔色んな〕】《連体》「いろいろな」のくだけた言

い方。各种。各种各样。「100円ショップには、いろいろな物がある」 話

い 8-41

いわ② 【岩】《名》その一部が地上に突き出ているような大きな石。㊤

岩石。「岩をよじ登って、頂上をめざす」 類岩石

い 8-42

いわ・う② 【祝う】《他動五》(いわって) いいことやうれしいことがあ

った喜びを、ことばや物を贈ることで表す。㊤祝。庆贺。「入学を祝う

// 出産を祝う」 名祝い

い 8-43

いわかん② 【違和感】《名》周囲と違う雰囲気で落ちつかない感じ。周

囲にとけこめない、いやな感じ。㊤不协调的感觉。别扭感。「大阪に転勤し

て、ことばや習慣の違いで、しばらくは違和感を覚えた」

い 8-44

いわくつき① 【いわくつき・いわく付き】《名》複雑な事情やよくない

評判があること。㊤情况复杂的。有问题的。「交通事故がよく起こる、い

わくつきの交差点だ」

い 8-45

いわば①② 【いわば・言わば】《副》たどえて言うならば。別のことばで

言う。㊤可以说。打比方说。「なんでも知っていて、いわば生きた字引

だ」

い 8-46

いわゆる③② 【いわゆる〔所謂〕】《連体》世の中で一般に言う。㊤所謂。一般所説。「いわゆる行政改革の結果として、定員を減らされた」書

い 8-47

いわれ① 【いわれ〔謂われ〕】《名》①そう言われる、また、そうされる理由や事情。㊤缘由。缘故。「いわれのない差別」②ものごとの始まりについての言い伝え。㊤来历。由来。「4の日に市が立ったのが四日市のいわれだ」類由来.来歴

い 8-48

いん① 【印】《名》①文書などに押して、その責任を明らかにするもの。判。はんこ。印鑑。印章。㊤印章。图章。「借用証書に印を押す//認め印」②「①」で押したしるし。㊤(盖的)章。戳儿。「保証人の印をもらう」類印影

い 8-49

いん 【-員】《接尾》その人。そこで働く人。㊤人員。「銀行員//研究員//会社員」

い 8-50

イン① (in) I 【イン】《名》「インサイド(inside)」の略。球技で球がコートの内側にあること。㊥界内。II 【イン-】《接頭》内側。中の。中に。㊥…内。…中。「インドア//インプット」△対アウト

い 8-51

いんうつ② 【陰鬱】《形動》天気や気持ちがうっとうしくて、晴れないようす。㊥陰郁。郁闷。「雪とくもりの陰鬱な毎日だ」書類暗鬱、憂鬱

い 8-52

いんえい② 【陰影】《名》①光の当たらない部分。㊥阴影。「絵に陰影をつけて立体感を出す」類影 ②深い味わいのあること。㊥韵味。「陰影に富み、味わいがある文章」類ニュアンス

い 8-53

いんが① 【因果】《名》①原因と結果。㊥原因和結果。「因果関係」②仏教で、悪い行いのむくい。㊥果報。因果报应。「因果はめぐる」類因縁 ③不幸な運命。㊥不幸。命中注定。「老父母のけんかの仲裁に、娘が出かけるとは因果なことだ」

【因果を含める】^{いんが ふく} 事情^{じじょう}を丁寧^{ていねい}に説明^{せつめい}して納得^{なっとく}させる。㊥**耐心说服。说明前**

因后果。「いやがる子どもに因果^{いんが ふく}を含めて、病院^{びょういん}へ行^いかせた」

い 8-55

いんがかんけい ㊤ 【因果関係】《名》^{げんいん けつ か}原因と結果との関係^{かんけい}。㊥**因果关系。**

「放射線被曝^{ほうしゃせん ひばく}とがんの因果関係^{いんが かんけい}を調べる^{しら}」

い 8-56

いんかん ㊤㊦ 【印鑑】《名》① ^{ぶんしょ}文書などに押^おして、その責任^{せきにん}を明^{あき}らかに

するもの。印^{いん}。「住民票^{じゅうみんひょう}をとるときは印鑑^{いんかん}が^{ひつよう}必要^{ひつよう}だ」②あらかじめ役所^{やくしょ}に

届^{とど}けてある特定^{とくてい}のはんこ。実印^{じついん}。㊥**正式印章。印鉴。**「売買^{ばいばい}の契約書^{けいやくしょ}に印鑑^{いんかん}

を^お押^おす」

い 8-57

いんかんしょうめい ㊦ 【印鑑証明】^{やくしょ}役所が、その印鑑^{いんかん}を^も持^{ひと}つ人^{ほんにん}が本人^{ほんにん}であ

ることを証明^{しょうめい}した書類^{しょるい}。㊥**印鉴证明。**「契約^{けいやく}の際^{さい}は、印鑑^{いんかん}と印鑑証明^{いんかんしょうめい}が

ひつよう
必要^{ひつよう}だ」

い 8-58

いんき④ 【陰気】《形動》①性格や雰囲気が暗い感じがするようす。④**忧郁**。

郁闷。「陰気な性格」②天候などが暗くて、しめっぽい感じがするよう

す。④**阴郁**。阴沉。「陰気な空模様」△名陰気さ 対陽気

い 8-59

いんきくさ・い⑤ 【陰気くさい・陰気臭い】《形》陰気な感じがする。④

阴暗。沉重。「病気、失業、借金、と陰気くさい話ばかりだ」

い 8-60

いんきよ④ 【隠居】《名・自動～する》勤めをやめたり、家業を子に譲

ったりして、のんびり暮らすこと。また、そういう人。④**隐居**。退休（老头

儿）。「父は、定年で**隠居**の身になった//楽**隠居**」 類**隠退**

い 8-61

いんぎんぶれい⑤ 【いんぎん無礼〔**慥慥**無礼〕】《名・形動》表面では

丁寧で礼儀正しく見えるが、実際は、相手をばかにしていること。また、そ

のようす。④**表面恭维内心瞧不起**。「敬語を多用した、いんぎん無礼な話し

かた
方」

い 8-62

インク①① 《名》(ink) 書^かいたり印刷^{いんさつ}したりするときにつか^{つか}、いろ^{いろ}のついた液体^{えきたい}。インキ。㊦墨水。油墨。

い 8-63

いんけん① 【陰険】《形動》表面^{ひょうめん}はふつうに装^{よそお}いながら、心^{こころ}の中^{なか}では悪意^{あくい}をいだいているようす。㊦陰險。 「忠実^{ちゅうじつ}そうにふるまいながら、ライバル^{がいしゃ}会社に情報^{じょうほう}を流^{なが}すとは、陰険^{いんけん}なやつだ」 名^{いんけん}陰険さ 類^{はらぐる}腹黒

い 8-64

いんご① 【隠語】《名》特定^{とくてい}の仲間^{なかま}や業界^{ぎょうかい}だけに通用^{つうよう}することば。㊦隱喻。黑话。行话。 「刑事^{けいじ}たちは、犯人^{はんじん}のことを隠語^{いんご}で、『ホシ』という」

い 8-65

インサイダー③ 《名》(insider) 組織^{そしき}の中^{なか}の人^{ひと}。内部^{ないぶ}の事情^{じじょう}に通^{つう}じた人^{ひと}。㊦局内人。知道内情的人。 「インサイダー取引^{とりひき}」 対^{たい}アウトサイダー

い 8-66

いんさつ① 【印刷】《名・他動～する》機械^{きかい}をつか^{つか}って文字^{もじ}や絵^えなどを、一度^{いちど}にたくさん刷^すること。㊦印刷。 「資料^{しりょう}を印刷^{いんさつ}する//カラー印刷^{いんさつ}」

い 8-67

いんし① 【因子】《名》ある結果を引き起こすものになるもの。㊦因子。因素。「遺伝因子」類要因.ファクター.要素

い 8-68

いんじ② 【印字】《名・他動～する》ワープロなどの機械を使って、文字や符合を打ち出すこと。また、その文字や符号。㊦打出的の字。印出的の字。

「印字が薄くて読みにくい」

い 8-69

いんしつ③ 【陰湿】《形動》暗くて、じめじめしているようす。㊦陰湿。「弱い生徒を、みんなで無視するとは、陰湿ないじめだ」名陰湿さ

い 8-70

いんしゅ④ 【飲酒】《名・自動～する》酒を飲むこと。㊦喝酒。「飲酒運転」

い 8-71

いんしゅう⑤ 【因習・因襲】《名》昔から伝えられてきたしきたりや考え方のうち、今の時代に合わないもの。㊦旧習。陋習。「男尊女卑の因習を打破する」類旧習.陋習.悪習

い 8-72

いんしょう① 【印象】 《名》 人ひとやものごとから、心こころに受うけた感かんじ。㊥印象。
象。「印象いんしょうに残のこる風ふう景けい//第一だいいち印象いんしょう」

い 8-73

いんしょうてき① 【印象的】 《形動》 強つよい印象いんしょうを与あたえるようす。㊥印象
深刻。「砂漠さばくに沈しずむ真まっ赤かな夕日ゆうひが印象いんしょう的てきだった」

い 8-74

いんしょく①④ 【飲食】 《名・自動～する》 飲のんだり食たべたりすること。
㊥飲食。吃喝。「飲いん食しょく業ぎょう//飲いん食しょく店てん」

い 8-75

インスタント①④ 《名》 (instant) 即そく席せき。㊥即席。方便。「インスタン
ト食しょく品ひん//インスタンラーメン」

い 8-76

インストラクター⑤ 《名》 (instructor) 指し導どう員いん。㊥指し導どう員いん。教きょう練れん。

い 8-77

インスピレーション⑤ 《名》 (inspiration) とつぜん わ で 突然湧き出る、すばらしい

かんが れいかん
考え。靈感。㊦灵感。㊧ひらめき

い 8-78

いんせい① 【陰性】 《名》 ①くら ②しょうきょくてき せいしつ
暗くて、消極的な性質。㊦消极。不开朗。

せいかく いんせい ひと
「性格が陰性で、人づきあいがうまくいかない」 ②びょうき けんさ はんのう
病気の検査で、反応が

あらわ
表れないこと。㊦阴性。「エイズ検査で陰性だった//陰性反応」 △㊧対陽性

い 8-79

いんぜい① 【印税】 《名》 ちよしゃ さくしか さつきよくか
著者・作詞家・作曲家などが、その著作物の

ていか はっこうぶすう おう しゅっぱんしゃ がいしゃ う と かね
定価や発行部数に応じて、出版社やレコード会社から受け取る金。㊦版

税。「CDが1枚売れるごとに定価の6パーセントの印税が入る」

い 8-80

いんせき① 【引責】 《名・自動～する》 せきにと
責任を取ること。㊦引咎。「大き

そんがい だ しゃちょう いんせき じにん
な損害を出して、社長が引責して辞任した」

い 8-81

いんぜんたる⑤ 【隠然たる】《連体》^{ひょうめん}表面には出ないが^{むし}無視できない力^{ちから}
を持っているようす。㊥不^ふ外^{がい}露^ろ的^{てき}。隐^{いん}秘^ひ的^{てき}。「前^{ぜん}総^{そう}理^りは引^{いん}退^{たい}した後^{あと}も、隠^{いん}然^{ぜん}
たる影^{えい}響^{きやう}力^{りよく}を保持^{ほじ}している」 書

い 8-82

いんそつ⑩ 【引率】《名・他動～する》おおぜいの人^{ひと}を、引^ひき連^つれて出^でか
けること。㊥带^{ちゆう}領^{がくせい}。率^{いん}領^{そつ}。「中^{ちゆう}学^{がくせい}生^{せい}を引^{いん}率^{そつ}して、国^{こっ}会^{かい}議^ぎ事^じ堂^{どう}を見^{けん}学^{がく}する」

い 8-83

インターチェンジ⑤ 《名》(interchange) ^{こうそくどうろ}高速道路の^{でい}出^い入^{ぐち}り口。インタ
ー。㊥高^{こう}速^{そく}公^{こう}路^ろ出^で入^い口^{ぐち}。

い 8-84

インターナショナル⑤ 《形動》(international) ^{こくさいてき}国際的^{こくさいかん}。国^{こく}際^{さい}間^{かん}の。㊥
国^{こく}際^{さい}。国^{こく}際^{さい}性^{せい}。「イン^{いん}ター^{たー}ナ^なシ^しョ^ょナ^なル^るス^すク^くール^る」

い 8-85

インターネット⑤ 《名》(internet) ^{ぜんせかい}全世界をつなぐ^{つうしん}コンピ^{こん}ュー^にターの
通^{つう}信^{しん}ネ^ねッ^つト^とワ^わー^く。ネ^ねッ^つト^と。㊥因^{いん}特^て网^{わう}。互^ご联^{れん}网^{わう}。「イン^{いん}ター^{たー}ネ^なッ^つト^と通^{つう}信^{しん}」

い 8-86

インターホン③ 《名》 (interphone) 受話器と送話器を兼ねた、小型の
室内電話器。㊦対讲机。

い 8-87

インターン③ 《名》 (intern) 免許を取るために職場で行う実習。ま
た、その実習生。㊦(美容) 实习制度。实习生。

い 8-88

引退① 【引退】 《名・自動～する》 仕事や役割をやめること。㊦引
退。退職。「選手生活から引退する」 類勇退

比較 引退・勇退

2語とも仕事をやめることだが、引退が期限や体力などの限界によっ
てやめるのに対して、勇退はまだ働ける余力を残したまま、自発的にや
めることをいう。

◆横綱が引退する/現役を引退する

◆後進に道をゆずるため社長を勇退する

い 8-89

インタビュー①③ 《名・自動～する》 (interview) 人に会って話を聞く
こと。㊦采访。

い 8-90

いんちき ㊦① 《名・自動～する・形動》^{ひと}人をだまそうとして、ごまかしや

^{ふせい}不正をすること。㊦**耍把戏。搞鬼。**「古米を4割もまぜて、^{こまい}古米を^{わり}4割もまぜて、^{しんまい}新米100パーセ

ントといんちきな^{ひょうじ}表示をする」俗 類いかさま.まやかし

い 8-91

インデックス ㊦③ 《名》 (index) ①^{さくいん}索引。見出し。㊦**索引。**②^{しすう}指数。指

^{ひょう}標。㊦**指数。指标。**

い 8-92

インテリ ㊦① 《名》 「インテリゲンチア (㊦intelligentisya)」の^{りやく}略。知

^{しき}識や^{きょうよう}教養があり、ものごとを自分の^{じぶん}頭で^{あたま}考^{かんが}えて^{はんだん}判断できる人。知識人。

㊦**知识分子。**「インテリ^{そう}層」

い 8-93

インテリア ㊦③ 《名》 (interior) ^{しつないそうしよく}室内装飾。㊦**室内装饰。室内装璜。**

「インテリアデザイン」類^{ないそう}内装

い 8-94

イントネーション ㊦④ 《名》 (intonation) ^{はな}話し^て手の^{かんじょう}感情や^{いと}意図を^{あらわ}表す

^{こえ}声の^あ上がり^さ下がり^{ちょうし}の調子。㊦**语调。声调。**

い 8-95

いんにく ㊦ 【印肉】《名》印を押すときに使う、朱などの色をしみこませたもの。㊦印泥。 類 しゅにく 朱肉

い 8-96

いんに-ように 【陰に陽に】あるときはめだたぬように、あるときは表だつて。㊦明里暗里。「陰に陽に支援してくれる」 類 かげ 陰になりひなたになり

い 8-97

いんねん ㊦ 【因縁】《名》① ぶつきょう 仏教で、なに お 何かが起こることのすべての

げんいん 原因。㊦ 因縁。「この家に生まれたのも ぜんせ いんねん 前世の因縁だ」 類 いん が 因果 ② まえ 前から

き 決められている かんけい 関係、つながり。㊦ 注定的联系或关系。「祖父の手放した絵

が、めぐりめぐってもどってきたのは、何かの 因縁だ」 類 うんめい しゅくめい 運命. 宿命 ③

うんめい 運命によって むす 結びつけられた かんけい 関係。㊦ 由命运而结成的关系。「大学院の指導

きょういん 教員とは、深い 因縁がある」 類 ゆかり

【因縁をつける】 困らせたり 金を取ったりすることを目的に、理屈にならな

いことを言っておどす。㊦ 找碴儿。「駅のホームで肩がふれたとあって、

因縁をつけられた」 似た表現 言いがかりをつける

い 8-99

インパクト① 《名》 (impact) 衝撃。強烈な印象。㊦冲击。强烈的印象。

い 8-100

いんぶ① 【陰部】 《名》 男女の体外にある生殖器。㊦阴部。外生殖器。

「陰部の違いが性の違いとは限らない」 類恥部. 局部

い 9-1

インフォーマル③ 《形動》 (informal) 非公式なようす。略式。㊦非正式的。簡略的。対フォーマル

い 9-2

インフォームドコンセント⑦ 《名》 (informed consent) 医師から

病状、治療方法、費用などの説明を受けて、患者が納得して同意すること。㊦ (医学) 知情同意。医疗同意书。

い 9-3

インフォメーション④ 《名》 (information) ① 情報。お知らせ。㊦情

報。通知。②案内所。受付。㊦问询处，咨询处。

い 9-4

インプット③ 《名・他動～する》 (input) ⇒ 入力 対 アウトプット

い 9-5

インフラ④ 《名》 「インフラストラクチャー (infrastructure) 」 の

略。都市生活や経済活動を支える社会資本。道路・鉄道・上下水道・電

気・ガスなどの施設。Ⓜ基礎施設。「インフラ整備」

い 9-6

インフルエンザ⑤ 《名》 (influenza) ウイルスによって起こる伝染病。

流行性感冒。流感。Ⓜ流行性感冒。流感。「鳥インフルエンザ」

い 9-7

インフレ⑥ 《名》 「インフレーション (inflation) 」 の略。物価が上が

り、お金の価値が下がる現象。Ⓜ通貨膨脹。物価上昇。対デフレ

い 9-8

いんぺい⑦ 【隠蔽】 《名・他動～する》 発見されないように、おおい隠す

こと。Ⓜ隠蔽。掩盖。「不正を隠蔽する//隠蔽工作」 書 対暴露

い 9-9

いんぼう② 【陰謀】《名》^{ひと し}人に知られないように、こっそり^た立てる^{わる}悪い

けいかく 計画。㊦**陰謀**。「陰謀を企^{いんぼう くわだ}てる//陰謀をめぐらす」類^{ぼうりやく かくさく}謀略.画策

い 9-10

いんゆ②① 【隱喩】《名》^{ひ ゆ}比喩の1つ。「~のように」「~のような」な

どのことば^{つか}を使わないで、たとえられるものと、たとえるものとを^{ちよくせつむす}直接結

びつける^{ひょうげんほう}表現法。暗喩。「鉄^{てつ いし}の意志」「氷^{こおり やいば}の刃」のような^{ひょうげん}表現。㊦**借**

喩。隱喩。対^{ちよく ゆ}直喩

い 9-11

いんよう② 【引用】《名・他動~する》他人^{た にん}の言^いったことばや文章^{ぶんしょう}を借

りてきて、自分^{じぶん}の話^{はなし}や文章^{ぶんしょう}の中^{なか}に使う^{つか}こと。㊦**引用**。「中国^{ちゅうごく}の古典^{こてん}から

^{いんよう}引用する//^{いんようぶん}引用文」

い 9-12

いんりょう③ 【飲料】《名》^{ひと の}人が飲^のむもの。㊦**飲料**。「飲料水^{いんりょうすい}//清涼飲^{せいりょういん}

^{りょう}料」

い 9-13

いんりょく ① 【引力】 《名》 物体が、たがいに引っぱり合う力。㊦引

力。 「万有引力の法則」

い 9-14

いんれき ② 【陰暦】 《名》 ⇒ 太陰暦 「中国や韓国は、正月を陰暦で祝

う」 対陽暦 類 旧暦